

目 次

I はじめに	1
II 管理部門	
1 普及啓発・受診勧奨	
1-1 普及啓発事業の目的	2
1-2 がん征圧運動	2
1-3 研修会、健康教育の実施	4
1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	5
1-5 北海道・市町村との連携	8
1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	11
1-7 賛助会実績	13
1-8 受診勧奨	13
2 がん相談事業実績	14
3 精度管理体制	
3-1 精度管理体制	16
3-2 専門職の研鑽	16
3-3 施設認定	21
4 事後管理の流れ	22
5 安全管理体制	23
6 検診車の保有状況	24
7 施設整備に対する助成金の受け入れ状況	25
8 研究等事業	26
III 検（健）診部門	
1 検（健）診受診者数	27
2 がん検診の成績	28
3 健康診査の成績	62
4 各種検査の成績	82
5 検診センターの精密検査成績	85
【参考資料】	
1 がん対策の背景	94
2 市町村が実施するがん検診における当協会の受託状況について	99
3 北海道対がん協会	101
3-1 概要	101
3-2 目的及び事業	102
3-3 検診センター及び細胞診センターの機能	103
3-4 機構図	105
3-5 役員等名簿	106
3-6 沿革概要	108
4 個人情報保護方針	111
5 検診センターにおける各種検診日	112
6 がん対策基金のご案内	113
7 がん征圧賛助会へのご入会案内	116

【利用上の注意】

『2019事業年報』は、公益財団法人北海道対がん協会の令和元（2019年）年度の事業を集録したものです。

なお、参考資料の一部で、年度が異なるものがあります。

Ⅱ 管理部門 … 令和元（2019）年度

Ⅲ 検（健）診部門 … 令和元（2019）年度

【参考資料】

1 がん対策の背景 … 平成31及び令和元（2019）年

2 市町村が実施する～ … 平成30（2018）年度

3～7 … 令和2（2020）年10月1日現在
(別途記載のないもの)

また、Ⅲ 検（健）診部門の 2 がん検診の成績においては事後管理（要精検者への受診勧奨）を受託していない北海道職員健診について受診者から除いています。（P27の、Ⅲ 1 令和元年度検（健）診受診者数には含まれます。）

I は じ め に

日頃より当協会の運営並びに事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、当協会の令和元年度の事業内容、検（健）診実績等を取りまとめました「2019事業年報」をお届けいたします。ご高覧いただき、当協会に対するご理解の一助になれば幸いです。

昨年は、世界的に新型コロナウイルス感染症という脅威にさらされ、今なお、私たちの健康や医療、さらには経済などあらゆる分野におきまして、大きな影響を及ぼしております。

この新型コロナウイルス感染症については、北海道が独自に令和2年2月に緊急事態宣言を発表し、感染症予防対策にいち早く取り組みましたが、当協会の検（健）診事業については、巡回検診が大半の中止になるなか、施設検診は、外出自粛も相まって受診される方が大幅に減少しました。このままでは、必要な検（健）診を進めて行くことができないことから、3月、当協会として「新型コロナウイルス感染症対策指針」を策定し、万全な感染対策のもと、各自治体、関係団体等のご協力を得ながら、事業を進めてきておりますが、前年度の2割減と受診者の回復に至っておりません。

がんは、「コロナ下」でも、日本人の二人に一人が罹患し、三人に一人が死亡するという状況は変わりません。そして、こうした困難な状況であればなおさら、がんの早期発見、早期治療が滞ってはならないと思います。あらためてどのような社会や時代になっても、道民一人ひとりの健康に資する目的で検（健）診を進めて行くことが私どもの大きな使命であると考えます。

当協会の設立の目的である、がんや生活習慣病の予防に関する正しい知識の普及啓発、検（健）診事業及びがんの予防に関する調査・研究事業の3本柱に取り組み、道民の皆様がどこに住んでいても安心して検（健）診が受けられるよう、今まで以上に公益財団法人としての自覚を持ち、職員一同全力を挙げて、事業推進に努めてまいりますので、今後とも、より一層のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

令和3年4月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 長 瀬 清



基本理念

- がん及び生活習慣病等の予防、治療及び研究の事業を通じて疾病の予防と健康寿命の延伸に寄与し、地域社会の健全な発展に貢献します。
- 働く人々の健康を守り、労働衛生の向上に寄与します。

基本方針

- 普及啓発、検（健）診及び調査研究に取り組み、道民一人ひとりの疾病の予防と健康づくりを支援します。
- 最新の知識と常に高い技術の習得に努め、道民の皆様から信頼・安心・満足いただける検（健）診機関として、精度の高いサービスを提供します。
- 良質な労働衛生サービスを提供して、働く人々が健康で安心して働ける環境づくりを支援します。
- 健康づくりのプロとして仕事に誇りを持ち、活力にあふれる職場環境づくりを目指します。
- 関連する諸法令を遵守して業務を遂行し、社会的責任を果たします。
- 情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの適切な実施により、お客様の個人情報の保護を行います。

Ⅱ 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、広く道民にがんに関する正しい知識を普及し、併せてがん検診事業の推進を図ることを目的として、がん予防道民大会をはじめとした普及啓発事業に力をいれています。

また、最近では企業のCSR活動と連携し、新たな切り口で、がん早期発見のための検診の重要性を訴えています。

1-2 がん征圧運動

公益財団法人日本対がん協会が、9月に展開する「がん征圧月間」の全国がん征圧運動に参加するとともに、北海道が9・10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、様々な運動を実施しています。

(1) 令和元年度がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内容	参加者数等
9月初旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布	日本対がん協会からがん征圧月間ポスターを購入し、北海道医師会と連携して道内の関係機関へ配布	4,550枚
9/2(月)～9/30(月)	札幌市保健所・各区役所・保健センター、旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示	がん早期発見の大切さを訴える懸垂幕・看板を、公的機関に掲示依頼	11機関
9/4(水)～5(木)	北海道庁1階道民ホール	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	116名
9/15(日)	釧路がん検診センター2階 会議室	がん予防普及パネル展	パネル・ポスター・パンフレットの配布、乳がん触知モデル体験など	120名
9/16(月・祝)	朝日新聞	がん征圧月間特集	朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載	—
9/21(土)	イオンモール旭川西店	がん予防パネル展	旭川市と共催で実施。パネル展示・パンフレット配布・経鼻内視鏡体験コーナー・肺がん検診実施。	219名
9/30(月)	北24条駅前	街頭PR (街頭テッシュ配り)	札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、街頭啓発を実施	2,200個

■第51回がん予防道民大会

がん予防道民大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地の市町村との共催により、数多くの共催・後援のもと毎年開催しています。

第51回となる今大会は、「若年層からの予防に対する正しい知識とがん検診の重要性についての普及啓発を図る」を開催テーマとし、10月11日（金）、たきかわ文化センターで次のとおり開催し、全道から約850名が参加しました。また、健康教育の一環として地元高校生の参加もあり、盛会裡に終了しました。

10月11日（金） 13：00～16：00 たきかわ文化センター 約850名参加	【第51回がん予防道民大会】 大会の主な行事 ○がん予防功労者表彰 受賞団体 砂川市・士別市・柴田 直美氏 ○優良がん対策推進企業表彰 受賞団体 (株)東海日動パートナーズ北海道 北海道コカ・コーラボトリング(株) ○特別講演 「予防できるがんもあることを知る そして新しい時代のがん治療についても知ろう」 演者 国立病院機構北海道がんセンター院長 加藤 秀則 氏 ○健康講話 「25歳でがんになって」Think Big ～がんが教えてくれたこと～ 演者 NPO法人 がんノート代表理事 岸田 徹 氏
--	---



(2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019室蘭

8月25日（土）～26日（日）、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019 in 室蘭」にチームTAIGANとして、37名の職員が参加し、がん検診の啓発とタスキを繋ぎながら寄附を募りました。加えて、ヘリカルCT検診車を派遣して、チャリティー検診（低線量CT肺がん検診・内臓脂肪測定）も実施しました。



(3) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会、禁煙週間実行委員会の構成員として活動しています。

禁煙週間実行委員会では、令和元年度はこれまでの禁煙パレードに代わって、6月1日（土）、札幌地下歩行空間において、禁煙に関する講演、相談、展示のイベントを行いました。

1-3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しました。

開催日	主 催	研修会名	内 容	従 事 者	参加者数
5/15	大樹生命保険株式会社	大樹生命保険株式会社ががんセミナー	がんの基礎知識とがん検診の重要性について	（札幌） 企画課 久保 彩香	16名
6/16	日系BP社 日系BP総研	がん啓発セミナー	think pink&think blue みんなで知ろう！啓発トークショー	（札幌） 事務次長 黒蔵 邦夫	約100名
6/18	市町村職員共催組合	平成31年度レディース健康セミナー（第1回目）	改めて知って欲しいがん検診～乳がんと子宮がんについて	（札幌） 企画課 久保 彩香	40名
7/2	市町村職員共催組合	平成31年度レディース健康セミナー（第2回目）	改めて知って欲しいがん検診～乳がんと子宮がんについて	（札幌） 企画課 久保 彩香	40名
8/18	一般社団法人 北海道薬剤師会	健康サポート薬局研修－健康サポートのための多職種連携研修会	健康サポート薬局に期待すること～検診機関の立場から～	（札幌） 企画課 久保 彩香	76名
9/4	市町村職員共催組合	平成31年度レディース健康セミナー（第3回目）	改めて知って欲しいがん検診～乳がんと子宮がんについて	（札幌） 企画課 久保 彩香	40名
9/25	砂川市	令和元年度 市民大学	北海道の医療の現状と対策	（札幌） 会長 長瀬 清	50名

10/10	釧路市	令和元年度 北海道市長会保健衛生担当係長等研修会	がん検診の現状と今後の課題について	(釧路) 所長 松浦 邦彦	20名
10/12	日本放射線技術学会 北海道支部 乳房画像専門委員会	地域乳房画像セミナー in 旭川地区	ポジショニング実習	(旭川) 放射線科 瀬野尾 勤子	17名
11/13	北海道対がん協会 北海道コカ・コーラボトリング㈱	乳がん検診無料バスツアー	乳がんについて知ろう～乳がん検診のススメ～	(札幌) 企画課 安住 香代子	39名
11/20	第一生命	対がん協会・第一生命共催「北海道の医療の現状と対策」	北海道の医療の現状と対策	(札幌) 会長 長瀬 清	60名
11/30 ～ 12/1	札幌放射線技師会	第6回札幌放射線技師会マンモグラフィ講習会	ポジショニング実習、グループ講習（線量、線質）	(旭川) 放射線科 瀬野尾 勤子	37名
12/3	北海道対がん協会 北海道コカ・コーラボトリング㈱	乳がん検診無料バスツアー	乳がんについて知ろう～乳がん検診のススメ～	(札幌) 企画課 安住 香代子	25名
12/5	日高町立富川中学校 日高町 北海道教育庁	がん教育（モデル事業）	皆さんに知ってほしいがんとうがん検診のお話	(札幌) 施設検診課 植村 絵美	60名
12/17	旭川市シニア大学	シニア大学	がん検診のススメ	(旭川) 検診第2課 合田 亜希	36名

1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資 料 名	部 数
①	2018事業年報	760冊
②	機関誌「しらかば」 年3回発行	計5,000部
③	がん検診（日本対がん協会作成リーフレット）	2,300枚
④	乳がんのセルフチェック（日本対がん協会作成リーフレット）	2,300枚
⑤	がん征圧月間ポスター（日本対がん協会作成ポスター）	4,550枚

(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型の各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しています。

令和元年度はピンクリボン活動団体や各市町村に貸出し、イベントや検（健）診時に活用していただきました。

なお、市町村や企業、関係団体で行う健康イベント、研修会等で活用をご希望の際は、お問い合わせください。（担当：経営管理部企画課）

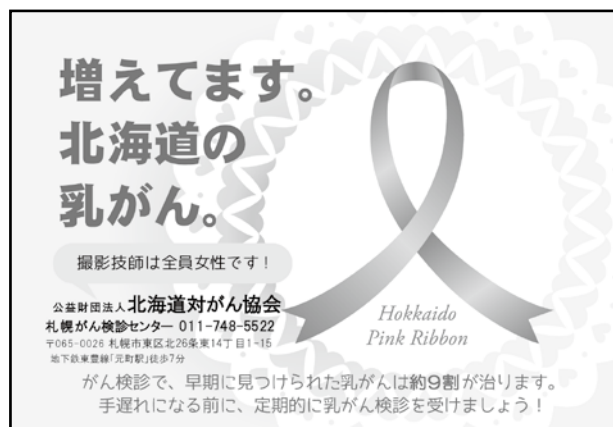
品 名	模 型 説 明	
乳がん触知モデル （精密型）	人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。 サイズ：37×24×17cm	
乳房疾患模型	断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。 サイズ：16.5×11×7.5cm	
肺がん模型	健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。 サイズ：55×43×30cm	 
喫煙タール模型	1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。 サイズ：9×9×13.5cm	
腸疾患模型	結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。 サイズ：18.0×21.0×27cm	

(3) 普及啓発資材の作成・配布

がん健診の受診率向上を目的に、受診を呼びかける普及啓発ポケットティッシュを作成し、街頭で配布しました。

市町村や地区組織にも提供し、啓発活動に役立てていただきました。

配布状況はP11 (2)地区組織との連携【街頭啓発】を参照してください。



普及啓発ポケットティッシュ

1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん及び生活習慣病対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に開催しています。より多くの方に参加いただくために、道内4カ所で開催し、計92団体から118名の出席が得られました。

【報告事項】※4会場共通 1 北海道からの報告 ・北海道におけるがんと生活習慣病の状況について 2 北海道対がん協会からの報告 ・令和2年度 検（健）診の実施計画について ・がん検診の精度管理について ・HPV・乳房超音波検査の実施体制について	
10月16日（水） 13：00～16：30 ホテルボールスター札幌	【講演】 「乳がん治療最前線から紐解く乳がん検診の今後の方向性」 国立病院機構 北海道がんセンター 副院長 高橋 将人 医師 【行政の取組紹介】 江別市の事例 「総合予約システムを活用した今後の検（健）診のあり方について」 江別市保健福祉部 保健センター管理係長 眞鍋 慎治 氏
10月24日（木） 13：00～16：10 旭川大雪クリスタルホール	【講演】 「検診で見つかる肺がん」 旭川医科大学病院呼吸器センター 教授 大崎 能伸 医師
10月28日（月） 13：00～16：10 帯広市役所	【講演】 「がんの最新情報」 公益財団法人 北海道対がん協会 釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦 医師
10月29日（火） 13：00～16：10 釧路がん検診センター	【講演】 「がんの最新情報」 公益財団法人 北海道対がん協会 釧路がん検診センター 所長 松浦 邦彦 医師

(2) 各がん検診センター所在市とのがん検診打合せ会議

がん検診を円滑かつ効果的に実施するため、各センターが所在する札幌市、旭川市、釧路市と打合せ開催し、協議しました。

(3) 健康に関するイベントへの出席

自治体等が実施する健康に関するイベントへ出席し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	イベント名	開催地	参加人数	内 容
6／8	旭川市健康まつり	道北アークス 大雪アリーナ	219名	パネル展、特定健診、胃、肺、大腸がん検診、パンフ・ティッシュ配布
9／1	釧路町健康福祉 フェスティバル	釧路町	669名	パネル展、パンフ配布、骨検診
9／1	帯広市健康まつり	帯広市	1,514名	パネル展、パンフ配布、胃・肺がん検診
9／14	手稲区健康っていいねフェア	手稲区民 センター	91名	パネル展、乳がん触知モデル体験、スモーカーライザー体験、パンフ配布
9／28	けんこうフェスタ 2019 in ちゅうおう	中央区 保健センター	99名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
9／29	いわみざわ健康まつり	岩見沢市 イベントホール 赤れんが	45名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10／5	東区健康まつり	北栄会館	100名	パネル展、パンフ配布
10／6	えべつ健康フェスタ	野幌公民館	200名	パネル展、乳がん触知モデル体験、スモーカーライザー体験、パンフ配布
10／6	釧路市健康まつり	釧路市	1,066名	パネル展、乳がん触知モデル体験、パンフ配布
10／19	あつべつ健康・福祉フェスタ	厚別区民 センター	76名	パネル展、乳がん触知モデル体験、スモーカーライザー体験、パンフ配布
10／30	健康&介護予防フェア	清田区 保健センター	180名	パネル展、乳がん触知モデル体験、スモーカーライザー体験、パンフ配布
11／9	白石すこやかフェスタ	白石区民 センター	202名	パネル展、乳がん触知モデル体験、スモーカーライザー体験、パンフ配布
7/18,22、 8/22,28、9/7,19、 11/8,21,26,27,29、 12/5,23 計13日	生活習慣病・喫煙予防教室	江別市 市内14ヶ所の 小中学校	1,301名	学童を対象に生活習慣病予防とタバコの害について実施する授業



(4) がん予防学級の開催

昭和46年より、がんに関する正しい知識の普及を目的として、開催地の市町村の共催や協力を得てがん予防学級を開催しています。

【札幌がん検診センター】※札幌市との共催

日 時：令和2年1月28日（火）

場 所：（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター 4階会議室

参加者：35名参加（途中退出者1名）

講習1 「札幌市で新しく導入された対策型胃がん検診とは」

（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター 所長 河原崎 暢

講習2 「健康寿命を延ばそう」～ロコモ体操～

（公財）北海道対がん協会札幌がん検診センター

検査科集検係長 市川 浩巳

講習3 「がんを経験して」～がんの体験講話～

ピンクリボン・ディスカバ 代表 柴田 直美 氏

【旭川がん検診センター】※旭川市との共催

日 時：令和元年9月3日（火）

場 所：イオンモール旭川駅前 4階 イオンホール

参加者：74名

講習1 「がんと遺伝に関する診断と治療について」

旭川医科大学病院 乳腺疾患センター長 北田 正博 医師

講習2 「がん・病気になっても自分らしく生きるには？」

一般社団法人CANnet 代表理事 杉山 絢子 氏



(5) 北海道がん対策基金

「がんには負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり道内企業の協力のもと設立した「北海道がん対策基金」の事務局を担い、基金の管理・運営を行っています。基金に関する詳細は113～116Pを参照してください。

(6) 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

平成29年3月に策定した「札幌市がん対策推進プラン」の一環として、市民のほか企業等に向けた総合的ながん対策について普及啓発を実施するため、実行委員会が設立され、事務局として事業実施や進捗の管理等を行っています。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントを実施しました。また、企業職員向けに健康教育を実施し、がんに対する意識の向上を図りました。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22(2010)年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動「リボンの願い事業」を行っています。

①コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアー

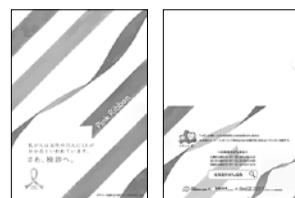
コカ・コーラ工場見学、乳がんに関する正しい知識や検診について学ぶミニ講話と、乳がん検診(無料)を受診する「コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアー」を開催しました。

4年目の今年は、11月13日、12月3日の2回開催、計64名の参加があり、参加者アンケートから、「がん検診の大切さがわかった」「これからは定期的に検診を受けようと思う」など皆さんに“とてもよかった”と好評でした。



②啓発資材の購入・作成

従来から配布している、ふせんとバッジに加え、寄付金累計額が一千万円を突破したことを記念して、平成30(2018)年度に作成したクリアファイルもあわせて活用し、道内各地のイベント等を通じて、道民の皆様や関係者の皆様に乳がん検診の重要性を呼びかけています。



③寄付金贈呈式

令和2年2月25日(火)に「2019年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄付金贈呈式」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

なお、2019年の寄付額は2,261,836円であり、事業を開始した2010年からこれまでの寄付金累計額は、約16.82万円になりました。皆様からいただいた貴重な寄付金は、乳がん検診の普及啓発、乳がん検診機器の購入等に活用させていただいています。

【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・株式会社伊藤園 | ・株式会社エスシー・アベックス |
| ・アサヒ飲料株式会社 | ・北海道ベンディング株式会社 |
| ・サントリービバレッジサービス株式会社 | ・イオンディライト株式会社 |
| ・株式会社アベックス | |

【企業職員向けの健康教育】

- | | |
|------------------------|------|
| ・北海道薬剤師会(1回)..... | 76名 |
| ・北海道市町村職員共済組合(3回)..... | 120名 |

(2) 地区組織との連携

健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会の開催や各種イベントでの街頭啓発を実施しました。

【啓発活動】

北海道健康をまもる地域団体連合会、札幌市北区健康をまもるつどいと連携し、各団体のイベント時に当協会の普及啓発テッシュを約3,000個、配布していただきました。

- ・5/11 第19回新川さくらフェスティバル音楽祭
- ・9/30 2019年がん征圧月間 街頭PR
- ・10/11 第51回がん予防道民大会



【第52回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会と共催で、北海道の後援のもと、令和元年7月4日～5日の2日間、美瑛町国立大雪青少年交流の家において、全道から参加した83名の参加者に対し、がんや結核・栄養等に関する講習会を実施しました。



(3) 患者・ボランティア団体との協力

ピンクリボン活動・難治性がん等に関する普及啓発に取り組んでいる市民団体を支援し、団体の協力のもと、がんに関する知識の啓発を行いました。

【難治性がん啓発キャンペーン】

表記実行委員会が行う難治性がん啓発イベントに参加し、がんについてパネル展と疾患モデル、パンフレットを設置してがん検診の普及啓発を行いました。

- ・ 2019／5／18（土） 難治性がん啓発キャンペーン2019
チ・カ・ホ札幌駅前地下広場

【ピンクリボン in SAPPORO】

- ・ 2020／2／9（日）
ワーキング・サバイバーズ・フォーラム2019
～がんと仕事
（ブース出展）



- ・ 田中賢介選手ピンクリボンプロジェクト2019

田中賢介選手がピンクカラーの野球道具を身に着けていたことから、「ピンク」がご本人のイメージカラーとして定着したことをきっかけに、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動に取り組まれることになり、2008年からプロジェクトがスタートしました。

当初は、田中賢介選手がアウトをとって、乳がん検診をプレゼントする企画でしたが、「バッティングでチームの勝利に貢献する」という決意のもと、2016シーズンからはヒット数に応じて、乳がん検診の料金として、ピンクリボン in SAPPOROを通じ、ご寄付をいただくことになりました。

田中賢介選手は、2019シーズンで引退されましたが、プロジェクト期間中に約585万円ものご寄付をいただきました。いただいた尊い寄付金は、乳がん検診費用の補助のほか、乳がんや乳がん検診に関する正しい知識の普及・啓発活動に活用させていただきました。

長年にわたるご協力に感謝いたしますと共に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円）で、口数に制限はありません。会員の皆様から頂く賛助会費は、主にがんの正しい知識の普及用教材としてパンフレット・リーフレット等を作成し、道民の皆様にごがん予防の資料としてお配りするほか、がんの研究にも一部援助させて頂いております。賛助会に関する詳細は117ページを参照してください。

令和元年度の会員数は個人会員280人、法人会員104件でした。

R 1	札幌	旭川	釧路	計
個人	199	60	21	280
法人	52	24	28	104

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、新聞折り込みチラシ等約52万枚、未受診者勧奨はがきを約3万3千枚作製し、市町村に提供しました。

(2) 事業所などへの検診勧奨

検診が未実施の小規模事業所に対し積極的に働きかけを行い、がん検診の定着化を勧めました。

(3) 日曜検診の実施

平日受けられない人などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を17日間実施し、延べ2,381人が受診しました。

2 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、専任の相談員（保健師）が、これまで延べ9,672件の電話相談に対応しています。令和元年度の相談内容は以下のとおりです。

近年は、メールによる問い合わせも増えてきており、随時対応しています。

①相談者数 ： 54件

②相談者の住所 ： （単位：件）

札幌市内	44
札幌市外	2
不明	8

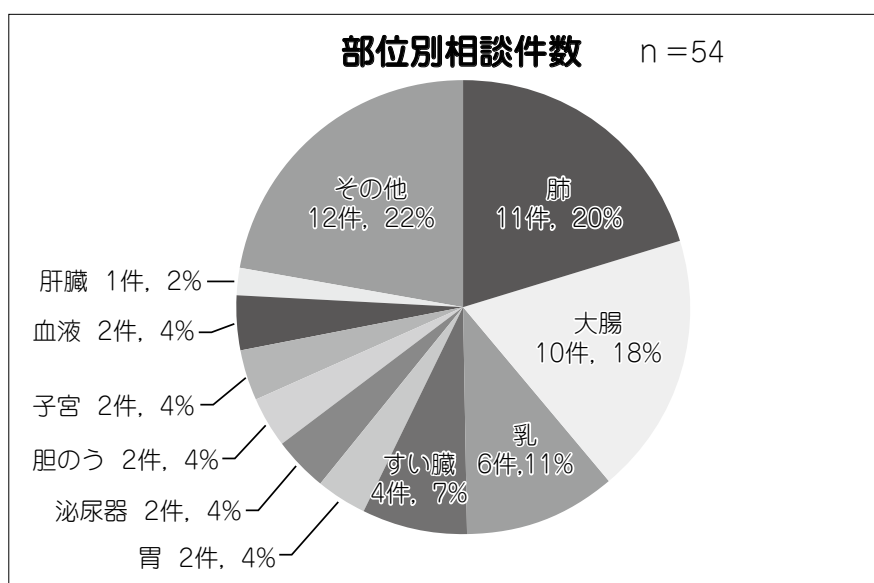
③相談者の属性 ： （単位：件）

本人	38
家族	16

④相談者の年齢・性別 ： （単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明	総計
男性	1	0	0	6	5	6	1	19
女性	0	1	3	10	10	8	3	35
総計	1	1	3	16	15	14	4	54

⑤ 相談者のがん部位 ：



⑥相談内容（複数の場合は主なものを計上）：

内 容	件数	%
病気・治療内容に関すること	23	42.6
自覚症状あり不安に関すること	13	24.1
日常生活に関すること	0	－
医療への不満・不安に関すること	3	5.5
専門病院に関すること	2	3.7
心理的課題に関すること	5	9.3
経済的不安に関すること	2	3.7
その他	6	11.1

相談者の属性は、前年は友人からの相談もあったが、令和元年度は、本人、家族のみであった。

相談のがんの部位は、乳房とすい臓が、前年より増え、罹患数が増えているのに関係していることが伺える。

相談内容では、「病気・治療に関すること」が全体の42.6%と最も多く、例年と同様です。この中では、医師とのコミュニケーションが円滑にとられておらず、病気や治療のことを確認する電話が目立ちました。

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそって精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況（常勤職員）

■医師

資 格 名 称	人 数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器内視鏡学会指導医	1
日本消化器内視鏡学会専門医	1
日本消化器病学会専門医	2
日本内科学会総合内科専門医	1
日本内科学会認定医	2
日本肝臓学会専門医	1
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医	2
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 乳がん検診超音波検査実施・判定医	2
日本産科婦人科学会専門医	2
日本臨床細胞学会細胞診専門医	2
国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本医師会認定産業医	2
日本医師会認定健康スポーツ医	1

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資 格 名 称	人 数
胃がん検診専門技師	30
胃がん検診基準撮影法指導員	5
マンモグラフィ撮影技術認定技師	31
乳房超音波講習会履修者	19

超音波検査士（消化器）	3
超音波検査士（体表臓器）	3
超音波検査士(健診)	1
肺がんCT検診認定技師	6
細胞検査士	16
国際細胞検査士	15
健康運動指導士	2
健康食品管理士	1
人間ドック検診情報管理指導士	1
医療情報技師	1
医用画像情報専門技師	2
消化器内視鏡技師	4

(2) 学会・研修会活動

■学会等所属状況

学会・委員会名	活動内容
日本消化器がん検診学会	理事を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部	支部長及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本消化器がん検診学会北海道支部 放射線研修委員会	事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会	代議員を擁し、日本における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本放射線技術学会北海道支部	副支部長を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本乳癌検診学会	評議員を擁し、日々の検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入しています。
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構	委員を擁し、精度確立のため活動しています。
日本臨床細胞学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
北海道臨床細胞学会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本臨床衛生検査技師会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。

北海道細胞検査士会	理事及び事務局を擁し、北海道における精度管理の中心的存在として活動しています。
日本超音波医学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
日本超音波検査学会	日々の検査精度の維持・向上及び各分野毎の資格更新を目的に加入しています。
日本CT検診学会	CT検診、特に肺がん検診における検査精度の維持・向上及び資格更新を目的に加入しています。
日本医療情報学会	医療画像を始め医療全般にかかる患者保護や取扱いの最新の情報を取得するため加入しています。

■学会発表（令和元年度）

日 時	会 名	演 題	報 告 者			開催地
			所 属	氏 名		
6 / 7 ～ 9	第60回日本臨床細胞学会総会春期大会	液状化検体細胞診（LBC）の子宮内膜細胞診対応について	札幌	検査科	市川 浩巳	東京
9 / 28 ～ 29	第28回日本婦人科がん検診学会学術講演会	HPV健診の選択肢として初尿からのHPV-DNA測定は有効であるか	札幌	検査科	和田 恒之	奈良
10 / 5 ～ 6	第8回北日本支部医学検査学会	ヘリコバクター・ピロリ抗体価と胃画像診断の関連性	札幌	検査科	加藤 修	山形
11 / 24	第40回北海道臨床細胞学会並びに学術集会	HPV陽性者の年齢階層別分布	札幌	検査科	小泉 昌代	札幌
11 / 30	第71回北海道公衆衛生学会	北海道対がん協会乳がん検診成績	札幌	巡回検診課	吉川 泰代	札幌
		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査～10,342人の検査成績報告～		検査科	加藤 修	
12 / 4 ～ 7	EUROGIN2019（ヨーロッパHPV学術会議）	初尿中HPV-DNAの検出が子宮頸部がんマーカーとして有用であるかの基礎的研究	札幌	検査科	和田 恒之	モナコ

■研修会参加（令和元年度）

日 時	研 修 会 名	主 催	参 加 者			開催地
			所 属		氏 名	
4／6	日本消化器がん検診学会北海道支部 第17回超音波研修会	日本消化器がん検診 学会北海道支部	札幌	放射線技術部	中川 栄志	札幌市
			旭川	検査科	倉兼 俊之	
					平山 景子	
			釧路	検査科	三浦 栞奈	
4／11 ～13	日本放射線技術学会 第75回総会学術学会	日本放射線技術学会	札幌	事務次長	黒蔵 邦夫	横浜
4／20	日本放射線技術学会北海道支部 春季学術大会	日本放射線技術学会	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	札幌市
					松井 麻未	

5 / 12	平成31年度新入会員研修会	北海道臨床衛生検査技師会	旭川	検査科	村上 奈緒	札幌市
			釧路	検査科	甲原 萌菜	
5 / 24 ～26	第92回超音波医学会学術集会	日本超音波医学会	札幌	検査科	長崎 葉菜	東京
5 / 25	ピンクリボンアドバイザー研修会	NPO法人乳房健康研究会	釧路	検診課	松村 麻衣	札幌市
6 / 6 ～7	日本消化器がん検診学会	日本消化器がん検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	岡山
6 / 7 ～9	第60回日本臨床細胞学会春期大会	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	石山 好人	東京
					石川 文秋	
			釧路	検査科	和泉 東子	
6 / 27 ～28	平成31年度生活習慣病予防のための人材育成研修会	北海道健康づくり財団	旭川	検診第2課	高田 亜唯	札幌市
7 / 6	第49回日本消化器がん検診学会北海道地方会	日本消化器がん検診学会	札幌	巡回検診課	遠藤 留美子	札幌市
					勝藤 瞳	
				放射線技術部	山本 仁史 他	
			旭川	放射線科	細川 肇 他2名	
			釧路	放射線科	丹野 律子	
					南川 浩二	
7 / 6 ～7	札幌医大地方学会		釧路	所長	松浦 邦彦	札幌市
7 / 19 ～20	肺がんCT認定技師更新講習会	滋賀医科大学	釧路	放射線科	南川 浩二	滋賀
7 / 25 ～26	人間ドック学会		釧路	所長	松浦 邦彦	岡山
7 / 25 ～26	現場で行かせる感染管理	北海道看護協会	札幌	看護科	岩田 佳代	札幌市
8 / 24 ～25	日本看護管理学会	日本看護管理学会	札幌	看護科	岩田 佳代	札幌市
8 / 24 ～25	第77回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	旭川	検査科	倉兼 俊之	横浜
			釧路	検査科	三浦 務	
8 / 31 ～9 / 1	検体採取に関する厚生労働省指定講習会	日本臨床衛生検査技師会	釧路	検査科	三浦 務	札幌市
			旭川	検査科	村上 奈緒	札幌市
8 / 31	マンモグラフィ認定技師更新講習会	マンモグラフィ精度管理 中央委員会	札幌	放射線技術部	荒井 雅浩	札幌市
			釧路	放射線科	丹野 律子	
9 / 7 ～8	第78回細胞検査士教育セミナー	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	日野 順子	神戸

9/14	胃X線教育研修・学術集会委員会第32回学術集会	日本消化器がん検診精度管理評価機構	札幌	放射線技術部	山本 仁史 他	札幌市
			旭川	放射線科	細川 肇	
			釧路	放射線科	西田 大	
					南川 浩二 横堀 峰義	
9/14	第7回北海道ブートキャンプ 腹部超音波研修会		釧路	検査科	三浦 葉奈	札幌市
9/26 ～27	看護の視点で考える－心不全の病態とケア－	北海道看護協会	札幌	看護科	岩田 佳代	札幌市
9/27 ～28	全衛連腹部超音波検査研修会	全国労働衛生団体連合会	札幌	放射線技術部	中川 栄志	東京都
10/17	日本消化器がん検診学会 理事会	日本消化器がん検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	東京都
10/26	胃がん検診専門技師研修会		釧路	所長	松浦 邦彦	東京都
11/2	第13回乳房超音波技術講習会	日本乳がん検診精度管理中央機構	札幌	放射線技術部	戸澤 麻美	東京都
11/2 ～3	検体採取に関する厚生労働省指定講習会	日本臨床衛生検査技師会	釧路	検査科	三浦 葉奈	札幌市
			旭川	検査科	甲原 萌葉 田坂 梓	
11/7 ～9	日本乳癌検診学会 第29回学術総会	日本乳癌検診学会	札幌	事務次長	黒蔵 邦夫	福井
11/16	放射線技術学会北海道支部 秋季学術大会	放射線技術学会	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	札幌市
					松井 麻未	
11/16 ～17	第58回日本臨床細胞学会 秋期大会	日本臨床細胞学会	札幌	検査科	小西 加奈子	岡山
			旭川	検査科	中山 仁	
					佐藤 利男	
11/21 ～22	日本消化器がん検診学会	日本消化器がん検診学会	釧路	所長	松浦 邦彦	神戸
11/21 ～24	第39回医療情報学連合大会 第20回日本医療情報学会学術大会	日本医療情報学会	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	千葉
11/24	第40回北海道臨床細胞学会総会 並びに学術集会	北海道臨床細胞学会	札幌	検査科	加藤 修	札幌市
					和田 恒之	
					市川 浩巳	
					日野 順子	
			旭川	検査科	小西 加奈子 中山 仁	
11/30 ～ 12/1	第6回 札幌放射線技師会マンモグラフィ講習会	札幌放射線技師会	旭川	放射線科	竹内 佑衣	札幌市

1 / 11	第2回乳房超音波技術更新講習会	日本乳がん検診精度管理中央機構 教育・研修委員会	札幌	放射線技術部	弓野 彰子	名古屋
			旭川	放射線科	馬場 雅子	
1 / 18 ~19	第98回北海道腸疾患研究会	北海道腸疾患研究会	釧路	所長	松浦 邦彦	札幌市
1 / 26	医療情報技師生涯学習セミナー	医療情報学会	札幌	放射線技術部	荒井 雅昭	札幌市
2 / 9	細胞診わかばセミナー		釧路	検査科	甲原 萌菜	札幌市
2 / 15	施設環境をデザインする	北海道看護協会	札幌	看護科	岩田 佳代	札幌市
2 / 22 ~23	第10回乳房超音波技術講習会	日本対がん協会 結核予防会 日本乳がん検診精度管理中央機構 教育・研修委員会	札幌	放射線技術部	森田 瞳	東京都
				検査科	中村 朱里	
			旭川	検査科	相馬 尚美	

3-3 施設認定

■日本消化器がん検診学会認定指導施設

■日本臨床細胞学会教育研修施設認定

■日本臨床細胞学会施設認定

■日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診・画像認定施設

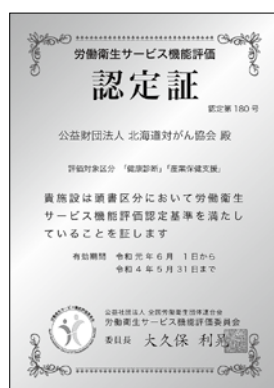
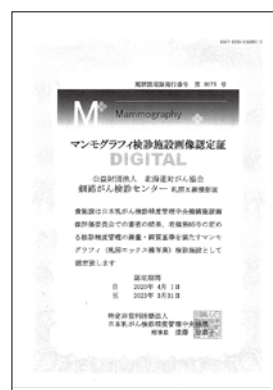
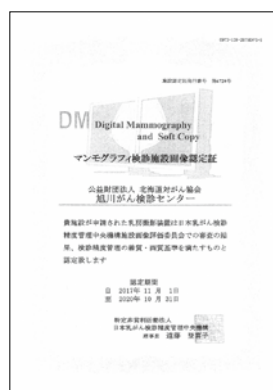
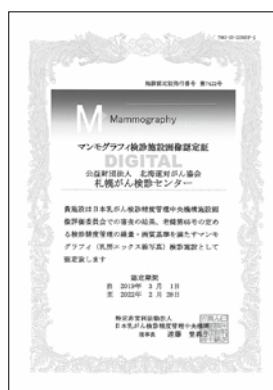
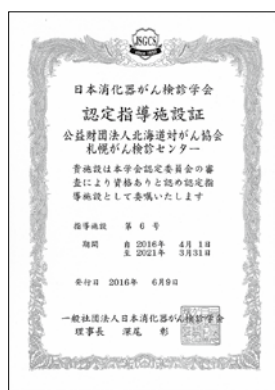
■全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価認定施設

■全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 臨床検査分野（A評価）

■全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胸部X線検査分野（A評価）

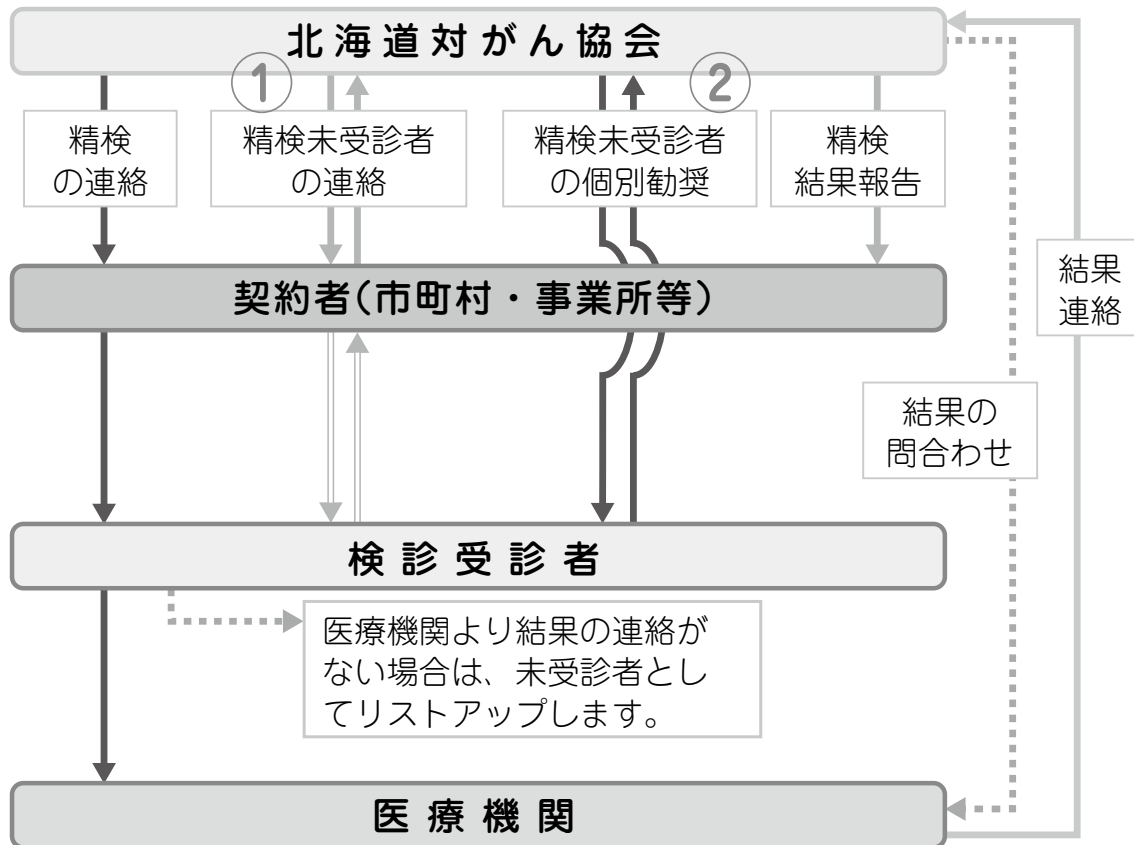
■全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胃X線検査分野（A評価）

■全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 腹部超音波検査分野（A評価）



4 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

5 安全管理体制

医療安全管理指針を定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

6 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別	検診車名称	初年度登録 (購入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考
				道	中央補助金	自 己 資 金	
胃 肺 検 診 車	1 しらかば 102号	H 6. 9	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	2 “ 107号	H 8. 3	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	3 “ 108号	H10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	4 “ 113号	H 6.11	57,917	54,000		3,917	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	5 “ 114号	H 5. 1	57,546	54,000		3,546	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	6 “ 115号	H 9. 1	59,740	54,000		5,740	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	7 “ 118号	H 6. 4	56,583			56,583	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	8 “ 120号	(H15. 5)	22,659			22,659	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	9 “ 122号	(H18. 1)	30,030			30,030	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	10 “ 123号	(H26. 7)	29,568			29,568	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	11 “ 163号	(H27.12)	3,240			3,240	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	12 “ 201号	H13.12	60,900	56,700		4,200	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	13 “ 202号	H14.12	62,790		日本宝くじ協会 62,790		胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	14 “ 203号	H21. 2	91,140		日本宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12時 I I X線TV車
	15 “ 204号	H27. 2	65,880		J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	16 “ 205号	H29. 3	69,660		日本宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	17 “ 206号	H29. 3	58,104			58,104	胃、肺併用車 13時 I I X線TV車
	18 “ 207号	H30. 2	69,876		J K A 31,000	38,876	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	19 “ 208号	H31. 2	69,066	69,066			胃、肺併用車 F P D X線TV車
胸部 検診車	1 胸部検診車195号	(H15.11)	0	譲 与			ミラーカメラ車
	2 C T エ ル ム 号	H19. 2	97,545		日本宝くじ協会 60,900	36,645	低線量ヘリカルCT検診車
婦人科 検診車	1 しらゆり 5号	H26.12	8,850			8,850	超音波診断装置搭載
	2 “ 6号	R 1. 8	48,330			48,330	超音波診断装置搭載
	3 “ 7号	R 1.12	8,580			8,580	超音波診断装置搭載
乳房 検診車	1 すずらん 5号	H24. 2	65,520		J K A 11,550	53,970	乳房X線装置(SMG対応)
	2 “ 6号	(H29. 4)	44,928			44,928	乳房X線装置(SMG対応)
	3 “ 7号	H30. 3	69,940	69,940			乳房X線装置(SMG対応) 超音波検査併用
送 迎 用 バ ス	1 はまなす 1号	H22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2 “ 2号	H 6. 9	17,201			17,201	受診者送迎車
	3 “ 3号	H21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4 “ 4号	H29. 4	3,520			3,520	受診者送迎車
	5 “ 5号	H27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車

(令和2年3月現在)

7 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助 成 機 関	助成対象				年 度 計
		検 診 車	センター建設	センター設備	基 本 財 産	
34	昭和33年度継承資金				128,699	
	北海道補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	300,000	
	札幌市補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	100,000	
	旭川市補助		45,000,000			
	郵政省配分金	37,500,000				
	郵政省ガン切手益金			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
	釧路市補助			95,000,000		
63	一町村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
	一般寄付		54,240,952	81,706,454		2,023,755,030
元	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		4,750,000
2	日本宝くじ協会	55,620,000				77,250,000
	日本自転車振興会	21,630,000				
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000		67,495,000
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000				93,549,000
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000		74,223,000
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723			169,318,723
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515			1,196,705,515
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000				66,596,000
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000				158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	J K A	11,550,000				11,550,000
26	J K A	22,050,000				22,050,000
28	日本宝くじ協会	69,660,000				69,660,000
29	J K A	31,000,000				
	北海道補助	69,940,000		9,900,000		110,840,000
30	北海道補助	70,000,000		10,000,000		80,000,000
元	北海道補助			10,193,000		10,193,000
累 計		1,684,507,000	2,197,276,231	813,010,338	528,699	4,695,322,268

(令和2年3月現在)

8 研究等事業

年 度	事 業 名	業 務 概 要
平成25年度～	乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験（J-START）	乳がん検診における超音波検査（エコー検査）の有効性に関する研究。
平成28年度～	自然尿（初尿）を用いたHPV検査に関する研究	一般尿でhigh risk HPVが検出されるか否かを確かめ、実用可能なものか検討する。
平成30年度～	発癌性ヒトパピローマウイルス感染に対する機能性食品AHCC® 摂取によるウイルス消失向上効果の検証	長期間感染することにより、子宮頸がんを引き起こす可能性の高い、高リスク型HPVの消失に対する機能性食品AHCC® 摂取の効果を検証する。
令和元年度	血液バイオマーカー apoA2アイソフォームによる膵がん検診の臨床研究実施に向けたフィージビリティ研究：単群・介入研究	血漿バイオマーカーを用いた効果的な膵がん検診の実用化に関する研究。
令和元年度	肺がんの胸部X線画像に対する骨透過・経時差分処理の有効性	骨透過・経時差分処理を肺がん検診に適用することにより、一般的な胸部X線画像のみの評価よりも肺がんを早期に発見できるかを明らかにする。
令和元年度	北海道広域でのHPV自己採取検査に関する研究	子宮頸がん検診受診率向上のための有力な手段として、適切な運用方針の作成、有効性に関するエビデンスの確立を目的として、自己採取法によるHPV-DNA検査の有効性の検証
令和元年度	HPVに対する抗ウイルス薬の薬効評価（本試験）の為に測定系（Real-time法）の検証	HPVに対する抗ウイルス薬の薬効評価の為に、株式会社ジェネテック所有のReal-timePCR法を用いたHPVの定量の性能を検証する。

※令和元年度中に進行中であった事業について記載

Ⅲ 検（健）診部門

1 令和元年度 検（健）診受診者数

（単位：人）

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん	検 診 車		70,705	39,261	21,297	10,147
	検診センター		21,203	11,808	6,387	3,008
	計		91,908	51,069	27,684	13,155
子 宮 が ん	検 診 車		21,848	11,107	7,571	3,170
	検診センター		36,528	21,573	11,103	3,852
	計		58,376	32,680	18,674	7,022
乳 が ん	検 診 車		24,801	12,771	8,427	3,603
	検診センター		41,574	24,267	13,200	4,107
	計		66,375	37,038	21,627	7,710
肺 が ん	検 診 車		79,668	43,835	23,363	12,470
	検診センター		21,810	11,085	7,579	3,146
	計		101,478	54,920	30,942	15,616
大 腸 が ん	検 診 車		85,613	48,992	25,076	11,545
	検診センター		40,499	24,472	10,565	5,462
	計		126,112	73,464	35,641	17,007
前 立 腺 が ん	検 診 車		10,970	4,711	3,533	2,726
	検診センター		4,884	2,975	1,233	676
	計		15,854	7,686	4,766	3,402
特定健康診査	検 診 車		44,817	20,748	15,434	8,635
	検診センター		11,628	7,068	3,557	1,003
	計		56,445	27,816	18,991	9,638
定期健康診断	検 診 車		24,589	19,639	2,675	2,275
	検診センター		10,089	5,890	1,836	2,363
	計		34,678	25,529	4,511	4,638
協 会 け ん ぽ (生活習慣病 予防健診)	検 診 車		1,520	763	583	174
	検診センター		7,887	4,957	1,565	1,365
	計		9,407	5,720	2,148	1,539
人 間 ド ッ ク	検 診 車		97	－	97	－
	検診センター		2,178	1,439	506	233
	計		2,275	1,439	603	233
骨 検 診	検 診 車		1,676	1,070	491	115
	検診センター		6,974	4,737	1,914	323
	計		8,650	5,807	2,405	438
超音波検査	婦 人 科	検 診 車	18,096	8,062	7,315	2,719
		検診センター	34,707	19,775	11,344	3,588
		計	52,803	27,837	18,659	6,307
	腹 部	検 診 車	252	－	252	－
		検診センター	3,388	2,860	214	314
		計	3,640	2,860	466	314
合 計	検 診 車		384,652	210,959	116,114	57,579
	検診センター		243,349	142,906	71,003	29,440
	計		628,001	353,865	187,117	87,019

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 がん検診の成績

胃がん検診

《胃部エックス線検査》

令和元年度は、19台の検診車で126市町村¹⁾を延2,282日間²⁾巡回したほか、93事業所³⁾に延247日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、117名（令和2年12月10日現在）のがんを発見した。

1) 札幌61・旭川43・釧路22市町村 2) 札幌1,287・旭川600・釧路395日間 3) 札幌37・旭川42・釧路14事業所 4) 札幌80・旭川129・釧路38日間

	合計	総 数			検診センター			検診車（巡回）				
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	71,082	35,342	23,901	11,839	16,381	7,965	5,647	2,769	54,701	27,377	18,254	9,070
事業所 ⁶⁾	10,438	5,423	3,718	1,297	1,569	665	679	225	8,869	4,758	3,039	1,072
個 人	537	490	28	19	514	476	24	14	23	14	4	5
合計	82,057	41,255	29,820	13,155	18,464	9,106	6,350	3,008	63,593	32,149	21,297	10,147

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

受診総数82,057名で、施設検診18,464名（22.5%）、巡回検診63,593名（77.5%）であった。前年より15,290名の減少（前年比15.7%減）で、新たに検診を受診した市町村や事業所があったが、前年の減少率6.0%より大幅な減少となった。施設健診で5,840名の減少（前年比-24.0%）、巡回検診で9,450名の減少（前年比-12.9%）であった。実施主体別では、事業所検診392名、個人376名微増したが、市町村主体で16,058名の減少（前年比18.4%減）である。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は3,760名で、要精検率は4.6%であった。精検受診数は3,247名、精検受診率は86.4%で、前年度より2.0ポイントの下降がみられた（表1）。

男女別の要精検率は男性5.7%、女性3.6%で男性が高い。精検受診率は男性82.0%、女性86.4%と男女とも前年度より減少した。年齢別では、50歳代男性の精検受診率の低下がみられた（表4）。

【発見がんについて】

令和元年度の胃がん発見数は117名で、がん発見率は0.14%であった。男女別では、男性83名（0.22%）、女性34名（0.08%）であった。（表6）。

受診歴別では、1年前受診が最も多く（52名）、次いで初回受診（44名）、2年前受診（15名）の順に多い（表7）。

追跡調査による発見がんの内訳では、平成30年度の発見がん154名のうち、手術施行者は142名であった。手術結果の内訳は早期がん112名（78.9%）、進行がん30名（21.1%）であり、早期がんが全体の78.9%を占めている（表8）。

《胃内視鏡検査》

がん予防重点健教育及びがん検診実施のための指針の一部改正（H28.2.4）で、検診項目に、胃内視鏡検査が追加され、令和元年度より導入する自治体が増えたため、受診者数は増加した（P34表1）。

	合計	(内 訳)		
		札幌	旭川	釧路
市町村 ¹⁾	2,755	2,702	38	15
事業所	2,871	1,766	736	369
個人	237	194	28	15
合計	5,863	4,662	802	399

1) 札幌5 旭川6 市町村

○まとめ○

胃部エックス線検査の受診数の減少は、がん予防重点健教育及びがん検診実施のための指針の一部改正（H28.2.4）で、胃内視鏡検査の追加及び検診対象年齢が50歳以上に引き上げられ、受診間隔が2年に1回となったことによる。また令和元年度においては、令和2年2月末より新型コロナウイルス感染拡大のため集団検診実施を中止とする市町村や個別検診の受診を控える様子が見られたことも要因と考える。

指針の改正では、“胃部エックス線検査については、当分の間、40歳以上、年1回実施しても差支えない”という但し書きが付与されている。当協会としては、本道の広域性や医師の地域偏在の状況を鑑み、すべての市町村・事業所において早期に内視鏡検査へ切り替えるのは困難と考えることから、エックス線検査の有効性をアピールし、安全面に最大限の配慮をしながら、今後も質の高いエックス線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していきたい。

要精検者に対しては、特に50歳代男性の精検受診率が他の世代と比較して低下していた。この年代は働き盛りで仕事や家庭での役割が非常に大きいことや、胃がんが増えてくる年齢層である。職場検診の開設などにより、積極的に検診の機会を提供し多くの方が受診することは、胃がんの早期発見につなげていくうえで重要であるが、要精検となった場合は確実に精密検査を受けることも、がんを早期発見し生命をつなげるために、不可欠であると考えている。そのため、50歳代を中心に受診勧奨に力を入れ、精密検査の必要性を理解したうえで、受診行動を起こすための働きかけをしていきたい。

（保健師 勝藤 瞳）

胃部エックス線検査

表1 胃がん検診（X線検査）実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～令和元年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
38～26	7,837,190	850,654	10.9	745,794	87.7	11,681	63,651	56,245	96,425	12,748	203,847	31,133	270,064
27	116,739	5,450	4.7	4,823	88.5	164	555	193	471	37	2,675	390	338
28	107,161	4,863	4.5	4,285	88.1	149	472	154	392	35	2,349	439	295
29	100,692	5,424	5.4	4,843	89.3	127	504	92	298	30	2,825	548	419
30	97,347	4,559	4.7	4,052	88.9	154	397	88	279	30	2,147	660	297
元	82,057	3,760	4.6	3,247	86.4	117	256	73	236	26	1,638	676	225
計	8,341,186	874,710	10.5	767,044	87.7	12,392	65,835	56,845	98,101	12,906	215,481	33,846	271,638

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～令和元年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
38～26	7,837,190	873,900	6,963,290	11,681	0.15	1,132	0.13	10,549	0.15	1.37
27	116,739	29,452	87,287	164	0.14	37	0.13	127	0.15	3.01
28	107,161	27,170	79,991	149	0.14	33	0.12	116	0.15	3.06
29	100,692	25,944	74,748	127	0.13	27	0.10	100	0.13	2.34
30	97,347	24,304	73,043	154	0.16	35	0.14	119	0.16	3.38
元	82,057	18,464	63,593	117	0.14	14	0.08	103	0.16	3.11
合計	8,341,186	999,234	7,341,952	12,392	0.15	1,278	0.13	11,114	0.15	1.42

国の指標値（許容値） 0.11%以上 1.0%以上

表3 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	41,255	9,106	32,149	1,600	3.9	325	3.6	1,275	4.0	1,373	85.8	58	0.14	6	0.07	52	0.16	3.63
旭川	27,647	6,350	21,297	1,677	6.1	401	6.3	1,276	6.0	1,450	86.5	39	0.14	5	0.08	34	0.16	2.33
釧路	13,155	3,008	10,147	483	3.7	97	3.2	386	3.8	424	87.8	20	0.15	3	0.10	17	0.17	4.14
合計	82,057	18,464	63,593	3,760	4.6	823	4.5	2,937	4.6	3,247	86.4	117	0.14	14	0.08	103	0.16	3.11

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70%以上 0.11%以上 1.0%以上

表4 胃がん検診（X線検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和元年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,497	30	19	0	1	0	1	0	13	2	2
	女	990	15	14	0	1	0	0	0	7	4	2
	計	2,487	45	33	0	2	0	1	0	20	6	4
40～44	男	2,815	74	60	2	2	3	2	3	30	16	2
	女	2,797	47	39	0	4	0	1	0	18	13	3
	計	5,612	121	99	2	6	3	3	3	48	29	5
45～49	男	3,161	87	57	0	7	2	6	0	31	8	3
	女	2,804	58	48	2	5	0	2	1	22	9	7
	計	5,965	145	105	2	12	2	8	1	53	17	10
50～54	男	2,983	106	74	1	1	2	8	3	37	18	4
	女	3,433	84	76	1	10	1	2	1	38	15	8
	計	6,416	190	150	2	11	3	10	4	75	33	12
55～59	男	2,632	149	99	2	7	2	7	1	51	25	4
	女	3,759	113	105	1	8	0	8	2	55	18	13
	計	6,391	262	204	3	15	2	15	3	106	43	17
60～64	男	3,479	212	158	2	11	8	17	0	77	36	7
	女	5,378	199	178	4	19	5	9	2	78	47	14
	計	8,857	411	336	6	30	13	26	2	155	83	21
65～69	男	6,170	471	388	22	15	8	49	6	183	88	17
	女	8,337	366	341	9	44	2	21	0	178	58	29
	計	14,507	837	729	31	59	10	70	6	361	146	46
70～74	男	6,797	499	432	21	21	12	43	3	207	98	27
	女	8,756	392	371	8	41	5	18	0	208	67	24
	計	15,553	891	803	29	62	17	61	3	415	165	51
75～79	男	4,624	288	267	11	10	7	18	3	142	60	16
	女	5,436	233	220	5	17	9	11	0	119	35	24
	計	10,060	521	487	16	27	16	29	3	261	95	40
80～	男	3,300	217	197	22	13	4	12	1	91	42	12
	女	2,909	120	104	4	19	3	1	0	53	17	7
	計	6,209	337	301	26	32	7	13	1	144	59	19
合計	男	37,458	2,133	1,751	83	88	48	163	20	862	393	94
	女	44,599	1,627	1,496	34	168	25	73	6	776	283	131
	計	82,057	3,760	3,247	117	256	73	236	26	1,638	676	225

表5 胃がん検診（X線検査）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和38年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	61,709	9	0.01
30～39	813,615	224	0.03
40～49	2,053,563	1,049	0.05
50～59	2,131,447	2,227	0.10
60～69	2,087,175	4,631	0.22
70～	1,111,454	4,135	0.37
年齢不詳	166	0	0.00
計	8,259,129	12,275	0.15

※10歳階級表

表6 胃がん検診（X線検査）性・年齢別受診者数と発見がん数（令和元年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	101	67	34	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	603	385	218	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	1,783	1,045	738	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	5,612	2,815	2,797	2	2	0	0.04	0.07	0.00
45～49	5,965	3,161	2,804	2	0	2	0.03	0.00	0.07
50～54	6,416	2,983	3,433	2	1	1	0.03	0.03	0.03
55～59	6,391	2,632	3,759	3	2	1	0.05	0.08	0.03
60～64	8,857	3,479	5,378	6	2	4	0.07	0.06	0.07
65～69	14,507	6,170	8,337	31	22	9	0.21	0.36	0.11
70～74	15,553	6,797	8,756	29	21	8	0.19	0.31	0.09
75～79	10,060	4,624	5,436	16	11	5	0.16	0.24	0.09
80～	6,209	3,300	2,909	26	22	4	0.42	0.67	0.14
計	82,057	37,458	44,599	117	83	34	0.14	0.22	0.08

※5歳階級表

表7 胃がん検診（X線検査）性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和元年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	18,774	8,472	10,302	44	29	15	0.23	0.34	0.15
1 年 前	49,495	23,915	25,580	52	38	14	0.11	0.16	0.05
2 年 前	10,448	3,819	6,629	15	12	3	0.14	0.31	0.05
3 年 前	3,340	1,252	2,088	6	4	2	0.18	0.32	0.10
計	82,057	37,458	44,599	117	83	34	0.14	0.22	0.08

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 胃がん検診（X線検査）追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～平成30年度

年度	発見がん数 (A)	手術施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲)内視鏡切除数 (D)	D/B (%)	手術未施行数 (E)	E/A (%)
				早期がん	C/B (%)	進行がん	C/B (%)	深達度不明	C/B (%)				
38～25	11,488	10,736	93.5	6,474	60.3	4,067	37.9	195	1.8			752	6.5
26	193	182	94.3	132	72.5	48	26.4	2	1.1	83	45.6	11	5.7
27	164	156	95.1	111	71.2	44	28.2	1	0.6	60	38.5	8	4.9
28	149	135	90.6	93	68.9	40	29.6	2	1.5	50	37.0	14	9.4
29	127	119	93.7	86	72.3	32	26.9	0	0.0	46	38.7	8	6.3
30	154	142	92.2	112	78.9	30	21.1	0	0.0	60	42.3	12	7.8
計	12,275	11,470	93.4	7,008	61.1	4,261	37.1	200	1.7			805	6.6

表9 胃がん検診（X線検査）発見がんにおける手術施行者の深達度（平成30年度）

手術施行	早 期		進 行			深達度不明
	m	s m	m p	s s	s	
142	70	42	7	15	8	0

胃癌取扱い規約に準ずる。

胃内視鏡検査

表1 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況

平成26年～令和元年度

年度	受診者数				要精検者数					発見がん数					陽性反応 適中度 (%)
	総数	札幌	旭川	釧路	総数	札幌	旭川	釧路	要精検率 (%)	総数	札幌	旭川	釧路	発見率 (%)	
26	1,724	1,126	426	172	128	79	42	7	7.42	1	1	0	0	0.06	0.78
27	1,503	1,246	38	219	104	90	11	3	6.92	2	1	0	1	0.13	1.92
28	2,166	1,452	445	269	171	96	71	4	7.89	2	1	1	0	0.09	1.17
29	2,308	1,483	507	318	240	94	143	3	10.40	1	1	0	0	0.04	0.42
30	3,346	2,364	613	369	640	544	96	0	19.13	7	6	1	0	0.21	1.09
元	5,863	4,662	802	399	2,154	2055	97	2	36.74	16	15	1	0	0.27	0.74
合計	16,910	12,333	2,831	1,746	3,437	2958	460	19	20.33	29	25	3	1	0.17	0.84

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.11%以上 1.0%以上

表2 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況及び精検結果

平成26年～令和元年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒着	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
26	1,724	128	7.4	112	87.5	1	16	5	10	4	50	25	1
27	1,503	104	6.9	101	97.1	2	20	2	14	3	43	16	1
28	2,166	171	7.9	130	76.0	2	11	6	14	1	50	45	1
29	2,308	240	10.4	134	55.8	1	9	7	4	1	64	45	3
30	3,346	640	19.1	485	75.8	7	22	7	10	2	105	319	13
元	5,863	2,154	36.7	1,304	60.5	16	32	20	18	4	159	1,039	16
計	16,910	3,437	20.3	2,266	65.9	29	110	47	70	15	471	1,489	35

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70.0%以上

表3 胃がん検診（内視鏡検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和元年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	192	18	11	0	0	1	0	0	0	10	0
	女	172	19	10	1	0	0	0	0	2	7	0
	計	364	37	21	1	0	1	0	0	2	17	0
40～44	男	272	44	23	0	0	0	1	0	3	19	0
	女	247	33	17	0	1	0	0	0	2	13	1
	計	519	77	40	0	1	0	1	0	5	32	1
45～49	男	293	72	28	0	1	1	1	0	7	18	0
	女	289	45	17	0	0	0	0	0	4	13	0
	計	582	117	45	0	1	1	1	0	11	31	0
50～54	男	305	82	39	0	3	0	0	0	5	30	1
	女	477	113	60	0	0	1	0	0	12	47	0
	計	782	195	99	0	3	1	0	0	17	77	1
55～59	男	327	119	55	0	2	1	2	0	9	41	0
	女	403	126	81	0	4	1	2	0	14	60	0
	計	730	245	136	0	6	2	4	0	23	101	0
60～64	男	321	118	67	1	0	2	2	0	7	55	0
	女	392	135	77	0	2	1	1	1	9	62	1
	計	713	253	144	1	2	3	3	1	16	117	1
65～69	男	343	172	95	2	2	1	1	0	9	79	1
	女	410	214	142	3	3	1	1	1	14	118	1
	計	753	386	237	5	5	2	2	1	23	197	2
70～74	男	338	206	135	1	3	2	2	0	15	109	3
	女	549	292	187	3	6	2	0	0	15	158	3
	計	887	498	322	4	9	4	2	0	30	267	6
75～79	男	128	90	63	1	1	0	4	0	7	50	0
	女	183	112	92	1	1	2	0	1	17	67	3
	計	311	202	155	2	2	2	4	1	24	117	3
80～	男	77	54	40	2	1	3	0	1	4	27	2
	女	145	90	65	1	2	1	1	0	4	56	0
	計	222	144	105	3	3	4	1	1	8	83	2
合計	男	2,596	975	556	7	13	11	13	1	66	438	7
	女	3,267	1,179	748	9	19	9	5	3	93	601	9
	計	5,863	2,154	1,304	16	32	20	18	4	159	1,039	16

子宮頸がん検診

令和元年度は、3台の検診車で129市町村¹⁾を延270日間²⁾巡回したほか、7事業所³⁾に延11日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、51名（令和2年12月22日現在）のがんを発見した。

1) 札幌69・旭川39・釧路21市町村 2) 札幌145・旭川86・釧路42日間 3) 札幌4・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌7・旭川1・釧路2日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	48,615	27,411	15,547	5,657	28,155	16,967	8,389	2,799	40,460	10,444	7,158	2,858
事業所 ⁶⁾	7,994	4,420	2,322	1,252	6,651	3,762	1,949	940	1,343	658	373	312
個 人	1,767	849	805	113	1,722	844	765	113	45	5	40	0
合 計	58,376	32,680	18,674	7,022	36,528	21,573	11,103	3,852	21,848	11,107	7,571	3,170

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【子宮頸がん検診】

子宮頸がん検診の受診総数は58,376名で、検診車による巡回検診は21,848名（37.4%）、検診センターでの施設検診は36,528名（62.5%）を実施した。前年度の受診数と比較すると2,533名減、減少率は約5.0%で、巡回検診・施設検診共に減少した。

検診結果は、細胞診陰性者が57,343名、細胞診陽性者が1,033名という結果であった（表2）。

精密検査該当者（要経過観察は除く）834名のうち、精密検査受診数は775名であり、精検受診率は92.9%、発見がん数は39名であった（表5）。また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、経過観察該当者209名のうち経過観察受診数は167名で、経過観察後のがんの発見は見られなかった。（表7）。

発見がんを受診歴別で比べると初回受診者から見つかるがんは、39名中35名（89.7%）、がん発見率0.18%と圧倒的に高い（表10）。また、年齢階級別のがん発見率では、35～39歳が0.19%、25～29歳が0.18%と高かった（表9）。39名のうち23名（59.0%）は、CIN3（上皮内がん）である（表11）。

※子宮体がん検診

子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。受診総数は1,822名で、検診車による巡回検診は210名、検診センターでの施設検診は1,612名を実施した。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は18名で、そのうち18名が精密検査を受診し、精検受診率は100%であった。（表12）

発見がん数は9名で、年齢階級別では55～59歳で最も多く見付き、発見率は2.04であった（表18）。

【まとめ】

子宮頸がん検診は、年々受診者数減少の一途をたどっており、令和元年度の減少率は、約5.0%となっている。また、新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年2月末より集団検診実施を中止とする市町村や、個別検診の受診を控える様子が見られたことも要因と考えられる。市町村により、女性のみの検診日の開設や託児の開設など受診者増加に向け、さまざまな工夫がみられるが受診数の増加に繋がっていない結果である。また、受診者の年齢層は20歳代・30歳代が少なく、子宮頸がんの好発年齢を考えると若年層へのアプローチが必須である。そのためには、検診の重要性を理解してもらうことや受診環境の整備も含め、継続して市町村と協力しながら実施していくことが重要と考える。

（保健師 内山 ちはる）

表1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～令和元年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～26	4,313,818	1,781,105	2,532,713	6,940	0.16	3,327	0.19	3,613	0.14	
27	66,477	44,507	21,970	79	0.12	60	0.13	19	0.09	10.26
28	65,704	43,777	21,927	82	0.12	54	0.12	28	0.13	10.05
29	64,083	41,816	22,267	70	0.11	45	0.11	25	0.11	10.54
30	60,909	39,158	21,751	60	0.10	37	0.09	23	0.11	6.86
元	58,376	36,528	21,848	51	0.09	29	0.08	22	0.10	5.56
合計	4,629,367	1,986,891	2,642,476	7,282	0.16	3,552	0.18	3,730	0.14	

※（別掲）S 45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表2 子宮がん検診（頸部）細胞診結果（累計）

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		I	II		III			IV	V
			II	II r	III a	III	III b		
実 数									
S 41～H 21	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (%)									
S 41～H 21	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

平成22年度～令和元年度

年 度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGC-N	AGC-F	AIS	ADC	OTH	USAT
22～26	353,145	348,748	1,691	1,056	268	1,052	47	97	51	4	13	1	117
27	66,477	65,649	392	151	48	153	8	24	6	0	5	0	41
28	65,704	64,875	393	145	68	138	21	15	6	0	4	0	39
29	64,083	63,305	323	150	56	136	8	19	7	0	1	1	77
30	60,909	59,870	519	225	93	140	11	26	5	0	3	0	17
元	58,376	57,343	578	215	72	125	11	12	6	1	2	0	11
計	668,694	659,790	3,896	1,942	605	1,744	106	193	81	5	28	2	302

注）平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取り扱い規約に準ずる。

表3 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～令和元年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他 有所見
41～26	4,313,818	25,357	0.6	46,388	1.1	573,850
27	66,477	619	0.9	232	0.3	1,729
28	65,704	632	1.0	217	0.3	1,368
29	64,083	545	0.9	250	0.4	1,690
30	60,909	780	1.3	269	0.4	1,551
元	58,376	834	1.4	209	0.4	1,477
計	4,629,367	28,767	0.6	47,565	1.0	581,665

国の指標値（許容値）

1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和41年度～令和元年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
41～26	4,313,818	1,781,105	2,532,713	6,500	0.15	3,000	0.17	3,500	0.14	
27	66,477	44,507	21,970	59	0.09	45	0.10	14	0.06	8.72
28	65,704	43,777	21,927	66	0.10	41	0.09	25	0.11	9.97
29	64,083	41,816	22,267	51	0.08	34	0.08	17	0.08	8.62
30	60,909	39,158	21,751	48	0.08	28	0.07	20	0.09	5.77
元	58,376	36,528	21,848	39	0.07	22	0.06	17	0.08	4.68
合計	4,629,367	1,986,891	2,642,476	6,763	0.15	3,170	0.16	3,593	0.14	7.27

国の指標値（許容値）

0.05%以上

4.0%以上

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管 轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	32,680	21,573	11,107	613	1.88	377	1.75	236	2.12	565	92.2	19	0.06	9	0.04	10	0.09	3.10
旭川	18,674	11,103	7,571	134	0.72	77	0.69	57	0.75	130	97.0	19	0.10	12	0.11	7	0.09	14.18
釧路	7,022	3,852	3,170	87	1.24	42	1.09	45	1.42	80	92.0	1	0.01	1	0.03	0	0.00	1.15
合計	58,376	36,528	21,848	834	1.43	496	1.36	338	1.55	775	92.9	39	0.07	22	0.06	17	0.08	4.68

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※陽性反応の中度は、経過観察からの発見がんを除いて算出

表6 子宮がん検診（頸部）精密検査結果（累計）

昭和41年度～令和元年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						(別掲) がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		異型上皮		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
41～26	25,357	24,880	98.1	4,753	19.1	5,807	23.3	14,257	57.3	
27	619	574	92.7	39	6.8	210	36.6	310	54.0	15
28	632	589	93.2	45	7.6	240	40.7	286	48.6	18
29	545	513	94.1	36	7.0	234	45.6	232	45.2	11
30	780	729	93.5	39	5.3	304	41.7	380	52.1	6
元	834	775	92.9	37	4.8	289	37.3	447	57.7	2
計	28,767	28,060	97.5	4,949	17.6	7,084	25.2	15,912	56.7	52

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにかんと診断されたもの”の数であるため、表4・5とは一致しない。

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成25年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数		経過観察からの 発見がん
			率（％）	
S 41～H25	54,385	49,926	91.8	2,126

平成26年度～令和元年度

年 度	経過観察該当数	経過観察 受診者数		経過観察からの 発見がん	該当月未到達
			率（％）		
26	253	205	81.0	5	0
27	232	195	84.1	5	0
28	217	167	77.0	3	0
29	250	194	77.6	4	0
30	269	228	84.8	3	0
元	209	167	79.9	0	1
計	1,430	1,156	80.8	20	

※平成26年度よりシステム変更に伴い、経過観察該当数は当該年度に検診を受診し経過観察となった者のみとし、精検受診後に経過観察となった者や、前年度以前に検診を受診し経過観察中の者を含めないこととしたため、該当数が減少した。

表8 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和41年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	49,982	123	0.25
30～39	928,673	2,105	0.23
40～49	1,370,971	2,286	0.17
50～59	1,192,570	1,172	0.10
60～69	784,796	638	0.08
70～	242,120	185	0.08
計	4,569,112	6,509	0.14

※10歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5とは一致しない。

表10 子宮がん検診（頸部）受診歴別発見がん数（令和元年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	18,992	35	0.18
1年前	13,472	0	0.00
2年前	22,453	1	0.00
3年前	3,459	3	0.09
計	58,376	39	0.07

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 子宮がん検診（頸部）年齢別受診者数と発見がん数（令和元年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～19	21	0	0.00
20～24	616	0	0.00
25～29	1,100	2	0.18
30～34	2,098	3	0.14
35～39	3,195	6	0.19
40～44	6,137	7	0.11
45～49	6,071	7	0.12
50～54	6,182	1	0.02
55～59	5,944	4	0.07
60～64	6,677	2	0.03
65～69	7,860	2	0.03
70～74	7,496	2	0.03
75～79	3,526	3	0.09
80～	1,453	0	0.00
計	58,376	39	0.07

※5歳階級表

※この発見がん数は体部で要精検になったもののうち頸部がんの診断を受けたものも含むため表4・5及び表10とは一致しない。

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）
昭和41年度～平成28年度

年 度	発見がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他のがん
		上皮内がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
41～28	7,101	4,070	1,273	856	72	452	378

平成29年度～令和元年度

年 度	発見がん数	内 訳							
		頸 部 が ん						体部がん	その他の がん
		CIN3 (上皮内がん)	扁平上皮がん		上皮内 腺がん	腺がん	区分不能		
			I a	I b以上					
29	70	37	3	5	5	1	0	13	6
30	60	28	5	8	4	3	0	10	2
元	51	23	2	9	2	3	0	9	3
計	181	88	10	22	11	7	0	32	11

※子宮頸癌取扱い規約第4版に基づき、平成29年度より変更した。

表11 【再掲】 子宮がん検診（体部）発見がんの臨床病期

昭和41年度～令和元年度

年度	発見がん数	0期	I a期	I b期	I c期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	肉腫	転移性 腺がん	進行期 不明	他	卵巣 がん
41～元	484	12	187	153	28	31	40	3	14	1	15	16	11

表12 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～令和元年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他	陰性	疑陽性	陽性	
62～26	107,840	1,704	1.6	2,600	2.4		103,819	3,722	299	422
27	3,095	25	0.8	230	7.4	2,840	2,840	230	25	16
28	2,461	18	0.7	136	5.5	2,307	2,308	135	18	14
29	2,471	22	0.9	100	4.0	2,349	2,349	100	22	13
30	2,167	28	1.3	79	3.6	2,060	2,059	101	7	10
元	1,822	18	1.0	66	3.6	1,738	1,738	77	7	9
計	119,856	1,815	1.5	3,211	2.7	11,294	115,113	4,365	378	484

※H25までその他に超音波所見を含む

表13 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和元年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
62～26	107,840	81,523	26,317	422	0.39	316	0.39	106	0.40	
27	3,095	2,588	507	16	0.52	11	0.43	5	0.99	44.00
28	2,461	2,002	459	14	0.57	11	0.55	3	0.65	61.11
29	2,471	2,063	408	13	0.53	8	0.39	5	1.23	54.55
30	2,167	1,757	410	10	0.46	7	0.40	3	0.73	35.71
元	1,822	1,612	210	9	0.49	5	0.31	4	1.90	44.44
合計	119,856	91,545	28,311	484	0.40	358	0.39	126	0.45	45.95

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	1,236	1,129	107	9	0.73	8	0.71	1	0.93	9	100.0	5	0.40	3	0.27	2	1.87	44.44
旭川	547	462	85	7	1.28	6	1.30	1	1.18	7	100.0	3	0.55	2	0.43	1	1.18	42.86
釧路	39	21	18	2	5.13	0	0.00	2	11.11	2	100.0	1	2.56	0	0.00	1	5.56	50.00
合計	1,822	1,612	210	18	0.99	14	0.87	4	1.90	18	100.0	9	0.49	5	0.31	4	1.90	44.44

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～令和元年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳						（別掲） がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
23～26	129	124	96.1	50	40.3	10	8.1	62	50.0	3
27	25	25	100.0	10	40.0	1	4.0	13	52.0	1
28	18	18	100.0	9	50.0	0	0.0	5	27.8	2
29	22	22	100.0	12	54.5	1	4.5	9	40.9	0
30	28	27	96.4	10	37.0	0	0.0	17	63.0	0
元	18	18	100.0	8	44.4	0	0.0	10	55.6	0
計	240	234	97.5	99	42.3	12	5.1	116	49.6	6

※組織診結果は確定診断ではない。自己採取を除く。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにがんと診断されたもの”の数であるため、表12～14とは一致しない。

表16 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～令和元年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
23～26	671	620	92.4	9
27	230	219	95.2	5
28	136	126	92.6	3
29	100	87	87.0	1
30	79	70	88.6	0
元	66	60	90.9	1
計	1,282	1,182	92.2	19

表17 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	18	0	0.00
30～39	546	4	0.73
40～49	8,110	53	0.65
50～59	23,462	305	1.30
60～69	19,871	173	0.87
70～	7,992	68	0.85
計	59,999	603	1.01

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12・13とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（令和元年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率（％）
初 回	1,242	4	0.32
1 年前	216	1	0.46
2 年前	292	3	1.03
3 年前	72	1	1.39
計	1,822	9	0.49

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（令和元年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	0	0	0.00
30～34	3	0	0.00
35～39	11	0	0.00
40～44	73	0	0.00
45～49	186	0	0.00
50～54	353	0	0.00
55～59	245	5	2.04
60～64	249	2	0.80
65～69	290	1	0.34
70～74	280	2	0.71
75～79	103	1	0.97
80～	29	0	0.00
計	1,822	11	0.60

※5歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表12～14及び表19とは一致しない。

乳がん検診

令和元年度は、3台の検診車で127市町村¹⁾を延359日間²⁾巡回したほか、9事業所³⁾に延17日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、241名（令和2年12月10日現在）のがんを発見した。

1) 札幌69・旭川39・釧路19市町村 2) 札幌190・旭川117・釧路52日間 3) 札幌6・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌12・旭川2・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	55,298	30,894	17,891	6,513	31,822	18,835	9,862	3,125	23,476	12,059	8,029	3,388
事業所 ⁶⁾	7,729	4,442	2,299	988	6,457	3,737	1,946	774	1,272	705	353	214
個 人	3,348	1,702	1,437	209	3,295	1,695	1,392	208	53	7	45	1
合 計	66,375	37,038	21,627	7,710	41,574	24,267	13,200	4,107	24,801	12,771	8,427	3,603

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

受診総数66,375名のうち、検診車による巡回検診は24,801名（37.4%）、検診センターでの施設検診は41,574名（62.6%）であった。国の指針による40歳以上のマンモグラフィ併用検診対象者は隔年受診のため、平成29年度の受診数と比較すると5,012名減（検診車348名減、検診センター4,664名減）であった（表2）。受診歴別にみると、初回受診者数は21,188名（31.9%）、1年前受診者数は15,017名（22.6%）、2年前受診者数は26,227名（39.5%）、3年前受診者数は3,943名（5.9%）であった。要精検者は1,488名（要精検率2.2%）、経過観察者は125名であった（表1、8）。

【発見がんの状況】

令和元年度の発見がん数は241名、乳がん発見率0.36%、陽性反応適中度15.46%であった（表2、3）。

発見率を年齢階級別にみると、70～74歳が0.48%と最も高く、ついで65～69歳で0.47%、75～79歳で0.45%となっている。全体的には、65歳以上の発見率が高いが、50～54歳の発見率が0.40%と高い傾向がみられている（表7）。

また、受診歴別にみると、初回受診者は0.55%と最も多く、次いで3年前受診者は0.36%、2年前受診者が0.32%、1年前受診者で0.19%であった（表8）。平成26年度から平成30年度では、I期以下の早期がん割合は70.1%、そのうち非浸潤癌の割合は16.9%であった。

【まとめ】

平成29年度以降、受診数は減少している。今年度においては新型コロナウイルス感染拡大に伴う3月以降の巡回検診の一部中止および施設検診の受診控えが一因であると考えられる。施設検診の減少については、札幌近郊には乳腺専門の医療機関が多く、検診センター以外の選択が可能なことも大きい。今後、受診数の減少に歯止めがかかるよう、検診センターでの受診のメリットを広め、どの年代の女性にも乳がんへの関心を持ってもらえるよう、啓発活動など積極的に参加していき、北海道の受診率向上に役立てていきたい。また、広大な北海道では医療機関にかかることも困難な市町村も多いため、巡回検診により、引き続きそのような市町村のニーズに応えてゆく必要がある。

（保健師 齊藤 葉月）

表1 乳がん検診結果（累計）

昭和48年度～令和元年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観 察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線 維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
48～26	2,505,220	143,020	5.7	18,424	0.7	975	0.0	7,788	0.31	140,617	7,817	67,339	70,333	66,835	12,884
27	71,505	2,618	3.7	75	0.1	354	0.5	326	0.46	303	160	1,846	269	661	92
28	71,864	2,285	3.2	67	0.1	93	0.1	263	0.37	204	107	1,735	361	805	89
29	71,387	1,964	2.8	87	0.1	59	0.1	303	0.42	167	111	1,437	307	638	69
30	69,082	1,647	2.4	104	0.2	6	0.0	304	0.44	110	97	1,217	349	568	54
元	66,375	1,488	2.2	125	0.2	6	0.0	241	0.36	79	103	1,119	232	376	38
計	2,855,433	153,022	5.4	18,882	0.7	1,493	0.1	9,225	0.32	141,480	8,395	74,693	71,851	69,883	13,226

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合がありますが一致しない。

※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合がありますが一致しない。

表2 乳がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～令和元年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
48～26	2,505,220	1,473,785	1,031,435	7,788	0.31	5,627	0.38	2,161	0.21	
27	71,505	49,322	22,183	326	0.46	231	0.47	95	0.43	11.34
28	71,864	48,503	23,361	263	0.37	198	0.41	65	0.28	10.07
29	71,387	46,238	25,149	303	0.42	213	0.46	90	0.36	14.10
30	69,082	44,262	24,820	304	0.44	198	0.45	106	0.43	16.76
元	66,375	41,574	24,801	241	0.36	150	0.36	91	0.37	15.46
合計	2,855,433	1,703,684	1,151,749	9,225	0.32	6,617	0.39	2,608	0.23	

国の指標値（許容値）

0.23%以上

2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 乳がん検診実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	37,038	24,267	12,771	835	2.3	521	2.1	314	2.5	808	96.8	151	0.41	102	0.42	49	0.38	17.72
旭川	21,627	13,200	8,427	445	2.1	215	1.6	230	2.7	437	98.2	66	0.31	35	0.27	31	0.37	13.48
釧路	7,710	4,107	3,603	208	2.7	113	2.8	95	2.6	203	97.6	24	0.31	13	0.32	11	0.31	10.58
合計	66,375	41,574	24,801	1,488	2.2	849	2.0	639	2.6	1448	97.3	241	0.36	150	0.36	91	0.37	15.46

国の指標値（許容値）

11.0%以下

80%以上

0.23%以上

2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 乳がん検診要組織診結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要 組 織 診 該 当 数	組 織 診 受 診 数	有 所 見							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
S53～H25	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 乳がん検診要精検結果（累計）

平成26年度～令和元年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
26	2,764	2,719	303	11.0	377	13.6	177	6.4	2,016	72.9
27	2,618	2,582	326	12.5	318	12.1	162	6.2	1,862	71.1
28	2,285	2,254	258	11.3	209	9.1	128	5.6	1,730	75.7
29	1,964	1,928	302	15.4	167	8.5	111	5.7	1,437	73.2
30	1,647	1,628	298	18.1	110	6.7	97	5.9	1,217	73.9
元	1,488	1,448	240	16.1	79	5.3	104	7.0	1,119	75.2
計	12,766	12,559	1,727	13.5	1,260	9.9	779	6.1	9,381	73.5

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	18,240	16	0.09
30～39	348,002	390	0.11
40～49	751,989	2,417	0.32
50～59	784,703	2,411	0.31
60～69	646,167	2,526	0.39
70～	239,957	1,224	0.51
計	2,789,058	8,984	0.32

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

（令和元年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	610	1	0.16
30～34	1,277	0	0.00
35～39	2,343	1	0.04
40～44	7,835	12	0.15
45～49	7,325	27	0.37
50～54	7,483	30	0.40
55～59	7,000	25	0.36
60～64	7,739	30	0.39
65～69	9,360	44	0.47
70～74	9,017	43	0.48
75～79	4,470	20	0.45
80～	1,916	8	0.42
計	66,375	241	0.36

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（令和元年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	21,188	116	0.55
1年前受診	15,017	28	0.19
2年前受診	26,227	83	0.32
3年前受診	3,943	14	0.36
計	66,375	241	0.36

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～平成30年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
48～25	7,484	3,629	1,083	2,772
26	304	172	13	119
27	326	200	15	111
28	263	134	20	109
29	303	154	17	132
30	304	138	21	145
計	8,984	4,427	1,169	3,388

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～平成30年度

年 度	総 数	病 期 分 類								
		早 期 が ん				進 行 が ん				不 明
		計	O	I	旧分類O	計	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
48～25	7,484	4,384	795	3,534	55	3,033	2,584	380	69	67
26	304	206	40	166	0	94	80	9	5	4
27	326	224	58	166	0	96	84	9	3	6
28	263	187	43	144	0	74	70	4	0	2
29	303	214	55	159	0	87	77	7	3	2
30	304	220	58	162	0	78	65	12	1	6
合計	8,984	5,435	1,049	4,331	55	3,462	2,960	421	81	87

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

令和元年度は、19台の検診車で119市町村¹⁾を延2,223日間²⁾巡回したほか、62事業所³⁾に延128日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査に関しては、1台の検診車で25市町村を延56日間巡回したほか、3事業所に延3日間巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では81名、胸部CT検査では5名（令和2年12月10日現在）のがんを発見した。

1) 札幌55・旭川41・釧路23市町村 2) 札幌1,262・旭川563・釧路398日間 3) 札幌33・旭川20・釧路9事業所 4) 札幌67・旭川47・釧路13日間

胸部 X線検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	78,256	34,235	29,004	15,017	17,705	7,061	7,541	3,103	60,551	27,174	21,463	11,914
事業所 ⁶⁾	4,701	2,219	1,901	581	121	86	5	30	4,580	2,133	1,896	551
個 人	3,993	3,938	37	18	3,984	3,938	33	13	9	0	4	5
合計	86,950	40,392	30,942	15,616	21,810	11,085	7,579	3,416	65,140	29,307	23,363	12,470

胸部 CT検査	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	2,065	498	1,243	324	191	52	139	0	1,874	446	1,104	324
事業所 ⁶⁾	240	228	6	6	105	93	6	6	135	135	0	0
個 人	1,673	1,528	77	68	1,623	1,528	77	18	50	0	0	50
合計	3,978	2,254	1,326	398	1,919	1,673	222	24	2,059	581	1,104	374

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【胸部X線による肺がん検診】

胸部X線検査の総受診者数は86,950名（前年比3,443名減、3.8%減）で、実施形態別では検診車が65,140名で74.9%を占めている。性・年齢別では、男女とも65～74歳代の受診が多く、受診歴別では1年前受診が52,666名と経年受診が半数以上を占めた（表6、7）。肺がん検診結果では、精検受診率は前年度から0.9ポイント下降したものの、がん発見率および陽性反応的中度は例年と変わりはなく、いずれも国の指標を大きく上回っている（表1、2、3）。

追跡調査による発見がんの令和元年度までの累計では、発見がん2,538名のうち、0期26名、I期1,353名で合わせると54.3%が早期で発見されている（表8）。

肺がんは罹患数が多く、死亡率も高い。とりわけ、北海道の肺がん死亡率は全国でもトップレベルである。検診では早期がんの発見率が高いため、今後も受診拡大や、継続受診に向けたアプローチが必要である。

【低線量CTによる肺がん検診】

胸部CT検査の総受診数は3,978名（349名減、1.8%減）で、精検受診率は96.3%で高い割合を維持している（表2）。令和元年度の肺がん発見率は0.13%で平成30年度とともに例年より低いが、現時点では確定診断がついていない受診者もいることから、今後上昇する可能性がある（表1）。

追跡調査による発見がんの平成30年までの累計では0期9名、I期164名で、合わせると78.3%が早期に発見されている（表4）。胸部X線と比べ、早期の割合が高いが、確定診断が不可能な大きさのうちに要精検となったものは、がんを疑いながら経過観察を必要とされるため、検診の性質を理解したうえで受診できるよう十分な配慮が必要である。

【まとめ】

胸部X線による肺がん検診も低線量CTによる肺がん検診もどちらも前年に比べて受診者が大幅に減っている。特に令和2年3月の受診者数の減少が顕著で、これは新型コロナウイルス感染症の影響で自治体や事業所が検診中止や延期したことと、個人受診者の受診控えが影響していると考えられる。

（保健師 松永 陽子）

表1 肺がん検診結果（累計）

昭和51年度～令和元年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
51～26	2,887,723	219,447	97,729	3.4	342,566	11.9	90,488	92.6
27	94,015	2,454	1,829	1.9	11,633	12.4	1,676	91.6
28	90,936	2,329	2,386	2.6	11,762	12.9	2,227	93.3
29	89,757	2,040	2,012	2.2	11,458	12.8	1,865	92.7
30	90,393	1,922	1,773	2.0	12,061	13.3	1,623	91.5
元	86,950	1,654	1,700	2.0	11,485	13.2	1,536	90.4
計	3,339,774	229,846	107,429	3.2	400,965	12.0	99,415	92.5

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～令和元年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
51～26	2,887,723	542,339	2,345,384	2,195	0.08	477	0.09	1,718	0.07	2.25
27	94,015	25,934	68,081	79	0.08	16	0.06	63	0.09	4.32
28	90,936	24,544	66,392	86	0.09	15	0.06	71	0.11	3.60
29	89,757	23,728	66,029	86	0.10	27	0.11	59	0.09	4.27
30	90,393	23,111	67,282	92	0.10	22	0.10	70	0.10	5.19
元	86,950	21,810	65,140	81	0.09	20	0.09	61	0.09	4.76
合計	3,339,774	661,466	2,678,308	2,619	0.08	577	0.09	2,042	0.08	2.44

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 肺がん検診実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	40,392	11,085	29,307	572	1.4	106	1.0	466	1.6	518	90.6	40	0.10	6	0.05	34	0.12	6.99
旭川	30,942	7,579	23,363	931	3.0	108	1.4	823	3.5	831	89.3	30	0.10	12	0.16	18	0.08	3.22
釧路	15,616	3,146	12,470	197	1.3	52	1.7	145	1.2	187	94.9	11	0.07	2	0.06	9	0.07	5.58
合計	86,950	21,810	65,140	1,700	2.0	266	1.2	1,434	2.2	1,536	90.4	81	0.09	20	0.09	61	0.09	4.76

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～令和元年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
62～26	202,753	414	3,234	667	198,471	3,211	220	184	235	40
27	2,454	0	9	2	2,447	5	0	0	0	0
28	2,329	2	5	1	2,321	5	1	1	0	1
29	2,040	2	7	1	2,031	6	1	1	1	0
30	1,922	2	13	0	1,907	13	2	0	3	0
元	1,654	3	18	1	1,632	17	3	0	1	0
計	213,152	423	3,286	672	208,809	3,257	227	186	240	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和51年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	214,300	4	0.002
40～49	511,208	62	0.01
50～59	720,739	236	0.03
60～69	1,051,241	1,066	0.10
70～	755,336	1,170	0.15
計	3,252,824	2,538	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和元年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率(%)		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	5,104	2,820	2,284	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	4,176	1,523	2,653	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,210	1,574	2,636	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	4,784	1,687	3,097	0	0	0	0.00	0.00	0.00
55～59	5,603	1,820	3,783	3	1	2	0.05	0.05	0.05
60～64	8,871	2,955	5,916	3	3	0	0.03	0.10	0.00
65～69	16,742	6,454	10,288	15	8	7	0.09	0.12	0.07
70～74	18,163	7,384	10,779	29	16	13	0.16	0.22	0.12
75～79	11,584	5,052	6,532	17	13	4	0.15	0.26	0.06
80～	7,713	3,846	3,867	14	7	7	0.18	0.18	0.18
総 数	86,950	35,115	51,835	81	48	33	0.09	0.14	0.06

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（令和元年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	34,284	13,002	21,282	38	22	16	0.11	0.17	0.08
1 年 前	52,666	22,113	30,553	43	26	17	0.08	0.12	0.06
計	86,950	35,115	51,835	81	48	33	0.09	0.14	0.06

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～平成30年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		〇 C	〇	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不 明
51～25	2,103	2	21	1,143	150	484	255	48
26	92	0	0	41	12	22	15	2
27	79	0	0	44	4	15	12	4
28	86	0	0	44	8	21	11	2
29	86	0	3	38	12	15	17	1
30	92	0	2	43	16	13	13	5
計	2,538	2	26	1,353	202	570	323	62

肺癌取扱い規約準ずる。

ＣＴ肺がん検診

表１ ＣＴ肺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～令和元年度

年度	受診者数			要精検者数						発見がん数					
	総数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)
14～26	28,834	18,140	10,694	1,449	5.0	1,073	5.9	376	3.5	146	0.51	101	0.56	45	0.42
27	4,138	2,140	1,998	144	3.5	78	3.6	66	3.3	25	0.60	16	0.75	9	0.45
28	4,261	2,129	2,132	248	5.8	112	5.3	136	6.4	20	0.47	13	0.61	7	0.33
29	4,385	2,151	2,234	206	4.7	79	3.7	127	5.7	20	0.46	14	0.65	6	0.27
30	4,327	2,139	2,188	179	4.1	76	3.6	103	4.7	10	0.23	7	0.33	3	0.14
元	3,978	1,919	2,059	190	4.8	73	3.8	117	5.7	5	0.13	2	0.10	3	0.15
計	49,923	28,618	21,305	2,416	4.8	1,491	5.2	925	4.3	226	0.45	153	0.53	73	0.34

表２ ＣＴ肺がん検診結果（累計）

平成14年度～令和元年度

年 度	受診者数		要精検者数	要精検率(%)	有所見者数	有所見率(%)	精検受診数	精検受診率(%)
	(再掲)	略痰実施数						
14～26	28,834	4,968	1,449	5.0	21,858	75.8	1,380	95.2
27	4,138	455	144	3.5	3,453	83.4	136	94.4
28	4,261	378	248	5.8	3,497	82.1	237	95.6
29	4,385	324	206	4.7	3,578	81.6	198	96.1
30	4,327	291	179	4.1	3,555	82.2	174	97.2
元	3,978	222	190	4.8	3,264	82.1	183	96.3
計	49,923	6,638	2,416	4.8	39,205	78.5	2,308	95.5

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

表３ ＣＴ肺がん検診略痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～令和元年度

年 度	略痰検査実施数	要精検者数	要経過観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他のがん
				A	B	C	D	E		
14～26	4,968	8	95	22	4,853	86	6	1	2	0
27	455	0	2	0	453	2	0	0	0	0
28	378	0	2	0	376	2	0	0	0	0
29	324	0	4	0	319	3	2	0	1	0
30	291	1	0	0	290	0	1	0	0	1
元	222	1	1	0	220	1	0	1	0	0
計	6,638	10	104	22	6,511	94	9	2	3	1

表４ 追跡調査による発見がんの病期区分（ＣＴ検診発見分・累計）

平成14年度～平成30年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		ＯＣ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明
14～25	132	0	0	105	10	11	6	0
26	14	0	3	10	0	1	0	0
27	25	0	3	17	0	3	2	0
28	20	0	0	15	2	2	1	0
29	20	0	1	11	1	1	3	3
30	10	0	2	6	1	1	0	0
計	221	0	9	164	14	19	12	3

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

令和元年度は、124市町村¹⁾、30事業所²⁾で巡回し検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、350名（令和3年1月14日現在）のがんを発見した。

1) 札幌64・旭川42・釧路18市町村 2) 札幌10・旭川14・釧路3事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	103,671	56,522	32,331	14,818	29,295	17,378	8,381	3,536	74,376	39,144	23,950	11,282
事業所 ⁴⁾	13,722	8,417	3,223	2,082	10,460	6,525	2,102	1,833	3,262	1,892	1,121	249
個 人	775	581	87	107	744	569	82	93	31	12	5	14
合 計	118,168	65,520	35,641	17,007	40,499	24,472	10,565	5,462	77,669	41,048	25,076	11,545

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの

【最近の動向について（全国）】

令和元年（2019年）は、がん死亡数は376,392名（大腸がん死亡数51,409名）で前年よりも増加していた^{※1}。また部位別死亡数順位は、大腸がんが男性3位、女性1位であった。^{※1}

部位別の罹患数（2017年）は、男性3位、女性2位であった^{※2}。

（資料 ※1 人口動態統計による全国がん死亡データ ※2 全国がん登録による全国がん罹患データ）

【検診の受診状況】

受診総数は118,168名（前年比7,725名減、6.1%減）で、検診車による巡回検診が77,669名（前年比6.9%減）、検診センターでの施設検診が40,499名（前年比4.5%減）であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者は9,294名（検診車6,472名、検診センター2,822名）で、要精検率は7.9%、精検受診率は79.9%であった（表3）。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低50.3%（～39歳）、最高84.9%（70～74歳）と世代間の差が大きかった。また、性別の精検受診率は男性77.0%、女性82.7%と性別間でも差が見られた（表4）。

【発見がんについて】

令和元年度の発見がんの総数は350名（男性186名、女性164名）で、がん発見率は0.30%、陽性反応適中度は3.77%であった（表2）。

がん発見率は、性別では男性が高く、また男女とも高齢になるほど高くなる（表4）。受診歴別では、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）が受診者において、23.1%を占め、がん発見率は0.56%で高い（表7）。これらは、例年と同様である。

追跡調査の結果、平成30年度の検診で発見されたがんのうち68.1%が早期がんであった（表8）。

【まとめ】

受診者数が、昨年の0.15%減と比べ6.1%減となったのは、令和2年3月の新型コロナウイルス感染症の影響で自治体や事業所が検診中止や延期したことと、個人受診者の受診控えが影響していると考えられる。

受診歴別では、継続受診の割合は、例年同様約6割を占めるが、初回受診者にがん発見率が高く、年1回の大腸がん検診の必要性を啓発して行く必要がある。

精密検査を未受診で、検診を受診する人もおり、検診および精密検査の目的を正しく伝えることも必要と考える。

（保健師 久保 史華）

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～令和元年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精 検 結 果 内 訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	そ の 他	異常なし
62～26	2,813,316	284,588	10.1	242,068	85.1	8,692	3,149	234	96,836	31,105	102,022
27	140,181	11,128	7.9	9,444	84.9	470	152	11	4,751	1,500	2,560
28	129,956	9,814	7.6	8,220	83.8	415	139	7	3,994	1,404	2,261
29	126,084	10,000	7.9	8,384	83.8	404	132	6	3,655	2,032	2,155
30	125,893	9,267	7.4	7,703	83.1	487	132	5	673	4,537	1,869
元	118,168	9,294	7.9	7,424	79.9	350	118	5	585	4,623	1,744
計	3,453,598	334,091	9.7	283,243	84.8	10,818	3,822	268	110,494	45,201	112,611

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和元年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
62～26	2,813,316	766,328	2,046,988	8,692	0.31	2,217	0.29	6,475	0.32	3.05
27	140,181	45,673	94,508	470	0.34	127	0.28	343	0.36	4.22
28	129,956	43,160	86,796	415	0.32	110	0.25	305	0.35	4.23
29	126,084	42,630	83,454	404	0.32	119	0.28	285	0.34	4.04
30	125,893	42,423	83,470	487	0.39	141	0.33	346	0.41	5.26
元	118,168	40,499	77,669	350	0.30	98	0.24	252	0.32	3.77
合計	3,453,598	980,713	2,472,885	10,818	0.31	2,812	0.29	8,006	0.32	3.24

国の指標値（許容値）

0.13%以上

1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精検受診者数		発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	要精 検率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	65,520	24,472	41,048	5,075	7.7	1,657	6.8	3,418	8.3	4,018	79.2	194	0.30	63	0.26	131	0.32	3.82
旭川	35,641	10,565	25,076	2,735	7.7	744	7.0	1,991	7.9	2,193	80.2	95	0.27	17	0.16	78	0.31	3.47
釧路	17,007	5,462	11,545	1,484	8.7	421	7.7	1,063	9.2	1,213	81.7	61	0.36	18	0.33	43	0.37	4.11
合計	118,168	40,499	77,669	9,294	7.9	2,822	7.0	6,472	8.3	7,424	79.9	350	0.30	98	0.24	252	0.32	3.77

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70%以上

0.13%以上

1.9%以上

※陽性反応適中率は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（令和元年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,591	87	43	2	2	0	3	20	16
	女	1,609	80	41	0	1	0	5	9	26
	計	3,200	167	84	2	3	0	8	29	42
40～44	男	2,844	155	96	2	5	1	12	50	26
	女	4,505	231	153	1	6	0	8	67	71
	計	7,349	386	249	3	11	1	20	117	97
45～49	男	3,043	185	119	5	2	0	13	59	40
	女	4,832	248	163	5	7	0	9	62	80
	計	7,875	433	282	10	9	0	22	121	120
50～54	男	2,942	210	131	5	2	0	11	87	26
	女	5,457	282	213	6	6	0	12	113	76
	計	8,399	492	344	11	8	0	23	200	102
55～59	男	3,204	252	159	12	3	0	10	112	22
	女	6,091	312	250	14	2	1	18	129	86
	計	9,295	564	409	26	5	1	28	241	108
60～64	男	4,257	381	264	21	5	1	25	174	38
	女	8,271	445	378	10	8	0	30	212	118
	計	12,528	826	642	31	13	1	55	386	156
65～69	男	8,309	821	647	34	6	0	47	468	92
	女	13,246	856	737	41	10	1	54	422	210
	計	21,555	1,677	1,384	75	16	1	101	890	302
70～74	男	9,347	972	793	52	5	0	69	558	109
	女	13,864	997	879	31	21		70	528	229
	計	23,211	1,969	1,672	83	26	0	139	1,086	338
75～79	男	6,428	759	660	28	8	0	56	475	93
	女	8,511	723	649	35	10	1	48	389	166
	計	14,939	1,482	1,309	63	18	1	104	864	259
80～	男	4,851	719	583	25	7	0	47	397	107
	女	4,966	579	466	21	2	0	38	292	113
	計	9,817	1,298	1,049	46	9	0	85	689	220
合計	男	46,816	4,541	3,495	186	45	2	293	2,400	569
	女	71,352	4,753	3,929	164	73	3	292	2,223	1,175
	計	118,168	9,294	7,424	350	118	5	585	4,623	1,744

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	5,518	1	0.02
30～39	68,850	36	0.05
40～49	464,304	470	0.10
50～59	732,841	1,479	0.20
60～69	1,192,489	4,350	0.36
70～	871,428	4,132	0.47
計	3,335,430	10,468	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和元年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	170	99	71	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	598	306	292	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,432	1,186	1,246	2	2	0	0.08	0.17	0.00
40～44	7,349	2,844	4,505	3	2	1	0.04	0.07	0.02
45～49	7,875	3,043	4,832	10	5	5	0.13	0.16	0.10
50～54	8,399	2,942	5,457	11	5	6	0.13	0.17	0.11
55～59	9,295	3,204	6,091	26	12	14	0.28	0.37	0.23
60～64	12,528	4,257	8,271	31	21	10	0.25	0.49	0.12
65～69	21,555	8,309	13,246	75	34	41	0.35	0.41	0.31
70～74	23,211	9,347	13,864	83	52	31	0.36	0.56	0.22
75～79	14,939	6,428	8,511	63	28	35	0.42	0.44	0.41
80～	9,817	4,851	4,966	46	25	21	0.47	0.52	0.42
総 数	118,168	46,816	71,352	350	186	164	0.30	0.40	0.23

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和元年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	27,385	10,818	16,567	154	90	64	0.56	0.83	0.39
1 年 前	71,865	30,263	41,602	139	75	64	0.19	0.25	0.15
2 年 前	14,501	4,270	10,231	43	16	27	0.30	0.37	0.26
3 年 前	4,417	1,465	2,952	14	5	9	0.32	0.34	0.30
計	118,168	46,816	71,352	350	186	164	0.30	0.40	0.23

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～平成30年度

年度	発見がん数 (A)	手術 施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術 未施行 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
62～25	8,245	8,172	99.1	5,490	67.2	2,654	32.5	28	0.3	3,969	48.6	67	0.8
26	447	441	98.7	302	68.5	136	30.8	3	0.7	229	51.9	6	1.3
27	470	466	99.1	317	68.0	149	32.0	0	0.0	232	49.8	4	0.9
28	415	410	98.8	299	72.9	110	26.8	1	0.2	234	57.1	7	1.7
29	404	400	99.0	292	73.0	106	26.5	2	0.5	204	51.0	4	1.0
30	487	470	96.5	320	68.1	147	31.3	3	0.6	257	54.7	16	3.3
計	10,468	10,359	99.0	7,020	67.8	3,302	31.9	37	0.4	5,125	49.5	104	1.0

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（平成30年度）

手術施行	早 期 が ん		進 行 が ん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
470	225	95	50	77	19	1	3

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

令和元年度は、79市町村¹⁾、9事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、119名（令和2年12月10日現在）のがんを発見した。

1) 札幌32・旭川31・釧路16市町村 2) 札幌4・旭川5事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	12,704	5,973	3,500	3,231	2,086	1,429	148	509	10,618	4,544	3,352	2,722
事業所 ⁴⁾	702	365	267	70	579	349	160	70	123	16	107	0
個 人	2,448	1,348	999	101	2,219	1,197	925	97	229	151	74	4
合 計	15,854	7,686	4,766	3,402	4,884	2,975	1,233	676	10,970	4,711	3,533	2,726

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定めているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。令和元年度の受診総数については、平成30年度と比較して364名減少していた（表1）。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は847名で、要精検率は5.3%であった。そのうち精検受診者数は699名であり、精検受診率は82.5%で、例年と大きな差はなかった（表1）。

【発見がんについて】

発見がん（率）は119名（0.75%）で、検診センター43名、検診車76名であった（表3）。

年齢階級別にみると、50歳～54歳の階級以降からがんが発見されており、75歳～79歳の階級で発見率はピークとなっている（表5）。

受診歴別発見がんでは、初回受診者のがん発見率が最も高く、次いで3年前の受診者の発見率が高かった（表6）。

【まとめ】

前立腺がんは高齢化に伴って急増しており、男性の9人に1人*¹が罹患するといわれている。また、年齢が高くなるにつれ、がん発見率も上がっている。

前立腺がん検診は血液検査で行い、食事制限もないことから、健康診査等と同時に受診しやすい。特に50歳以上の働き盛りの世代を中心に、他のがん検診や健康診査等とあわせて受診するよう勧奨していきたい。

* 1 2017年データに基づく（出典：国立がん研究センター「がん情報サービス」）

（保健師 柴田 有）

表1 前立腺がん検診実施状況及び精検結果（累計）

平成9年度～令和元年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
9～26	140,814	8,714	6.2	6,668	76.5	1,485	2,356	1,699	1,128
27	16,208	770	4.8	641	83.2	162	167	175	137
28	16,587	724	4.4	610	84.3	142	165	181	122
29	15,939	824	5.2	691	83.9	140	215	191	145
30	16,218	860	5.3	733	85.2	146	222	228	137
元	15,854	847	5.3	699	82.5	119	204	228	148
計	221,620	12,739	5.7	10,042	78.8	2,194	3,329	2,702	1,817

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～令和元年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
9～26	140,814	44,552	96,262	1,485	1.05	519	1.16	966	1.00	17.04
27	16,208	5,113	11,095	162	1.00	53	1.04	109	0.98	21.04
28	16,587	5,079	11,508	142	0.86	51	1.00	91	0.79	19.61
29	15,939	4,844	11,095	140	0.88	44	0.91	96	0.87	16.99
30	16,218	4,781	11,437	146	0.90	49	1.02	97	0.85	16.98
元	15,854	4,884	10,970	119	0.75	43	0.88	76	0.69	14.05
計	221,620	69,253	152,367	2,194	0.99	759	1.10	1,435	0.94	

表3 前立腺がん検診実施状況及び発見がん数（令和元年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	7,686	2,975	4,711	436	5.7	185	6.2	251	5.3	357	81.9	65	0.85	32	1.08	33	0.70	14.91
旭川	4,766	1,233	3,533	229	4.8	63	5.1	166	4.7	188	82.1	24	0.50	5	0.41	19	0.54	10.48
釧路	3,402	676	2,726	182	5.3	29	4.3	153	5.6	154	84.6	30	0.88	6	0.89	24	0.88	16.48
総数	15,854	4,884	10,970	847	5.3	277	5.7	570	5.2	699	82.5	119	0.75	43	0.88	76	0.69	14.05

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～平成30年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	1,272	0	0.00
40～49	7,494	2	0.03
50～59	33,992	77	0.23
60～69	84,676	762	0.90
70～	78,302	1,234	1.58
年齢不詳	30	0	0.00
総 数	205,766	2,075	1.01

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（令和元年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	4,537	61	1.34
1 年前	9,077	39	0.43
2 年前	1,634	13	0.80
3 年前	606	6	0.99
計	15,854	119	0.75

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（令和元年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	72	0	0.00
40～44	290	0	0.00
45～49	366	0	0.00
50～54	1,027	3	0.29
55～59	1,301	4	0.31
60～64	1,884	10	0.53
65～69	3,703	36	0.97
70～74	3,805	37	0.97
75～79	2,173	23	1.06
80～	1,233	6	0.49
総 数	15,854	119	0.75

※5歳階級表

健康診査の成績

【特定健診等】総合判定結果

令和元年度

		受診者数	判 定									
			異常なし		有 所 見		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	0	0.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	2	50.0
	20～24歳	35	11	31.4	0	0.0	13	37.1	1	2.9	10	28.6
	25～29歳	82	15	18.3	0	0.0	31	37.8	3	3.7	33	40.2
	30～34歳	242	40	16.5	0	0.0	117	48.3	7	2.9	78	32.2
	35～39歳	386	61	15.8	0	0.0	179	46.4	11	2.8	135	35.0
	40～44歳	786	68	8.7	0	0.0	361	45.9	53	6.7	304	38.7
	45～49歳	847	47	5.5	0	0.0	367	43.3	122	14.4	311	36.7
	50～54歳	952	42	4.4	0	0.0	383	40.2	150	15.8	377	39.6
	55～59歳	1,019	37	3.6	0	0.0	383	37.6	245	24.0	354	34.7
	60～64歳	1,733	31	1.8	0	0.0	537	31.0	540	31.2	625	36.1
	65～69歳	4,545	60	1.3	0	0.0	1,150	25.3	1,702	37.4	1,633	35.9
	70～74歳	5,882	69	1.2	0	0.0	1,253	21.3	2,469	42.0	2,091	35.5
	75～79歳	3,646	40	1.1	0	0.0	733	20.1	1,727	47.4	1,146	31.4
	80歳以上	2,820	26	0.9	0	0.0	503	17.8	1,268	45.0	1,023	36.3
小 計		22,979	547	2.4	0	0.0	6,012	26.2	8,298	36.1	8,122	35.3
女 性	～19歳	6	3	50.0	0	0.0	2	33.3	1	16.7	0	0.0
	20～24歳	73	40	54.8	0	0.0	27	37.0	0	0.0	6	8.2
	25～29歳	136	72	52.9	0	0.0	46	33.8	4	2.9	14	10.3
	30～34歳	403	171	42.4	0	0.0	172	42.7	14	3.5	46	11.4
	35～39歳	770	291	37.8	0	0.0	358	46.5	29	3.8	92	11.9
	40～44歳	1,319	378	28.7	0	0.0	662	50.2	73	5.5	206	15.6
	45～49歳	1,429	316	22.1	0	0.0	739	51.7	121	8.5	253	17.7
	50～54歳	1,653	185	11.2	0	0.0	878	53.1	234	14.2	356	21.5
	55～59歳	2,192	162	7.4	0	0.0	1,063	48.5	494	22.5	473	21.6
	60～64歳	3,502	115	3.3	0	0.0	1,489	42.5	1,085	31.0	813	23.2
	65～69歳	6,892	143	2.1	0	0.0	2,499	36.3	2,660	38.6	1,590	23.1
	70～74歳	8,072	115	1.4	0	0.0	2,171	26.9	3,717	46.0	2,069	25.6
	75～79歳	4,554	46	1.0	0	0.0	1,049	23.0	2,277	50.0	1,182	26.0
	80歳以上	2,624	25	1.0	0	0.0	452	17.2	1,349	51.4	798	30.4
小 計		33,625	2,062	6.1	0	0.0	11,607	34.5	12,058	35.9	7,898	23.5
総 数	～19歳	10	3	30.0	0	0.0	4	40.0	1	10.0	2	20.0
	20～24歳	108	51	47.2	0	0.0	40	37.0	1	0.9	16	14.8
	25～29歳	218	87	39.9	0	0.0	77	35.3	7	3.2	47	21.6
	30～34歳	645	211	32.7	0	0.0	289	44.8	21	3.3	124	19.2
	35～39歳	1,156	352	30.4	0	0.0	537	46.5	40	3.5	227	19.6
	40～44歳	2,105	446	21.2	0	0.0	1,023	48.6	126	6.0	510	24.2
	45～49歳	2,276	363	15.9	0	0.0	1,106	48.6	243	10.7	564	24.8
	50～54歳	2,605	227	8.7	0	0.0	1,261	48.4	384	14.7	733	28.1
	55～59歳	3,211	199	6.2	0	0.0	1,446	45.0	739	23.0	827	25.8
	60～64歳	5,235	146	2.8	0	0.0	2,026	38.7	1,625	31.0	1,438	27.5
	65～69歳	11,437	203	1.8	0	0.0	3,649	31.9	4,362	38.1	3,223	28.2
	70～74歳	13,954	184	1.3	0	0.0	3,424	24.5	6,186	44.3	4,160	29.8
	75～79歳	8,200	86	1.0	0	0.0	1,782	21.7	4,004	48.8	2,328	28.4
	80歳以上	5,444	51	0.9	0	0.0	955	17.5	2,617	48.1	1,821	33.4
合 計		56,604	2,609	4.6	0	0.0	17,619	31.1	20,356	36.0	16,020	28.3

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,604人に総合判定を行った。
男女別では、男性22,979人（40.6％）女性33,625人（59.4％）であった。
また、年齢階級でみると、70～74歳が最も高く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）4.6％、要指導31.1％、治療継続36.0％、要医療28.3％であった。

【特定健診等】メタボリック判定結果

令和元年度

		受診者数	判 定							
			非 該 当		予備群該当		基 準 該 当		判 定 不 能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	3	75.0	1	25.0		0.0		0.0
	20～24歳	35	30	85.7	4	11.4		0.0	1	2.9
	25～29歳	82	62	75.6	12	14.6	6	7.3	2	2.4
	30～34歳	242	166	68.6	33	13.6	26	10.7	17	7.0
	35～39歳	386	264	68.4	56	14.5	38	9.8	28	7.3
	40～44歳	786	508	64.6	167	21.2	111	14.1		0.0
	45～49歳	847	521	61.5	179	21.1	147	17.4		0.0
	50～54歳	952	533	56.0	197	20.7	222	23.3		0.0
	55～59歳	1,019	567	55.6	185	18.2	267	26.2		0.0
	60～64歳	1,732	916	52.9	301	17.4	513	29.6	2	0.1
	65～69歳	4,543	2,408	53.0	826	18.2	1,283	28.2	26	0.6
	70～74歳	5,878	3,122	53.1	1,044	17.8	1,673	28.5	39	0.7
	75～79歳	3,582	1,248	34.8	370	10.3	570	15.9	1,394	38.9
	80歳以上	2,751	878	31.9	275	10.0	383	13.9	1,215	44.2
小 計		22,839	11,226	49.2	3,650	16.0	5,239	22.9	2,724	11.9
女 性	～19歳	6	6	100.0		0.0		0.0		0.0
	20～24歳	73	64	87.7	3	4.1	1	1.4	5	6.8
	25～29歳	136	126	92.6		0.0	1	0.7	9	6.6
	30～34歳	403	343	9.0	10	2.5	3	0.7	47	11.7
	35～39歳	770	689	89.5	17	2.2	6	0.8	58	7.5
	40～44歳	1,319	1,224	92.8	66	5.0	29	2.2		0.0
	45～49歳	1,429	1,302	91.1	80	5.6	45	3.1	2	0.1
	50～54歳	1,653	1,464	88.6	103	6.2	85	5.1	1	0.1
	55～59歳	2,192	1,906	87.0	133	6.1	152	6.9	1	0.0
	60～64歳	3,500	3,039	86.8	207	5.9	252	7.2	2	0.1
	65～69歳	6,892	5,903	85.7	386	5.6	581	8.4	22	0.3
	70～74歳	8,068	6,894	85.4	408	5.1	734	9.1	32	0.4
	75～79歳	4,442	2,353	53.0	173	3.9	277	6.2	1,639	36.9
	80歳以上	2,559	1,229	48.0	93	3.6	141	5.5	1,096	42.8
小 計		33,442	26,542	79.4	1,679	5.0	2,307	6.9	2,914	8.7
総 数	～19歳	10	9	90.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	108	94	87.0	7	6.5	1	0.9	6	5.6
	25～29歳	218	188	86.2	12	5.5	7	3.2	11	5.0
	30～34歳	645	509	78.9	43	6.7	29	4.5	64	9.9
	35～39歳	1,156	953	82.4	73	6.3	44	3.8	86	7.4
	40～44歳	2,105	1,732	82.3	233	11.1	140	6.7	0	0.0
	45～49歳	2,276	1,823	80.1	259	11.4	192	8.4	2	0.1
	50～54歳	2,605	1,997	76.7	300	11.5	307	11.8	1	0.0
	55～59歳	3,211	2,473	77.0	318	9.9	419	13.0	1	0.0
	60～64歳	5,232	3,955	75.6	508	9.7	765	14.6	4	0.1
	65～69歳	11,435	8,311	72.7	1,212	10.6	1,864	16.3	48	0.4
	70～74歳	13,946	10,016	71.8	1,452	10.4	2,407	17.3	71	0.5
	75～79歳	8,024	3,601	44.9	543	6.8	847	10.6	3,033	37.8
	80歳以上	5,310	2,107	39.7	368	6.9	524	9.9	2,311	43.5
合 計		56,281	37,768	67.1	5,329	9.5	7,546	13.4	5,638	10.0

メタボリックシンドローム判定結果

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,281人にメタボリックシンドローム判定を行った。

男女別では、男性22,839人（40.6％）女性33,442人（59.4％）であった。

また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

腹囲条件該当者で血糖、糖尿、脂質検査項目のいずれか1項目が該当する

予備軍該当者が9.5％、いずれか2項目以上が該当する基準該当が13.4％、非該当は67.1％であった。

腹囲未実施など、判定条件をみたまらず判定不能となったものが10.0％あった。

男性では予備軍該当が16.0％、基準該当が22.9％、非該当が49.2％であり、

女性では予備軍該当が5.0％、基準該当が6.9％、非該当が79.4％であった。

【特定健診等】腹囲測定結果

令和元年度

		受診者数	判 定			
			男性 85cm未満、女性 90cm未満		男性 85cm以上、女性 90cm以上	
			(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	3	75.0	1	25.0
	20～24歳	34	27	79.4	7	20.6
	25～29歳	80	54	67.5	26	32.5
	30～34歳	225	130	57.8	95	42.2
	35～39歳	358	207	57.8	151	42.2
	40～44歳	786	397	50.5	389	49.5
	45～49歳	847	411	48.5	436	51.5
	50～54歳	952	429	45.1	523	54.9
	55～59歳	1,019	482	47.3	537	52.7
	60～64歳	1,730	796	46.0	934	54.0
	65～69歳	4,517	2,149	47.6	2,368	52.4
	70～74歳	5,839	2,915	49.9	2,924	50.1
	75～79歳	2,188	1,181	54.0	1,007	46.0
	80歳以上	1,536	841	54.8	695	45.2
小 計		20,115	10,022	49.8	10,093	50.2
女 性	～19歳	6	6	100.0	0	0.0
	20～24歳	68	64	94.1	4	5.9
	25～29歳	127	119	93.7	8	6.3
	30～34歳	356	329	92.4	27	7.6
	35～39歳	712	645	90.6	67	9.4
	40～44歳	1,319	1,132	85.8	187	14.2
	45～49歳	1,427	1,241	87.0	186	13.0
	50～54歳	1,652	1,397	84.6	255	15.4
	55～59歳	2,191	1,825	83.3	366	16.7
	60～64歳	3,498	2,940	84.0	558	16.0
	65～69歳	6,870	5,762	83.9	1,108	16.1
	70～74歳	8,036	6,769	84.2	1,267	15.8
	75～79歳	2,803	2,321	82.8	482	17.2
	80歳以上	1,463	1,218	83.3	245	16.7
小 計		30,528	25,768	84.4	4,760	15.6
総 数	～19歳	10	9	90.0	1	10.0
	20～24歳	102	91	89.2	11	10.8
	25～29歳	207	173	83.6	34	16.4
	30～34歳	581	459	79.0	122	21.0
	35～39歳	1,070	852	79.6	218	20.4
	40～44歳	2,105	1,529	72.6	576	27.4
	45～49歳	2,274	1,652	72.6	622	27.4
	50～54歳	2,604	1,826	70.1	778	29.9
	55～59歳	3,210	2,307	71.9	903	28.1
	60～64歳	5,228	3,736	71.5	1,492	28.5
	65～69歳	11,387	7,911	69.5	3,476	30.5
	70～74歳	13,875	9,684	69.8	4,191	30.2
	75～79歳	4,991	3,502	70.2	1,489	29.8
	80歳以上	2,999	2,059	68.7	940	31.3
合 計		50,643	35,790	70.7	14,853	29.3

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、50,643人に腹囲測定を行った。
男女別では、男性20,115人（39.7％）女性30,528人（60.3％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

男性85女性90cm未満の異常なし（精検不要）70.7％、男性85女性90cm以上の要指導は29.3％であった。

【特定健診等】 血圧測定結果

令和元年度

		受診者数	異常なし		判 要 指 導		定 治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	2	50.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	35	30	85.7	5	14.3	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	82	65	79.3	14	17.1	1	1.2	2	2.4
	30～34歳	242	186	76.9	49	20.2	3	1.2	4	1.7
	35～39歳	386	295	76.4	73	18.9	6	1.6	12	3.1
	40～44歳	786	543	69.1	173	22.0	36	4.6	34	4.3
	45～49歳	847	512	60.4	204	24.1	96	11.3	35	4.1
	50～54歳	952	508	53.4	269	28.3	145	15.2	30	3.2
	55～59歳	1,019	466	45.7	277	27.2	232	22.8	44	4.3
	60～64歳	1,732	572	33.0	495	28.6	568	32.8	97	5.6
	65～69歳	4,543	1,309	28.8	1,220	26.9	1,747	38.5	267	5.9
	70～74歳	5,881	1,359	23.1	1,482	25.2	2,728	46.4	312	5.3
	75～79歳	3,646	752	20.6	869	23.8	1,850	50.7	175	4.8
	80歳以上	2,820	502	17.8	598	21.2	1,575	55.9	145	5.1
小 計		22,975	7,101	30.9	5,730	24.9	8,987	39.1	1,157	5.0
女 性	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	73	70	95.9	3	4.1	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	136	132	97.1	4	2.9	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	403	383	95.0	17	4.2	2	0.5	1	0.2
	35～39歳	770	699	90.8	64	8.3	5	0.6	2	0.3
	40～44歳	1,319	1,131	85.7	141	10.7	34	2.6	13	1.0
	45～49歳	1,429	1,120	78.4	216	15.1	61	4.3	32	2.2
	50～54歳	1,653	1,178	71.3	277	16.8	152	9.2	46	2.8
	55～59歳	2,192	1,412	64.4	415	18.9	316	14.4	49	2.2
	60～64歳	3,500	1,886	53.9	804	23.0	710	20.3	100	2.9
	65～69歳	6,892	3,099	45.0	1,696	24.6	1,863	27.0	234	3.4
	70～74歳	8,071	2,730	33.8	2,025	25.1	3,008	37.3	308	3.8
	75～79歳	4,554	1,209	26.5	1,101	24.2	2,046	44.9	198	4.3
	80歳以上	2,624	452	17.2	558	21.3	1,483	56.5	131	5.0
小 計		33,622	15,507	46.1	7,321	21.8	9,680	28.8	1,114	3.3
総 数	～19歳	10	8	80.0	2	20.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	108	100	92.6	8	7.4	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	218	197	90.4	18	8.3	1	0.5	2	0.9
	30～34歳	645	569	88.2	66	10.2	5	0.8	5	0.8
	35～39歳	1,156	994	86.0	137	11.9	11	1.0	14	1.2
	40～44歳	2,105	1,674	79.5	314	14.9	70	3.3	47	2.2
	45～49歳	2,276	1,632	71.7	420	18.5	157	6.9	67	2.9
	50～54歳	2,605	1,686	64.7	546	21.0	297	11.4	76	2.9
	55～59歳	3,211	1,878	58.5	692	21.6	548	17.1	93	2.9
	60～64歳	5,232	2,458	47.0	1,299	24.8	1,278	24.4	197	3.8
	65～69歳	11,435	4,408	38.5	2,916	25.5	3,610	31.6	501	4.4
	70～74歳	13,952	4,089	29.3	3,507	25.1	5,736	41.1	620	4.4
	75～79歳	8,200	1,961	23.9	1,970	24.0	3,896	47.5	373	4.5
	80歳以上	5,444	954	17.5	1,156	21.2	3,058	56.2	276	5.1
合 計		56,597	22,608	39.9	13,051	23.1	18,667	33.0	2,271	4.0

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,597人に血圧測定を行った。
男女別では、男性22,975人（40.6％）女性33,622人（59.4％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）39.9％、要指導23.1％、治療継続33.0％、要医療4.0％であった。

【特定健診等】血中脂質検査結果

令和元年度

		受診者数	異常なし		判 要 指 導		定 治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	35	23	65.7	11	31.4	0	0.0	1	2.9
	25～29歳	82	42	51.2	34	41.5	2	2.4	4	4.9
	30～34歳	242	112	46.3	112	46.3	3	1.2	15	6.2
	35～39歳	386	153	39.6	187	48.4	4	1.0	42	10.9
	40～44歳	785	251	32.0	398	50.7	38	4.8	98	12.5
	45～49歳	847	228	26.9	456	53.8	85	10.0	78	9.2
	50～54歳	952	237	24.9	494	51.9	110	11.6	111	11.7
	55～59歳	1,019	258	25.3	506	49.7	165	16.2	90	8.8
	60～64歳	1,733	433	25.0	799	46.1	362	20.9	139	8.0
	65～69歳	4,545	1,207	26.6	2,053	45.2	1,052	23.1	233	5.1
	70～74歳	5,882	1,576	26.8	2,480	42.2	1,563	26.6	263	4.5
	75～79歳	3,646	1,107	30.4	1,438	39.4	986	27.0	115	3.2
	80歳以上	2,820	1,065	37.8	980	34.8	698	24.8	77	2.7
小 計		22,978	6,696	29.1	9,948	43.3	5,068	22.1	1,266	5.5
女 性	～19歳	6	5	83.3	1	16.7	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	73	57	78.1	15	20.5	1	1.4	0	0.0
	25～29歳	136	106	77.9	27	19.9	0	0.0	3	2.2
	30～34歳	403	271	67.2	124	30.8	1	0.2	7	1.7
	35～39歳	770	519	67.4	232	30.1	6	0.8	13	1.7
	40～44歳	1,319	762	57.8	501	38.0	21	1.6	35	2.7
	45～49歳	1,429	719	50.3	611	42.8	42	2.9	57	4.0
	50～54歳	1,653	512	31.0	894	54.1	130	7.9	117	7.1
	55～59歳	2,192	492	22.4	1,166	53.2	341	15.6	193	8.8
	60～64歳	3,502	650	18.6	1,809	51.7	788	22.5	255	7.3
	65～69歳	6,892	1,179	17.1	3,249	47.1	2,041	29.6	423	6.1
	70～74歳	8,072	1,449	18.0	3,340	41.4	2,900	35.9	383	4.7
	75～79歳	4,554	862	18.9	1,739	38.2	1,777	39.0	176	3.9
	80歳以上	2,624	612	23.3	944	36.0	1,003	38.2	65	2.5
小 計		33,625	8,195	24.4	14,652	43.6	9,051	26.9	1,727	5.1
総 数	～19歳	10	9	90.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	108	80	74.1	26	24.1	1	0.9	1	0.9
	25～29歳	218	148	67.9	61	28.0	2	0.9	7	3.2
	30～34歳	645	383	59.4	236	36.6	4	0.6	22	3.4
	35～39歳	1,156	672	58.1	419	36.2	10	0.9	55	4.8
	40～44歳	2,104	1,013	48.1	899	42.7	59	2.8	133	6.3
	45～49歳	2,276	947	41.6	1,067	46.9	127	5.6	135	5.9
	50～54歳	2,605	749	28.8	1,388	53.3	240	9.2	228	8.8
	55～59歳	3,211	750	23.4	1,672	52.1	506	15.8	283	8.8
	60～64歳	5,235	1,083	20.7	2,608	49.8	1,150	22.0	394	7.5
	65～69歳	11,437	2,386	20.9	5,302	46.4	3,093	27.0	656	5.7
	70～74歳	13,954	3,025	21.7	5,820	41.7	4,463	32.0	646	4.6
	75～79歳	8,200	1,969	24.0	3,177	38.7	2,763	33.7	291	3.5
	80歳以上	5,444	1,677	30.8	1,924	35.3	1,701	31.2	142	2.6
合 計		56,603	14,891	26.3	24,600	43.5	14,119	24.9	2,993	5.3

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,603人に血中脂質検査を行った。
男女別では、男性22,978人（40.6％）女性33,625人（59.4％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）26.3％、要指導43.5％、治療継続24.9％、要医療5.3％であった。

【特定健診等】糖代謝検査結果

令和元年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要指導		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	35	31	88.6	4	11.4	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	82	70	85.4	12	14.6	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	242	189	78.1	50	20.7	2	0.8	1	0.4
	35～39歳	386	295	76.4	80	20.7	5	1.3	6	1.6
	40～44歳	786	508	64.6	245	31.2	15	1.9	18	2.3
	45～49歳	847	495	58.4	293	34.6	37	4.4	22	2.6
	50～54歳	952	471	49.5	396	41.6	57	6.0	28	2.9
	55～59歳	1,019	449	44.1	427	41.9	100	9.8	43	4.2
	60～64歳	1,733	655	37.8	827	47.7	172	9.9	79	4.6
	65～69歳	4,545	1,659	36.5	2,093	46.1	550	12.1	243	5.3
	70～74歳	5,882	1,995	33.9	2,728	46.4	847	14.4	312	5.3
	75～79歳	3,646	1,215	33.3	1,713	47.0	545	14.9	173	4.7
	80歳以上	2,820	896	31.8	1,388	49.2	366	13.0	170	6.0
小計		22,979	8,932	38.9	10,256	44.6	2,696	11.7	1,095	4.8
女 性	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	73	68	93.2	4	5.5	0	0.0	1	1.4
	25～29歳	136	125	91.9	10	7.4	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	403	366	90.8	35	8.7	2	0.5	0	0.0
	35～39歳	770	649	84.3	113	14.7	5	0.6	3	0.4
	40～44歳	1,319	1,079	81.8	222	16.8	8	0.6	10	0.8
	45～49歳	1,429	1,088	76.1	311	21.8	17	1.2	13	0.9
	50～54歳	1,653	1,133	68.5	459	27.8	47	2.8	14	0.8
	55～59歳	2,192	1,335	60.9	769	35.1	53	2.4	35	1.6
	60～64歳	3,502	1,855	53.0	1,425	40.7	147	4.2	75	2.1
	65～69歳	6,892	3,220	46.7	3,179	46.1	371	5.4	122	1.8
	70～74歳	8,072	3,207	39.7	4,071	50.4	574	7.1	220	2.7
	75～79歳	4,554	1,760	38.6	2,297	50.4	348	7.6	149	3.3
	80歳以上	2,624	918	35.0	1,377	52.5	232	8.8	97	3.7
小計		33,625	16,809	50.0	14,272	42.4	1,804	5.4	740	2.2
総 数	～19歳	10	10	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	108	99	91.7	8	7.4	0	0.0	1	0.9
	25～29歳	218	195	89.4	22	10.1	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	645	555	86.0	85	13.2	4	0.6	1	0.2
	35～39歳	1,156	944	81.7	193	16.7	10	0.9	9	0.8
	40～44歳	2,105	1,587	75.4	467	22.2	23	1.1	28	1.3
	45～49歳	2,276	1,583	69.6	604	26.5	54	2.4	35	1.5
	50～54歳	2,605	1,604	61.6	855	32.8	104	4.0	42	1.6
	55～59歳	3,211	1,784	55.6	1,196	37.2	153	4.8	78	2.4
	60～64歳	5,235	2,510	47.9	2,252	43.0	319	6.1	154	2.9
	65～69歳	11,437	4,879	42.7	5,272	46.1	921	8.1	365	3.2
	70～74歳	13,954	5,202	37.3	6,799	48.7	1,421	10.2	532	3.8
	75～79歳	8,200	2,975	36.3	4,010	48.9	893	10.9	322	3.9
	80歳以上	5,444	1,814	33.3	2,765	50.8	598	11.0	267	4.9
合計		56,604	25,741	45.5	24,528	43.3	4,500	7.9	1,835	3.2

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,604人に糖代謝検査を行った。
男女別では、男性22,979人（40.6％）女性33,625人（59.4％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）45.5％、要指導43.3％、治療継続7.9％、要医療3.2％であった。

【特定健診等】尿検査（蛋白）結果

令和元年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	35	35	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	82	82	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	241	238	98.8	3	1.2	0	0.0
	35～39歳	384	379	98.7	4	1.0	1	0.3
	40～44歳	782	769	98.3	7	0.9	6	0.8
	45～49歳	846	830	98.1	13	1.5	3	0.4
	50～54歳	949	929	97.9	14	1.5	6	0.6
	55～59歳	1,018	992	97.4	19	1.9	7	0.7
	60～64歳	1,730	1,688	97.6	28	1.6	14	0.8
	65～69歳	4,538	4,399	96.9	87	1.9	52	1.1
	70～74歳	5,875	5,667	96.5	152	2.6	56	1.0
	75～79歳	3,642	3,514	96.5	85	2.3	43	1.2
	80歳以上	2,818	2,662	94.5	105	3.7	51	1.8
小 計		22,944	22,188	96.7	517	2.3	239	1.0
女 性	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	73	70	95.9	2	2.7	1	1.4
	25～29歳	136	135	99.3	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	403	392	97.3	7	1.7	4	1.0
	35～39歳	769	750	97.5	14	1.8	5	0.7
	40～44歳	1,315	1,288	97.9	20	1.5	7	0.5
	45～49歳	1,427	1,413	99.0	10	0.7	4	0.3
	50～54歳	1,650	1,640	99.4	8	0.5	2	0.1
	55～59歳	2,190	2,177	99.4	10	0.5	3	0.1
	60～64歳	3,494	3,474	99.4	13	0.4	7	0.2
	65～69歳	6,884	6,848	99.5	24	0.3	12	0.2
	70～74歳	8,065	8,012	99.3	49	0.6	4	0.0
	75～79歳	4,553	4,506	99.0	36	0.8	11	0.2
	80歳以上	2,622	2,584	98.6	26	1.0	12	0.5
小 計		33,587	33,295	98.7	219	0.7	73	0.2
総 数	～19歳	10	10	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	108	105	97.2	2	1.9	1	0.9
	25～29歳	218	217	99.5	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	644	630	97.8	10	1.6	4	0.6
	35～39歳	1,153	1,129	97.9	18	1.6	6	0.5
	40～44歳	2,097	2,057	98.1	27	1.3	13	0.6
	45～49歳	2,273	2,243	98.7	23	1.0	7	0.3
	50～54歳	2,599	2,569	98.8	22	0.8	8	0.3
	55～59歳	3,208	3,169	98.8	29	0.9	10	0.3
	60～64歳	5,224	5,162	98.8	41	0.8	21	0.4
	65～69歳	11,422	11,247	98.5	111	1.0	64	0.6
	70～74歳	13,940	13,679	98.1	201	1.4	60	0.4
	75～79歳	8,195	8,020	97.9	121	1.5	54	0.7
	80歳以上	5,440	5,246	96.4	131	2.4	63	1.2
合 計		56,531	55,483	98.3	736	1.3	312	0.6

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,531人に尿蛋白検査を行った。
男女別では、男性22,944人（40.6％）女性33,587人（59.4％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）98.3％、要指導1.3％、要医療0.6％であった。

【特定健診等】尿検査（糖）結果

令和元年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	35	35	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	82	82	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	241	238	98.8	0	0.0	3	1.2
	35～39歳	384	380	99.0	0	0.0	4	1.0
	40～44歳	782	762	97.4	0	0.0	20	2.6
	45～49歳	846	810	95.7	0	0.0	36	4.3
	50～54歳	949	900	94.8	0	0.0	49	5.2
	55～59歳	1,018	939	92.2	0	0.0	79	7.8
	60～64歳	1,730	1,634	94.5	0	0.0	96	5.5
	65～69歳	4,538	4,237	93.4	0	0.0	301	6.6
	70～74歳	5,875	5,479	93.3	0	0.0	396	6.7
	75～79歳	3,642	3,392	93.1	0	0.0	250	6.9
	80歳以上	2,818	2,657	94.3	0	0.0	161	5.7
小 計		22,944	21,549	93.9	0	0.0	1,395	6.1
女 性	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	73	73	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	136	135	99.3	0	0.0	1	0.7
	30～34歳	403	401	99.5	0	0.0	2	0.5
	35～39歳	769	768	99.9	0	0.0	1	0.1
	40～44歳	1,315	1,311	99.7	0	0.0	4	0.3
	45～49歳	1,427	1,413	99.0	0	0.0	14	1.0
	50～54歳	1,650	1,631	98.8	0	0.0	19	1.2
	55～59歳	2,190	2,164	98.8	0	0.0	26	1.2
	60～64歳	3,494	3,436	98.3	0	0.0	58	1.7
	65～69歳	6,884	6,777	98.4	0	0.0	107	1.6
	70～74歳	8,065	7,915	98.1	0	0.0	150	1.9
	75～79歳	4,553	4,454	97.8	0	0.0	99	2.2
	80歳以上	2,622	2,575	98.2	0	0.0	47	1.8
小 計		33,587	33,059	98.4	0	0.0	528	1.6
総 数	～19歳	10	10	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	108	108	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	218	217	99.5	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	644	639	99.2	0	0.0	5	0.8
	35～39歳	1,153	1,148	99.6	0	0.0	5	0.4
	40～44歳	2,097	2,073	98.9	0	0.0	24	1.1
	45～49歳	2,273	2,223	97.8	0	0.0	50	2.2
	50～54歳	2,599	2,531	97.4	0	0.0	68	2.6
	55～59歳	3,208	3,103	96.7	0	0.0	105	3.3
	60～64歳	5,224	5,070	97.1	0	0.0	154	2.9
	65～69歳	11,422	11,014	96.4	0	0.0	408	3.6
	70～74歳	13,940	13,394	96.1	0	0.0	546	3.9
	75～79歳	8,195	7,846	95.7	0	0.0	349	4.3
	80歳以上	5,440	5,232	96.2	0	0.0	208	3.8
合 計		56,531	54,608	96.6	0	0.0	1,923	3.4

実施状況

特定健診・後期高齢者健診・市町村の一般健康診査のなかで、56,531人に尿糖検査を行った。
男女別では、男性22,944人（40.6％）女性33,587人（59.4％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.6％、要医療3.4％であった。

【事業所健診】総合判定結果

令和元年度

		受診者数	判 定									
			異常なし		有 所 見		要 指 導		要 精 検		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	987	425	43.1	16	1.6	379	38.4	5	0.5	162	16.4
	20～24歳	1,991	609	30.6	39	2.0	1000	50.2	6	0.3	337	16.9
	25～29歳	1,742	437	25.1	46	2.6	854	49.0	5	0.3	400	23.0
	30～34歳	1,651	330	20.0	40	2.4	866	52.5	15	0.9	400	24.2
	35～39歳	1,822	231	12.7	58	3.2	904	49.6	57	3.1	572	31.4
	40～44歳	2,770	185	6.7	79	2.9	1,426	51.5	116	4.2	964	34.8
	45～49歳	3,516	176	5.0	91	2.6	1,758	50.0	157	4.5	1,334	37.9
	50～54歳	3,264	110	3.4	99	3.0	1,680	51.5	150	4.6	1,225	37.5
	55～59歳	3,125	85	2.7	89	2.8	1,630	52.2	202	6.5	1,119	35.8
	60～64歳	2,356	57	2.4	76	3.2	1,229	52.2	172	7.3	822	34.9
	65～69歳	983	14	1.4	40	4.1	450	45.8	80	8.1	399	40.6
	70～74歳	475	6	1.3	10	2.1	218	45.9	36	7.6	205	43.2
	75～79歳	90	0	0.0	5	5.6	44	48.9	5	5.6	36	40.0
	80歳以上	74	0	0.0	2	2.7	25	33.8	1	1.4	46	62.2
小 計		24,846	2,665	10.7	690	2.8	12,463	50.2	1,007	4.1	8,021	32.3
女 性	～19歳	880	468	53.2	14	1.6	222	25.2	1	0.1	175	19.9
	20～24歳	1,560	831	53.3	31	2.0	486	31.2	4	0.3	208	13.3
	25～29歳	1,189	553	46.5	29	2.4	459	38.6	10	0.8	138	11.6
	30～34歳	993	405	40.8	30	3.0	428	43.1	13	1.3	117	11.8
	35～39歳	1,289	390	30.3	56	4.3	578	44.8	47	3.6	218	16.9
	40～44歳	2,430	508	20.9	115	4.7	1,171	48.2	120	4.9	516	21.2
	45～49歳	2,752	375	13.6	120	4.4	1,452	52.8	122	4.4	683	24.8
	50～54歳	2,342	209	8.9	84	3.6	1,335	57.0	109	4.7	605	25.8
	55～59歳	1,886	128	6.8	49	2.6	1,143	60.6	72	3.8	494	26.2
	60～64歳	1,363	80	5.9	33	2.4	854	62.7	46	3.4	350	25.7
	65～69歳	858	35	4.1	23	2.7	523	61.0	27	3.1	250	29.1
	70～74歳	294	10	3.4	7	2.4	174	59.2	12	4.1	91	31.0
	75～79歳	61	0	0.0	2	3.3	32	52.5	4	6.6	23	37.7
	80歳以上	180	7	3.9	3	1.7	46	25.6	1	0.6	123	68.3
小 計		18,077	3,999	22.1	596	3.3	8,903	49.3	588	3.3	3,991	22.1
総 数	～19歳	1,867	893	47.8	30	1.6	601	32.2	6	0.3	337	18.1
	20～24歳	3,551	1,440	40.6	70	2.0	1,486	41.8	10	0.3	545	15.3
	25～29歳	2,931	990	33.8	75	2.6	1,313	44.8	15	0.5	538	18.4
	30～34歳	2,644	735	27.8	70	2.6	1,294	48.9	28	1.1	517	19.6
	35～39歳	3,111	621	20.0	114	3.7	1,482	47.6	104	3.3	790	25.4
	40～44歳	5,200	693	13.3	194	3.7	2,597	49.9	236	4.5	1,480	28.5
	45～49歳	6,268	551	8.8	211	3.4	3,210	51.2	279	4.5	2,017	32.2
	50～54歳	5,606	319	5.7	183	3.3	3,015	53.8	259	4.6	1,830	32.6
	55～59歳	5,011	213	4.3	138	2.8	2,773	55.3	274	5.5	1,613	32.2
	60～64歳	3,719	137	3.7	109	2.9	2,083	56.0	218	5.9	1,172	31.5
	65～69歳	1,841	49	2.7	63	3.4	973	52.9	107	5.8	649	35.3
	70～74歳	769	16	2.1	17	2.2	392	51.0	48	6.2	296	38.5
	75～79歳	151	0	0.0	7	4.6	76	50.3	9	6.0	59	39.1
	80歳以上	254	7	2.8	5	2.0	71	28.0	2	0.8	169	66.5
合 計		42,923	6,664	15.5	1,286	3.0	21,366	49.8	1,595	3.7	12,012	28.0

実施状況

事業所の健康診査のなかで、42,923人に総合判定を行った。

男女別では、男性24,846人（57.9%）女性18,077人（42.1%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）15.5%、有所見3.0%、要指導49.8%、要精検3.7%、要医療28.0%であった。

【事業所健診】 診察結果

令和元年度

		受診者数	判 定							
			異常なし		有 所 見		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	241	236	97.9	3	1.2	0	0.0	2	0.8
	20～24歳	1,097	1,081	98.5	10	0.9	3	0.3	3	0.3
	25～29歳	903	890	98.6	8	0.9	2	0.2	3	0.3
	30～34歳	1,036	1,027	99.1	6	0.6	1	0.1	2	0.2
	35～39歳	1,279	1,263	98.7	14	1.1	2	0.2	0	0.0
	40～44歳	1,654	1,629	98.5	20	1.2	1	0.1	4	0.2
	45～49歳	1,842	1,811	98.3	18	1.0	5	0.3	8	0.4
	50～54歳	1,504	1,483	98.6	14	0.9	5	0.3	2	0.1
	55～59歳	1,449	1,414	97.6	20	1.4	10	0.7	5	0.3
	60～64歳	1,286	1,242	96.6	19	1.5	13	1.0	12	0.9
	65～69歳	940	889	94.6	24	2.6	16	1.7	11	1.2
	70～74歳	464	424	91.4	17	3.7	16	3.4	7	1.5
	75～79歳	82	77	93.9	1	1.2	4	4.9	0	0.0
	80歳以上	55	38	69.1	13	23.6	2	3.6	2	3.6
小 計		13,832	13,504	97.6	187	1.4	80	0.6	61	0.4
女 性	～19歳	242	231	95.5	5	2.1	0	0.0	6	2.5
	20～24歳	1,055	1,018	96.5	23	2.2	5	0.5	9	0.9
	25～29歳	711	701	98.6	8	1.1	1	0.1	1	0.1
	30～34歳	672	665	99.0	6	0.9	1	0.1	0	0.0
	35～39歳	969	948	97.8	14	1.4	1	0.1	6	0.6
	40～44歳	1,942	1,908	98.2	24	1.2	4	0.2	6	0.3
	45～49歳	2,113	2,050	97.0	37	1.8	10	0.5	16	0.8
	50～54歳	1,830	1,800	98.4	22	1.2	3	0.2	5	0.3
	55～59歳	1,525	1,479	97.0	29	1.9	7	0.5	10	0.7
	60～64歳	1,161	1,124	96.8	19	1.6	8	0.7	10	0.9
	65～69歳	853	815	95.5	22	2.6	6	0.7	10	1.2
	70～74歳	289	272	94.1	10	3.5	6	2.1	1	0.3
	75～79歳	51	44	86.3	0	0.0	5	9.8	2	3.9
	80歳以上	127	81	63.8	18	14.2	15	11.8	13	10.2
小 計		13,540	13,136	97.0	237	1.8	72	0.5	95	0.7
総 数	～19歳	483	467	96.7	8	1.7	0	0.0	8	1.7
	20～24歳	2,152	2,099	97.5	33	1.5	8	0.4	12	0.6
	25～29歳	1,614	1,591	98.6	16	1.0	3	0.2	4	0.2
	30～34歳	1,708	1,692	99.1	12	0.7	2	0.1	2	0.1
	35～39歳	2,248	2,211	98.4	28	1.2	3	0.1	6	0.3
	40～44歳	3,596	3,537	98.4	44	1.2	5	0.1	10	0.3
	45～49歳	3,955	3,861	97.6	55	1.4	15	0.4	24	0.6
	50～54歳	3,334	3,283	98.5	36	1.1	8	0.2	7	0.2
	55～59歳	2,974	2,893	97.3	49	1.6	17	0.6	15	0.5
	60～64歳	2,447	2,366	96.7	38	1.6	21	0.9	22	0.9
	65～69歳	1,793	1,704	95.0	46	2.6	22	1.2	21	1.2
	70～74歳	753	696	92.4	27	3.6	22	2.9	8	1.1
	75～79歳	133	121	91.0	1	0.8	9	6.8	2	1.5
	80歳以上	182	119	65.4	31	17.0	17	9.3	15	8.2
合 計		27,372	26,640	97.3	424	1.5	152	0.6	156	0.6

実施状況

事業所健診のなかで、27,372人に診察を行った。

男女別では、男性13,832人（50.5%）女性13,540人（49.5%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、40～44歳、50～54歳の順であった。

判定結果

他覚所見が認められない異常なし（精検不要が）97.3%、他覚所見が認められたもののうち、変化がなければ次回検診まで様子を見ていいもの（有所見）1.5%、要医療0.6%であった。

【事業所健診】 血圧測定結果

令和元年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	823	517	62.8	294	35.7	0	0.0	12	1.5
	20～24歳	2,506	1,687	67.3	781	31.2	6	0.2	32	1.3
	25～29歳	1,764	1,326	75.2	410	23.2	15	0.9	13	0.7
	30～34歳	1,654	1,250	75.6	363	21.9	14	0.8	27	1.6
	35～39歳	1,818	1,346	74.0	401	22.1	36	2.0	35	1.9
	40～44歳	2,761	1,847	66.9	656	23.8	167	6.0	91	3.3
	45～49歳	3,506	2,097	59.8	843	24.0	405	11.6	161	4.6
	50～54歳	3,252	1,595	49.0	857	26.4	645	19.8	155	4.8
	55～59歳	3,110	1,305	42.0	789	25.4	850	27.3	166	5.3
	60～64歳	2,341	804	34.3	579	24.7	847	36.2	111	4.7
	65～69歳	976	280	28.7	215	22.0	418	42.8	63	6.5
	70～74歳	468	112	23.9	96	20.5	233	49.8	27	5.8
	75～79歳	83	12	14.5	18	21.7	47	56.6	6	7.2
	80歳以上	55	17	30.9	5	9.1	29	52.7	4	7.3
小 計		25,117	14,195	56.5	6,307	25.1	3,712	14.8	903	3.6
女 性	～19歳	777	695	89.4	82	10.6	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,100	1,920	91.4	172	8.2	1	0.0	7	0.3
	25～29歳	1,202	1,126	93.7	66	5.5	4	0.3	6	0.5
	30～34歳	987	905	91.7	72	7.3	4	0.4	6	0.6
	35～39歳	1,285	1,162	90.4	94	7.3	20	1.6	9	0.7
	40～44歳	2,427	2,079	85.7	262	10.8	54	2.2	32	1.3
	45～49歳	2,743	2,131	77.7	399	14.5	138	5.0	75	2.7
	50～54歳	2,336	1,620	69.3	419	17.9	236	10.1	61	2.6
	55～59歳	1,880	1,193	63.5	351	18.7	296	15.7	40	2.1
	60～64歳	1,359	780	57.4	289	21.3	256	18.8	34	2.5
	65～69歳	854	408	47.8	193	22.6	228	26.7	25	2.9
	70～74歳	291	112	38.5	70	24.1	103	35.4	6	2.1
	75～79歳	53	14	26.4	7	13.2	28	52.8	4	7.5
	80歳以上	127	20	15.7	15	11.8	84	66.1	8	6.3
小 計		18,421	14,165	76.9	2,491	13.5	1,452	7.9	313	1.7
総 数	～19歳	1,600	1,212	75.8	376	23.5	0	0.0	12	0.8
	20～24歳	4,606	3,607	78.3	953	20.7	7	0.2	39	0.8
	25～29歳	2,966	2,452	82.7	476	16.0	19	0.6	19	0.6
	30～34歳	2,641	2,155	81.6	435	16.5	18	0.7	33	1.2
	35～39歳	3,103	2,508	80.8	495	16.0	56	1.8	44	1.4
	40～44歳	5,188	3,926	75.7	918	17.7	221	4.3	123	2.4
	45～49歳	6,249	4,228	67.7	1,242	19.9	543	8.7	236	3.8
	50～54歳	5,588	3,215	57.5	1,276	22.8	881	15.8	216	3.9
	55～59歳	4,990	2,498	50.1	1,140	22.8	1,146	23.0	206	4.1
	60～64歳	3,700	1,584	42.8	868	23.5	1,103	29.8	145	3.9
	65～69歳	1,830	688	37.6	408	22.3	646	35.3	88	4.8
	70～74歳	759	224	29.5	166	21.9	336	44.3	33	4.3
	75～79歳	136	26	19.1	25	18.4	75	55.1	10	7.4
	80歳以上	182	37	20.3	20	11.0	113	62.1	12	6.6
合 計		43,538	28,360	65.1	8,798	20.2	5,164	11.9	1216	2.8

実施状況

事業所健診のなかで、43,538人に血圧測定を行った。

男女別では、男性25,117人（57.7%）女性18,421人（42.3%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）65.1%、要指導20.2%、治療継続11.9%、要医療2.8%であった。

【事業所健診】尿検査（蛋白）結果

令和元年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	841	813	96.7	23	2.7	5	0.6
	20～24歳	3,220	3,131	97.2	81	2.5	8	0.2
	25～29歳	1,724	1,668	96.8	49	2.8	7	0.4
	30～34歳	1,625	1,587	97.7	31	1.9	7	0.4
	35～39歳	1,796	1,746	97.2	49	2.7	1	0.1
	40～44歳	2,736	2,648	96.8	71	2.6	17	0.6
	45～49歳	3,484	3,355	96.3	105	3.0	24	0.7
	50～54歳	3,246	3,128	96.4	79	2.4	39	1.2
	55～59歳	3,105	2,962	95.4	103	3.3	40	1.3
	60～64歳	2,339	2,227	95.2	80	3.4	32	1.4
	65～69歳	975	933	95.7	27	2.8	15	1.5
	70～74歳	475	453	95.4	15	3.2	7	1.5
	75～79歳	90	88	97.8	2	2.2	0	0.0
	80歳以上	72	59	81.9	8	11.1	5	6.9
小 計		25,728	24,798	96.4	723	2.8	207	0.8
女 性	～19歳	779	730	93.7	35	4.5	14	1.8
	20～24歳	2,817	2,681	95.2	113	4.0	23	0.8
	25～29歳	1,178	1,133	96.2	39	3.3	6	0.5
	30～34歳	966	947	98.0	14	1.4	5	0.5
	35～39歳	1,266	1,226	96.8	36	2.8	4	0.3
	40～44歳	2,411	2,344	97.2	50	2.1	17	0.7
	45～49歳	2,722	2,655	97.5	54	2.0	13	0.5
	50～54歳	2,327	2,290	98.4	25	1.1	12	0.5
	55～59歳	1,876	1,852	98.7	19	1.0	5	0.3
	60～64歳	1,358	1,346	99.1	8	0.6	4	0.3
	65～69歳	858	851	99.2	6	0.7	1	0.1
	70～74歳	293	293	100.0	0	0.0	0	0.0
	75～79歳	61	61	100.0	0	0.0	0	0.0
	80歳以上	177	162	91.5	11	6.2	4	2.3
小 計		19,089	18,571	97.3	410	2.1	108	0.6
総 数	～19歳	1,620	1,543	95.2	58	3.6	19	1.2
	20～24歳	6,037	5,812	96.3	194	3.2	31	0.5
	25～29歳	2,902	2,801	96.5	88	3.0	13	0.4
	30～34歳	2,591	2,534	97.8	45	1.7	12	0.5
	35～39歳	3,062	2,972	97.1	85	2.8	5	0.2
	40～44歳	5,147	4,992	97.0	121	2.4	34	0.7
	45～49歳	6,206	6,010	96.8	159	2.6	37	0.6
	50～54歳	5,573	5,418	97.2	104	1.9	51	0.9
	55～59歳	4,981	4,814	96.6	122	2.4	45	0.9
	60～64歳	3,697	3,573	96.6	88	2.4	36	1.0
	65～69歳	1,833	1,784	97.3	33	1.8	16	0.9
	70～74歳	768	746	97.1	15	2.0	7	0.9
	75～79歳	151	149	98.7	2	1.3	0	0.0
	80歳以上	249	221	88.8	19	7.6	9	3.6
合 計		44,817	43,369	96.8	1,133	2.5	315	0.7

実施状況

事業所健診のなかで、44,817人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性25,728人（57.4%）女性19,089人（42.6%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）96.8%、要指導2.5%、要医療0.7%であった。

【事業所健診】尿検査（糖）結果

令和元年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	841	838	99.6	0	0.0	3	0.4
	20～24歳	3,220	3,198	99.3	1	0.0	21	0.7
	25～29歳	1,724	1,709	99.1	1	0.1	14	0.8
	30～34歳	1,625	1,587	97.7	3	0.2	35	2.2
	35～39歳	1,796	1,771	98.6	2	0.1	23	1.3
	40～44歳	2,736	2,644	96.6	13	0.5	79	2.9
	45～49歳	3,484	3,335	95.7	12	0.3	137	3.9
	50～54歳	3,246	3,033	93.4	22	0.7	191	5.9
	55～59歳	3,105	2,922	94.1	14	0.5	169	5.4
	60～64歳	2,339	2,157	92.2	19	0.8	163	7.0
	65～69歳	975	881	90.4	0	0.0	94	9.6
	70～74歳	475	438	92.2	1	0.2	36	7.6
	75～79歳	90	81	90.0	0	0.0	9	10.0
	80歳以上	72	69	95.8	0	0.0	3	4.2
小 計		25,728	24,663	95.9	88	0.3	977	3.8
女 性	～19歳	779	778	99.9	0	0.0	1	0.1
	20～24歳	2,817	2,802	99.5	1	0.0	14	0.5
	25～29歳	1,178	1,174	99.7	1	0.1	3	0.3
	30～34歳	966	962	99.6	0	0.0	4	0.4
	35～39歳	1,266	1,265	99.9	0	0.0	1	0.1
	40～44歳	2,411	2,392	99.2	1	0.0	18	0.7
	45～49歳	2,722	2,696	99.0	3	0.1	23	0.8
	50～54歳	2,327	2,291	98.5	1	0.0	35	1.5
	55～59歳	1,876	1,843	98.2	1	0.1	32	1.7
	60～64歳	1,358	1,326	97.6	0	0.0	32	2.4
	65～69歳	858	840	97.9	0	0.0	18	2.1
	70～74歳	293	286	97.6	0	0.0	7	2.4
	75～79歳	61	60	98.4	0	0.0	1	1.6
	80歳以上	177	170	96.0	0	0.0	7	4.0
小 計		19,089	18,885	98.9	8	0.0	196	1.0
総 数	～19歳	1,620	1,616	99.8	0	0.0	4	0.2
	20～24歳	6,037	6,000	99.4	2	0.0	35	0.6
	25～29歳	2,902	2,883	99.3	2	0.1	17	0.6
	30～34歳	2,591	2,549	98.4	3	0.1	39	1.5
	35～39歳	3,062	3,036	99.2	2	0.1	24	0.8
	40～44歳	5,147	5,036	97.8	14	0.3	97	1.9
	45～49歳	6,206	6,031	97.2	15	0.2	160	2.6
	50～54歳	5,573	5,324	95.5	23	0.4	226	4.1
	55～59歳	4,981	4,765	95.7	15	0.3	201	4.0
	60～64歳	3,697	3,483	94.2	19	0.5	195	5.3
	65～69歳	1,833	1,721	93.9	0	0.0	112	6.1
	70～74歳	768	724	94.3	1	0.1	43	5.6
	75～79歳	151	141	93.4	0	0.0	10	6.6
	80歳以上	249	239	96.0	0	0.0	10	4.0
合 計		44,817	43,548	97.2	96	0.2	1,173	2.6

実施状況

事業所健診のなかで、44,817人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性25,728人（57.4%）女性19,089人（42.6%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.2%、要指導0.2%、要医療2.6%であった。

【事業所健診】肝機能結果

令和元年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	717	569	79.4	99	13.8	0	0.0	49	6.8
	20～24歳	1,618	1,145	70.8	331	20.5	5	0.3	137	8.5
	25～29歳	1,567	1,003	64.0	363	23.2	10	0.6	191	12.2
	30～34歳	1,452	854	58.8	421	29.0	6	0.4	171	11.8
	35～39歳	1,718	966	56.2	463	26.9	22	1.3	267	15.5
	40～44歳	2,711	1,356	50.0	904	33.3	49	1.8	402	14.8
	45～49歳	3,455	1,711	49.5	1,177	34.1	52	1.5	515	14.9
	50～54歳	3,192	1,526	47.8	1,126	35.3	87	2.7	453	14.2
	55～59歳	3,054	1,519	49.7	1,072	35.1	87	2.8	376	12.3
	60～64歳	2,289	1,218	53.2	766	33.5	64	2.8	241	10.5
	65～69歳	955	520	54.5	302	31.6	19	2.0	114	11.9
	70～74歳	469	276	58.8	134	28.6	11	2.3	48	10.2
	75～79歳	89	55	61.8	27	30.3	3	3.4	4	4.5
	80歳以上	74	53	71.6	19	25.7	1	1.4	1	1.4
小 計		23,360	12,771	54.7	7,204	30.8	416	1.8	2,969	12.7
女 性	～19歳	752	723	96.1	18	2.4	1	0.1	10	1.3
	20～24歳	1,170	1,107	94.6	41	3.5	2	0.2	20	1.7
	25～29歳	1,069	990	92.6	61	5.7	2	0.2	16	1.5
	30～34歳	891	817	91.7	54	6.1	1	0.1	19	2.1
	35～39歳	1,225	1,081	88.2	107	8.7	0	0.0	37	3.0
	40～44歳	2,403	2,112	87.9	217	9.0	9	0.4	65	2.7
	45～49歳	2,721	2,278	83.7	322	11.8	33	1.2	88	3.2
	50～54歳	2,302	1,808	78.5	369	16.0	24	1.0	101	4.4
	55～59歳	1,851	1,400	75.6	354	19.1	23	1.2	74	4.0
	60～64歳	1,340	1,023	76.3	237	17.7	18	1.3	62	4.6
	65～69歳	835	646	77.4	123	14.7	26	3.1	40	4.8
	70～74歳	290	213	73.4	53	18.3	6	2.1	18	6.2
	75～79歳	60	49	81.7	7	11.7	1	1.7	3	5.0
	80歳以上	180	159	88.3	15	8.3	3	1.7	3	1.7
小 計		17,089	14,406	84.3	1,978	11.6	149	0.9	556	3.3
総 数	～19歳	1,469	1,292	88.0	117	8.0	1	0.1	59	4.0
	20～24歳	2,788	2,252	80.8	372	13.3	7	0.3	157	5.6
	25～29歳	2,636	1,993	75.6	424	16.1	12	0.5	207	7.9
	30～34歳	2,343	1,671	71.3	475	20.3	7	0.3	190	8.1
	35～39歳	2,943	2,047	69.6	570	19.4	22	0.7	304	10.3
	40～44歳	5,114	3,468	67.8	1,121	21.9	58	1.1	467	9.1
	45～49歳	6,176	3,989	64.6	1,499	24.3	85	1.4	603	9.8
	50～54歳	5,494	3,334	60.7	1,495	27.2	111	2.0	554	10.1
	55～59歳	4,905	2,919	59.5	1,426	29.1	110	2.2	450	9.2
	60～64歳	3,629	2,241	61.8	1,003	27.6	82	2.3	303	8.3
	65～69歳	1,790	1,166	65.1	425	23.7	45	2.5	154	8.6
	70～74歳	759	489	64.4	187	24.6	17	2.2	66	8.7
	75～79歳	149	104	69.8	34	22.8	4	2.7	7	4.7
	80歳以上	254	212	83.5	34	13.4	4	1.6	4	1.6
合 計		40,449	27,177	67.2	9,182	22.7	565	1.4	3,525	8.7

実施状況

事業所健診のなかで、40,449人に肝機能検査を行った。

男女別では、男性23,360人（57.8%）女性17,089人（42.2%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）67.2%、要指導22.7%、治療継続1.4%、要医療8.7%であった。

【事業所健診】血中脂質検査結果

令和元年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要指導		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	651	488	75.0	151	23.2	1	0.2	11	1.7
	20～24歳	1,569	1,033	65.8	472	30.1	8	0.5	56	3.6
	25～29歳	1,559	868	55.7	566	36.3	25	1.6	100	6.4
	30～34歳	1,450	632	43.6	684	47.2	19	1.3	115	7.9
	35～39歳	1,714	634	37.0	843	49.2	55	3.2	182	10.6
	40～44歳	2,710	883	32.6	1,341	49.5	182	6.7	304	11.2
	45～49歳	3,454	906	26.2	1,802	52.2	303	8.8	443	12.8
	50～54歳	3,192	807	25.3	1,554	48.7	470	14.7	361	11.3
	55～59歳	3,054	771	25.2	1,472	48.2	535	17.5	276	9.0
	60～64歳	2,289	614	26.8	1,026	44.8	455	19.9	194	8.5
	65～69歳	955	262	27.4	405	42.4	219	22.9	69	7.2
	70～74歳	469	144	30.7	188	40.1	117	24.9	20	4.3
	75～79歳	89	33	37.1	29	32.6	23	25.8	4	4.5
	80歳以上	74	35	47.3	25	33.8	10	13.5	4	5.4
小計		23,229	8,110	34.9	10,558	45.5	2,422	10.4	2,139	9.2
女 性	～19歳	597	476	79.7	115	19.3	1	0.2	5	0.8
	20～24歳	1,118	879	78.6	225	20.1	0	0.0	14	1.3
	25～29歳	1,057	812	76.8	223	21.1	6	0.6	16	1.5
	30～34歳	889	604	67.9	258	29.0	4	0.4	23	2.6
	35～39歳	1,224	793	64.8	381	31.1	17	1.4	33	2.7
	40～44歳	2,403	1,435	59.7	860	35.8	35	1.5	73	3.0
	45～49歳	2,721	1,311	48.2	1,177	43.3	100	3.7	133	4.9
	50～54歳	2,302	744	32.3	1,186	51.5	192	8.3	180	7.8
	55～59歳	1,851	408	22.0	956	51.6	315	17.0	172	9.3
	60～64歳	1,340	253	18.9	670	50.0	300	22.4	117	8.7
	65～69歳	835	155	18.6	403	48.3	220	26.3	57	6.8
	70～74歳	290	58	20.0	129	44.5	85	29.3	18	6.2
	75～79歳	60	12	20.0	35	58.3	9	15.0	4	6.7
	80歳以上	180	70	38.9	72	40.0	22	12.2	16	8.9
小計		16,867	8,010	47.5	6,690	39.7	1,306	7.7	861	5.1
総 数	～19歳	1,248	964	77.2	266	21.3	2	0.2	16	1.3
	20～24歳	2,687	1,912	71.2	697	25.9	8	0.3	70	2.6
	25～29歳	2,616	1,680	64.2	789	30.2	31	1.2	116	4.4
	30～34歳	2,339	1,236	52.8	942	40.3	23	1.0	138	5.9
	35～39歳	2,938	1,427	48.6	1,224	41.7	72	2.5	215	7.3
	40～44歳	5,113	2,318	45.3	2,201	43.0	217	4.2	377	7.4
	45～49歳	6,175	2,217	35.9	2,979	48.2	403	6.5	576	9.3
	50～54歳	5,494	1,551	28.2	2,740	49.9	662	12.0	541	9.8
	55～59歳	4,905	1,179	24.0	2,428	49.5	850	17.3	448	9.1
	60～64歳	3,629	867	23.9	1,696	46.7	755	20.8	311	8.6
	65～69歳	1,790	417	23.3	808	45.1	439	24.5	126	7.0
	70～74歳	759	202	26.6	317	41.8	202	26.6	38	5.0
	75～79歳	149	45	30.2	64	43.0	32	21.5	8	5.4
	80歳以上	254	105	41.3	97	38.2	32	12.6	20	7.9
合計		40,096	16,120	40.2	17,248	43.0	3,728	9.3	3,000	7.5

実施状況

事業所健診のなかで、40,096人に血中脂質検査を行った。

男女別では、男性23,229人（57.9%）女性16,867人（42.1%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）40.2%、要指導43.0%、治療継続9.3%、要医療7.5%であった。

【事業所健診】糖代謝検査結果

令和元年度

		受診者数	判 定				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	550	532	96.7	15	2.7	1	0.2	2	0.4
	20～24歳	1,912	1,822	95.3	71	3.7	5	0.3	14	0.7
	25～29歳	1,738	1,608	92.5	107	6.2	11	0.6	12	0.7
	30～34歳	1,651	1,499	90.8	111	6.7	16	1.0	25	1.5
	35～39歳	1,811	1,577	87.1	186	10.3	25	1.4	23	1.3
	40～44歳	2,760	2,203	79.8	405	14.7	96	3.5	56	2.0
	45～49歳	3,502	2,538	72.5	709	20.2	177	5.1	78	2.2
	50～54歳	3,250	2,029	62.4	802	24.7	289	8.9	130	4.0
	55～59歳	3,108	1,732	55.7	977	31.4	309	9.9	90	2.9
	60～64歳	2,340	1,210	51.7	770	32.9	265	11.3	95	4.1
	65～69歳	980	480	49.0	308	31.4	145	14.8	47	4.8
	70～74歳	475	221	46.5	159	33.5	72	15.2	23	4.8
	75～79歳	90	47	52.2	26	28.9	13	14.4	4	4.4
	80歳以上	74	40	54.1	15	20.3	13	17.6	6	8.1
小 計		24,241	17,538	72.3	4,661	19.2	1,437	5.9	605	2.5
女 性	～19歳	385	377	97.9	5	1.3	2	0.5	1	0.3
	20～24歳	1,500	1,463	97.5	30	2.0	1	0.1	6	0.4
	25～29歳	1,180	1,135	96.2	39	3.3	5	0.4	1	0.1
	30～34歳	982	922	93.9	56	5.7	0	0.0	4	0.4
	35～39歳	1,285	1,190	92.6	82	6.4	8	0.6	5	0.4
	40～44歳	2,426	2,179	89.8	203	8.4	26	1.1	18	0.7
	45～49歳	2,742	2,345	85.5	331	12.1	47	1.7	19	0.7
	50～54歳	2,334	1,861	79.7	381	16.3	60	2.6	32	1.4
	55～59歳	1,879	1,337	71.2	442	23.5	66	3.5	34	1.8
	60～64歳	1,359	924	68.0	351	25.8	60	4.4	24	1.8
	65～69歳	858	548	63.9	239	27.9	60	7.0	11	1.3
	70～74歳	294	162	55.1	96	32.7	33	11.2	3	1.0
	75～79歳	61	27	44.3	25	41.0	7	11.5	2	3.3
	80歳以上	180	120	66.7	20	11.1	21	11.7	19	10.6
小 計		17,465	14,590	83.5	2,300	13.2	396	2.3	179	1.0
総 数	～19歳	935	909	97.2	20	2.1	3	0.3	3	0.3
	20～24歳	3,412	3,285	96.3	101	3.0	6	0.2	20	0.6
	25～29歳	2,918	2,743	94.0	146	5.0	16	0.5	13	0.4
	30～34歳	2,633	2,421	91.9	167	6.3	16	0.6	29	1.1
	35～39歳	3,096	2,767	89.4	268	8.7	33	1.1	28	0.9
	40～44歳	5,186	4,382	84.5	608	11.7	122	2.4	74	1.4
	45～49歳	6,244	4,883	78.2	1,040	16.7	224	3.6	97	1.6
	50～54歳	5,584	3,890	69.7	1,183	21.2	349	6.3	162	2.9
	55～59歳	4,987	3,069	61.5	1,419	28.5	375	7.5	124	2.5
	60～64歳	3,699	2,134	57.7	1,121	30.3	325	8.8	119	3.2
	65～69歳	1,838	1,028	55.9	547	29.8	205	11.2	58	3.2
	70～74歳	769	383	49.8	255	33.2	105	13.7	26	3.4
	75～79歳	151	74	49.0	51	33.8	20	13.2	6	4.0
	80歳以上	254	160	63.0	35	13.8	34	13.4	25	9.8
合 計		41,706	32,128	77.0	6,961	16.7	1,833	4.4	784	1.9

実施状況

事業所健診のなかで、41,706人に糖代謝検査を行った。

男女別では、男性24,241人（58.1%）女性17,465人（41.9%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）77.0%、要指導16.7%、治療継続4.4%、要医療1.9%であった。

【事業所健診】腎機能検査結果

令和元年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	936	905	96.7	2	0.2	0	0.0	29	3.1
	20～24歳	3,418	3,302	96.6	16	0.5	7	0.2	93	2.7
	25～29歳	1,768	1,678	94.9	30	1.7	9	0.5	51	2.9
	30～34歳	1,656	1,591	96.1	22	1.3	4	0.2	39	2.4
	35～39歳	1,820	1,683	92.5	68	3.7	9	0.5	60	3.3
	40～44歳	2,766	2,516	91.0	137	5.0	16	0.6	97	3.5
	45～49歳	3,504	3,094	88.3	244	7.0	28	0.8	138	3.9
	50～54歳	3,251	2,836	87.2	257	7.9	35	1.1	123	3.8
	55～59歳	3,109	2,562	82.4	349	11.2	46	1.5	152	4.9
	60～64歳	2,341	1,887	80.6	277	11.8	36	1.5	141	6.0
	65～69歳	981	704	71.8	208	21.2	8	0.8	61	6.2
	70～74歳	475	311	65.5	122	25.7	2	0.4	40	8.4
	75～79歳	90	62	68.9	21	23.3	3	3.3	4	4.4
	80歳以上	72	39	54.2	12	16.7	0	0.0	21	29.2
小 計		26,187	23,170	88.5	1,765	6.7	203	0.8	1,049	4.0
女 性	～19歳	825	749	90.8	4	0.5	1	0.1	71	8.6
	20～24歳	2,936	2,750	93.7	24	0.8	2	0.1	160	5.4
	25～29歳	1,198	1,101	91.9	51	4.3	3	0.3	43	3.6
	30～34歳	984	918	93.3	35	3.6	4	0.4	27	2.7
	35～39歳	1,285	1,154	89.8	78	6.1	7	0.5	46	3.6
	40～44歳	2,426	2,102	86.6	217	8.9	9	0.4	98	4.0
	45～49歳	2,742	2,287	83.4	337	12.3	10	0.4	108	3.9
	50～54歳	2,334	1,823	78.1	396	17.0	15	0.6	100	4.3
	55～59歳	1,879	1,428	76.0	365	19.4	15	0.8	71	3.8
	60～64歳	1,359	975	71.7	329	24.2	6	0.4	49	3.6
	65～69歳	858	580	67.6	223	26.0	9	1.0	46	5.4
	70～74歳	294	170	57.8	104	35.4	2	0.7	18	6.1
	75～79歳	61	38	62.3	22	36.1	0	0.0	1	1.6
	80歳以上	177	87	49.2	33	18.6	1	0.6	56	31.6
小 計		19,358	16,162	83.5	2,218	11.5	84	0.4	894	4.6
総 数	～19歳	1,761	1,654	93.9	6	0.3	1	0.1	100	5.7
	20～24歳	6,354	6,052	95.2	40	0.6	9	0.1	253	4.0
	25～29歳	2,966	2,779	93.7	81	2.7	12	0.4	94	3.2
	30～34歳	2,640	2,509	95.0	57	2.2	8	0.3	66	2.5
	35～39歳	3,105	2,837	91.4	146	4.7	16	0.5	106	3.4
	40～44歳	5,192	4,618	88.9	354	6.8	25	0.5	195	3.8
	45～49歳	6,246	5,381	86.2	581	9.3	38	0.6	246	3.9
	50～54歳	5,585	4,659	83.4	653	11.7	50	0.9	223	4.0
	55～59歳	4,988	3,990	80.0	714	14.3	61	1.2	223	4.5
	60～64歳	3,700	2,862	77.4	606	16.4	42	1.1	190	5.1
	65～69歳	1,839	1,284	69.8	431	23.4	17	0.9	107	5.8
	70～74歳	769	481	62.5	226	29.4	4	0.5	58	7.5
	75～79歳	151	100	66.2	43	28.5	3	2.0	5	3.3
	80歳以上	249	126	50.6	45	18.1	1	0.4	77	30.9
合 計		45,545	39,332	86.4	3,983	8.7	287	0.6	1,943	4.3

実施状況

事業所健診のなかで、45,545人に腎機能検査を行った。

男女別では、男性26,187人（57.5%）女性19,358人（42.5%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）86.4%、要指導8.7%、治療継続0.6%、要医療4.3%であった。

【事業所健診】血液一般検査結果

令和元年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	717	636	88.7	34	4.7	1	0.1	46	6.4
	20～24歳	1,618	1,450	89.6	116	7.2	0	0.0	52	3.2
	25～29歳	1,560	1,384	88.7	123	7.9	3	0.2	50	3.2
	30～34歳	1,448	1,310	90.5	94	6.5	1	0.1	43	3.0
	35～39歳	1,716	1,586	92.4	73	4.3	1	0.1	56	3.3
	40～44歳	2,704	2,418	89.4	183	6.8	8	0.3	95	3.5
	45～49歳	3,453	3,030	87.7	301	8.7	4	0.1	118	3.4
	50～54歳	3,196	2,773	86.8	299	9.4	5	0.2	119	3.7
	55～59歳	3,052	2,632	86.2	300	9.8	13	0.4	107	3.5
	60～64歳	2,293	1,982	86.4	217	9.5	11	0.5	83	3.6
	65～69歳	953	856	89.8	59	6.2	7	0.7	31	3.3
	70～74歳	469	411	87.6	33	7.0	4	0.9	21	4.5
	75～79歳	89	73	82.0	9	10.1	0	0.0	7	7.9
	80歳以上	73	29	39.7	21	28.8	3	4.1	20	27.4
小 計		23,341	20,570	88.1	1,862	8.0	61	0.3	848	3.6
女 性	～19歳	752	595	79.1	52	6.9	2	0.3	103	13.7
	20～24歳	1,173	972	82.9	123	10.5	8	0.7	70	6.0
	25～29歳	1,075	871	81.0	138	12.8	12	1.1	54	5.0
	30～34歳	894	730	81.7	112	12.5	13	1.5	39	4.4
	35～39歳	1,227	965	78.6	157	12.8	15	1.2	90	7.3
	40～44歳	2,379	1,775	74.6	299	12.6	72	3.0	233	9.8
	45～49歳	2,697	2,009	74.5	328	12.2	98	3.6	262	9.7
	50～54歳	2,286	1,849	80.9	224	9.8	83	3.6	130	5.7
	55～59歳	1,837	1,628	88.6	134	7.3	13	0.7	62	3.4
	60～64歳	1,329	1,190	89.5	90	6.8	5	0.4	44	3.3
	65～69歳	830	721	86.9	64	7.7	5	0.6	40	4.8
	70～74歳	288	262	91.0	15	5.2	1	0.3	10	3.5
	75～79歳	60	50	83.3	4	6.7	0	0.0	6	10.0
	80歳以上	180	81	45.0	47	26.1	8	4.4	44	24.4
小 計		17,007	13,698	80.5	1,787	10.5	335	2.0	1,187	7.0
総 数	～19歳	1,469	1,231	83.8	86	5.9	3	0.2	149	10.1
	20～24歳	2,791	2,422	86.8	239	8.6	8	0.3	122	4.4
	25～29歳	2,635	2,255	85.6	261	9.9	15	0.6	104	3.9
	30～34歳	2,342	2,040	87.1	206	8.8	14	0.6	82	3.5
	35～39歳	2,943	2,551	86.7	230	7.8	16	0.5	146	5.0
	40～44歳	5,083	4,193	82.5	482	9.5	80	1.6	328	6.5
	45～49歳	6,150	5,039	81.9	629	10.2	102	1.7	380	6.2
	50～54歳	5,482	4,622	84.3	523	9.5	88	1.6	249	4.5
	55～59歳	4,889	4,260	87.1	434	8.9	26	0.5	169	3.5
	60～64歳	3,622	3,172	87.6	307	8.5	16	0.4	127	3.5
	65～69歳	1,783	1,577	88.4	123	6.9	12	0.7	71	4.0
	70～74歳	757	673	88.9	48	6.3	5	0.7	31	4.1
	75～79歳	149	123	82.6	13	8.7	0	0.0	13	8.7
	80歳以上	253	110	43.5	68	26.9	11	4.3	64	25.3
合 計		40,348	34,268	84.9	3,649	9.0	396	1.0	2,035	5.0

実施状況

事業所健診のなかで、40,348人に血液一般検査を行った。

男女別では、男性23,341人（57.8%）女性17,007人（42.2%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）84.9%、要指導9.0%、治療継続1.0%、要医療5.0%であった。

【事業所健診】心電図検査結果

令和元年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		有所見		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	526	499	94.9	22	4.2	0	0.0	5	1.0
	20～24歳	710	642	90.4	58	8.2	4	0.6	6	0.8
	25～29歳	649	595	91.7	46	7.1	6	0.9	2	0.3
	30～34歳	754	660	87.5	75	9.9	3	0.4	16	2.1
	35～39歳	1,272	1,099	86.4	144	11.3	7	0.6	22	1.7
	40～44歳	2,667	2,271	85.2	320	12.0	40	1.5	36	1.3
	45～49歳	3,437	2,874	83.6	455	13.2	55	1.6	53	1.5
	50～54歳	3,186	2,595	81.5	427	13.4	94	3.0	70	2.2
	55～59歳	3,047	2,374	77.9	444	14.6	165	5.4	64	2.1
	60～64歳	2,286	1,628	71.2	432	18.9	146	6.4	80	3.5
	65～69歳	950	613	64.5	201	21.2	80	8.4	56	5.9
	70～74歳	469	264	56.3	105	22.4	59	12.6	41	8.7
	75～79歳	89	39	43.8	24	27.0	17	19.1	9	10.1
	80歳以上	74	31	41.9	23	31.1	10	13.5	10	13.5
小 計		20,116	16,184	80.5	2,776	13.8	686	3.4	470	2.3
女 性	～19歳	566	553	97.7	7	1.2	4	0.7	2	0.4
	20～24歳	555	516	93.0	30	5.4	5	0.9	4	0.7
	25～29歳	444	415	93.5	20	4.5	3	0.7	6	1.4
	30～34歳	479	444	92.7	27	5.6	3	0.6	5	1.0
	35～39歳	915	851	93.0	55	6.0	2	0.2	7	0.8
	40～44歳	2,363	2,147	90.9	174	7.4	22	0.9	20	0.8
	45～49歳	2,679	2,395	89.4	224	8.4	32	1.2	28	1.0
	50～54歳	2,288	1,969	86.1	240	10.5	30	1.3	49	2.1
	55～59歳	1,830	1,558	85.1	204	11.1	25	1.4	43	2.3
	60～64歳	1,327	1,088	82.0	161	12.1	28	2.1	50	3.8
	65～69歳	829	637	76.8	128	15.4	27	3.3	37	4.5
	70～74歳	287	193	67.2	50	17.4	21	7.3	23	8.0
	75～79歳	60	43	71.7	11	18.3	5	8.3	1	1.7
	80歳以上	177	64	36.2	44	24.9	32	18.1	37	20.9
小 計		14,799	12,873	87.0	1,375	9.3	239	1.6	312	2.1
総 数	～19歳	1,092	1,052	96.3	29	2.7	4	0.4	7	0.6
	20～24歳	1,265	1,158	91.5	88	7.0	9	0.7	10	0.8
	25～29歳	1,093	1,010	92.4	66	6.0	9	0.8	8	0.7
	30～34歳	1,233	1,104	89.5	102	8.3	6	0.5	21	1.7
	35～39歳	2,187	1,950	89.2	199	9.1	9	0.4	29	1.3
	40～44歳	5,030	4,418	87.8	494	9.8	62	1.2	56	1.1
	45～49歳	6,116	5,269	86.2	679	11.1	87	1.4	81	1.3
	50～54歳	5,474	4,564	83.4	667	12.2	124	2.3	119	2.2
	55～59歳	4,877	3,932	80.6	648	13.3	190	3.9	107	2.2
	60～64歳	3,613	2,716	75.2	593	16.4	174	4.8	130	3.6
	65～69歳	1,779	1,250	70.3	329	18.5	107	6.0	93	5.2
	70～74歳	756	457	60.4	155	20.5	80	10.6	64	8.5
	75～79歳	149	82	55.0	35	23.5	22	14.8	10	6.7
	80歳以上	251	95	37.8	67	26.7	42	16.7	47	18.7
合 計		34,915	29,057	83.2	4,151	11.9	925	2.6	782	2.2

実施状況

事業所健診のなかで、34,915人に心電図検査を行った。

男女別では、男性20,116人（57.6%）女性14,799人（42.4%）であった。

また、年齢階級では、45～49歳が最も多く、次いで、50～54歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）83.2%、有所見11.9%、治療継続2.6%、要医療2.2%であった。

【事業所健診】眼底検査結果

令和元年度

		受診者数	判定									
			異常なし		有所見・軽度異常		治療継続		要医療		読影不能、判定不能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	49	45	91.8	0	0.0	0	0.0	3	6.1	1	2.0
	35～39歳	147	126	85.7	6	4.1	3	2.0	12	8.2	0	0.0
	40～44歳	385	304	79.0	33	8.6	5	1.3	42	10.9	1	0.3
	45～49歳	371	254	68.5	45	12.1	15	4.0	57	15.4	0	0.0
	50～54歳	369	240	65.0	57	15.4	19	5.1	53	14.4	0	0.0
	55～59歳	319	183	57.4	68	21.3	16	5.0	50	15.7	2	0.6
	60～64歳	274	130	47.4	70	25.5	18	6.6	56	20.4	0	0.0
	65～69歳	203	101	49.8	41	20.2	15	7.4	45	22.2	1	0.5
	70～74歳	97	22	22.7	24	24.7	19	19.6	31	32.0	1	1.0
	75～79歳	15	5	33.3	2	13.3	3	20.0	5	33.3	0	0.0
	80歳以上	7	0	0.0	2	28.6	3	42.9	2	28.6	0	0.0
小計		2,241	1,415	63.1	348	15.5	116	5.2	356	15.9	6	0.3
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	2	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
	30～34歳	31	28	90.3	1	3.2	0	0.0	2	6.5	0	0.0
	35～39歳	164	149	90.9	3	1.8	1	0.6	11	6.7	0	0.0
	40～44歳	394	331	84.0	22	5.6	8	2.0	33	8.4	0	0.0
	45～49歳	392	302	77.0	33	8.4	14	3.6	42	10.7	1	0.3
	50～54歳	435	321	73.8	35	8.0	20	4.6	59	13.6	0	0.0
	55～59歳	320	203	63.4	38	11.9	25	7.8	54	16.9	0	0.0
	60～64歳	209	129	61.7	32	15.3	13	6.2	35	16.7	0	0.0
	65～69歳	138	74	53.6	27	19.6	12	8.7	25	18.1	0	0.0
	70～74歳	58	18	31.0	12	20.7	7	12.1	20	34.5	1	1.7
	75～79歳	12	1	8.3	2	16.7	2	16.7	7	58.3	0	0.0
	80歳以上	6	0	0.0	2	33.3	3	50.0	1	16.7	0	0.0
小計		2,165	1,561	72.1	207	9.6	105	4.8	290	13.4	2	0.1
総 数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	3	75.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0
	30～34歳	80	73	91.3	1	1.3	0	0.0	5	6.3	1	1.3
	35～39歳	311	275	88.4	9	2.9	4	1.3	23	7.4	0	0.0
	40～44歳	779	635	81.5	55	7.1	13	1.7	75	9.6	1	0.1
	45～49歳	763	556	72.9	78	10.2	29	3.8	99	13.0	1	0.1
	50～54歳	804	561	69.8	92	11.4	39	4.9	112	13.9	0	0.0
	55～59歳	639	386	60.4	106	16.6	41	6.4	104	16.3	2	0.3
	60～64歳	483	259	53.6	102	21.1	31	6.4	91	18.8	0	0.0
	65～69歳	341	175	51.3	68	19.9	27	7.9	70	20.5	1	0.3
	70～74歳	155	40	25.8	36	23.2	26	16.8	51	32.9	2	1.3
	75～79歳	27	6	22.2	4	14.8	5	18.5	12	44.4	0	0.0
	80歳以上	13	0	0.0	4	30.8	6	46.2	3	23.1	0	0.0
合計		4,406	2,976	67.5	555	12.6	221	5.0	646	14.7	8	0.2

実施状況

事業所健診のなかで、4,406人に眼底検査を行った。

男女別では、男性2,241人（50.9％）女性2,165人（49.1％）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、40～44歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）67.5％、有所見12.6％、治療継続5.0％、要医療14.7％であった。

4 各種検査の成績

腹部超音波検査結果

令和元年度

		受診者数	判定											
			異常なし		有所見		要指導		治療継続		要精検		読影不能・判定不能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	5	3	60.0	0	0.0	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	50	16	32.0	2	4.0	30	60.0	0	0.0	2	4.0	0	0.0
	35～39歳	132	43	32.6	1	0.8	80	60.6	0	0.0	8	6.1	0	0.0
	40～44歳	358	73	20.4	8	2.2	259	72.3	1	0.3	17	4.7	0	0.0
	45～49歳	354	50	14.1	19	5.4	259	73.2	2	0.6	24	6.8	0	0.0
	50～54歳	372	36	9.7	5	1.3	306	82.3	2	0.5	23	6.2	0	0.0
	55～59歳	314	20	6.4	8	2.5	259	82.5	3	1.0	24	7.6	0	0.0
	60～64歳	306	19	6.2	12	3.9	255	83.3	0	0.0	20	6.5	0	0.0
	65～69歳	393	18	4.6	3	0.8	334	85.0	1	0.3	37	9.4	0	0.0
	70～74歳	402	17	4.2	4	1.0	342	85.1	0	0.0	39	9.7	0	0.0
	75～79歳	142	7	4.9	1	0.7	113	79.6	0	0.0	21	14.8	0	0.0
	80歳以上	69	1	1.4	1	1.4	61	88.4	0	0.0	6	8.7	0	0.0
小計		2,899	304	10.5	64	2.2	2,301	79.4	9	0.3	221	7.6	0	0.0
女性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	2	50.0	0	0.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	32	20	62.5	1	3.1	9	28.1	0	0.0	2	6.3	0	0.0
	35～39歳	170	66	38.8	0	0.0	92	54.1	1	0.6	11	6.5	0	0.0
	40～44歳	409	122	29.8	1	0.2	257	62.8	0	0.0	29	7.1	0	0.0
	45～49歳	414	97	23.4	5	1.2	292	70.5	1	0.2	19	4.6	0	0.0
	50～54歳	514	66	12.8	3	0.6	397	77.2	1	0.2	46	8.9	1	0.2
	55～59歳	442	58	13.1	3	0.7	349	79.0	0	0.0	32	7.2	0	0.0
	60～64歳	419	38	9.1	2	0.5	354	84.5	1	0.2	24	5.7	0	0.0
	65～69歳	563	41	7.3	1	0.2	472	83.8	0	0.0	49	8.7	0	0.0
	70～74歳	497	30	6.0	1	0.2	414	83.3	0	0.0	52	10.5	0	0.0
	75～79歳	209	4	1.9	0	0.0	183	87.6	0	0.0	22	10.5	0	0.0
	80歳以上	80	4	5.0	1	1.3	64	80.0	0	0.0	11	13.8	0	0.0
小計		3,753	548	14.6	18	0.5	2,885	76.9	4	0.1	297	7.9	1	0.0
総数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	9	5	55.6	0	0.0	4	44.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	82	36	43.9	3	3.7	39	47.6	0	0.0	4	4.9	0	0.0
	35～39歳	302	109	36.1	1	0.3	172	57.0	1	0.3	19	6.3	0	0.0
	40～44歳	767	195	25.4	9	1.2	516	67.3	1	0.1	46	6.0	0	0.0
	45～49歳	768	147	19.1	24	3.1	551	71.7	3	0.4	43	5.6	0	0.0
	50～54歳	886	102	11.5	8	0.9	703	79.3	3	0.3	69	7.8	1	0.1
	55～59歳	756	78	10.3	11	1.5	608	80.4	3	0.4	56	7.4	0	0.0
	60～64歳	725	57	7.9	14	1.9	609	84.0	1	0.1	44	6.1	0	0.0
	65～69歳	956	59	6.2	4	0.4	806	84.3	1	0.1	86	9.0	0	0.0
	70～74歳	899	47	5.2	5	0.6	756	84.1	0	0.0	91	10.1	0	0.0
	75～79歳	351	11	3.1	1	0.3	296	84.3	0	0.0	43	12.3	0	0.0
	80歳以上	149	5	3.4	2	1.3	125	83.9	0	0.0	17	11.4	0	0.0
合計		6,652	852	12.8	82	1.2	5,186	78.0	13	0.2	518	7.8	1	0.0

実施状況

腹部超音波検査は、6,652人に実施している。

男女別では、男性2,899人（43.6％）女性3,753人（56.4％）であった。

また、年齢階級でみると、65～69歳が最も多く、次いで、70～74歳、50～54歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）12.8％、有所見1.2％、要指導78.0％、治療継続0.2％、要精検7.8％であった。

肝炎検査（B型肝炎）結果

令和元年度

		受診者数	判 定							
			陰 性		抗原陰性抗体陽性		治療継続		陽 性	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	4	3	75.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	40	34	85.0	6	15.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	83	71	85.5	11	13.3	0	0.0	1	1.2
	40～44歳	621	598	96.3	16	2.6	2	0.3	5	0.8
	45～49歳	394	370	93.9	21	5.3	1	0.3	2	0.5
	50～54歳	339	320	94.4	14	4.1	0	0.0	5	1.5
	55～59歳	357	341	95.5	12	3.4	0	0.0	4	1.1
	60～64歳	409	396	96.8	9	2.2	0	0.0	4	1.0
	65～69歳	592	575	97.1	4	0.7	0	0.0	13	2.2
	70～74歳	358	350	97.8	0	0.0	0	0.0	8	2.2
	75～79歳	120	118	98.3	0	0.0	0	0.0	2	1.7
	80歳以上	87	85	97.7	0	0.0	0	0.0	2	2.3
小 計		3,409	3,266	95.8	94	2.8	3	0.1	46	1.3
女 性	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	60	50	83.3	9	15.0	0	0.0	1	1.7
	25～29歳	53	47	88.7	6	11.3	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	55	52	94.5	3	5.5	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	130	122	93.8	8	6.2	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,099	1,093	99.5	4	0.4	0	0.0	2	0.2
	45～49歳	517	502	97.1	9	1.7	0	0.0	6	1.2
	50～54歳	484	474	97.9	5	1.0	1	0.2	4	0.8
	55～59歳	471	462	98.1	3	0.6	1	0.2	5	1.1
	60～64歳	509	503	98.8	3	0.6	0	0.0	3	0.6
	65～69歳	562	554	98.6	0	0.0	0	0.0	8	1.4
	70～74歳	368	361	98.1	0	0.0	0	0.0	7	1.9
	75～79歳	113	111	98.2	0	0.0	0	0.0	2	1.8
	80歳以上	69	69	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小 計		4,495	4,405	98.0	50	1.1	2	0.0	38	0.8
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	64	54	84.4	9	14.1	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	57	50	87.7	7	12.3	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	95	86	90.5	9	9.5	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	213	193	90.6	19	8.9	0	0.0	1	0.5
	40～44歳	1,720	1,691	98.3	20	1.2	2	0.1	7	0.4
	45～49歳	911	872	95.7	30	3.3	1	0.1	8	0.9
	50～54歳	823	794	96.5	19	2.3	1	0.1	9	1.1
	55～59歳	828	803	97.0	15	1.8	1	0.1	9	1.1
	60～64歳	918	899	97.9	12	1.3	0	0.0	7	0.8
	65～69歳	1,154	1,129	97.8	4	0.3	0	0.0	21	1.8
	70～74歳	726	711	97.9	0	0.0	0	0.0	15	2.1
	75～79歳	233	229	98.3	0	0.0	0	0.0	4	1.7
	80歳以上	156	154	98.7	0	0.0	0	0.0	2	1.3
合 計		7,904	7,671	97.1	144	1.8	5	0.1	84	1.1

実施状況

B型肝炎検査は、7,904人に実施している

男女別では、男性3,409人（43.1％）女性4,495人（56.9％）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

抗原陰性97.1％、抗原陰性抗体陽性1.8％、抗原陽性1.1％であった。

肝炎検査（C型肝炎）結果

令和元年度

		受診者数	判定					
			陰性		治療継続		陽性	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	33	33	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	62	62	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	582	582	100.0	0	0.0	0	0.0
	45～49歳	365	364	99.7	0	0.0	1	0.3
	50～54歳	315	314	99.7	0	0.0	1	0.3
	55～59歳	336	336	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	401	400	99.8	0	0.0	1	0.2
	65～69歳	575	574	99.8	0	0.0	1	0.2
	70～74歳	361	361	100.0	0	0.0	0	0.0
	75～79歳	121	120	99.2	0	0.0	1	0.8
	80歳以上	87	87	100.0	0	0.0	0	0.0
小計		3,248	3,243	99.8	0	0.0	5	0.2
女 性	～19歳	5	5	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	69	68	98.6	0	0.0	1	1.4
	25～29歳	70	70	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	73	73	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	119	119	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,070	1,070	100.0	0	0.0	0	0.0
	45～49歳	502	502	100.0	0	0.0	0	0.0
	50～54歳	467	466	99.8	0	0.0	1	0.2
	55～59歳	459	459	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	499	498	99.8	0	0.0	1	0.2
	65～69歳	563	563	100.0	0	0.0	0	0.0
	70～74歳	367	367	100.0	0	0.0	0	0.0
	75～79歳	113	112	99.1	0	0.0	1	0.9
	80歳以上	69	68	98.6	0	0.0	1	1.4
小計		4,445	4,440	99.9	0	0.0	5	0.1
総 数	～19歳	6	6	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	73	72	98.6	0	0.0	1	1.4
	25～29歳	75	75	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	106	106	100.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	181	181	100.0	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,652	1,652	100.0	0	0.0	0	0.0
	45～49歳	867	866	99.9	0	0.0	1	0.1
	50～54歳	782	780	99.7	0	0.0	2	0.3
	55～59歳	795	795	100.0	0	0.0	0	0.0
	60～64歳	900	898	99.8	0	0.0	2	0.2
	65～69歳	1,138	1,137	99.9	0	0.0	1	0.1
	70～74歳	728	728	100.0	0	0.0	0	0.0
	75～79歳	234	232	99.1	0	0.0	2	0.9
	80歳以上	156	155	99.4	0	0.0	1	0.6
合計		7,693	7,683	99.9	0	0.0	10	0.1

実施状況

C型肝炎検査は、7,693人に実施している

男女別では、男性3,248人（42.2%）女性4,445人（57.8%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、60～64歳の順であった。

判定結果

陰性99.9%、陽性0.1%であった。

5 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	小計	令和元年度			小計	平成30年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	6,402	3,971	1,955	476	5,871	3,557	1,797	517
子宮	1,297	775	372	150	1,311	826	323	162
乳	1,415	820	595	－	1,483	852	631	－
肺	725	223	477	25	772	231	453	88
大腸	1,897	1,192	567	138	1,923	1,281	505	137
合計	11,736	6,981	3,966	789	11,360	6,747	3,709	904

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別		計	令和元年度			計	平成30年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		693	260	256	177	706	263	261	182
精検受診者数		6,402	3,971	1,955	476	5,871	3,557	1,797	517
延べ内 訳	X線直接撮影	30	6	0	24	44	8	0	36
	内 視 鏡	6,430	3,988	1,990	452	5,896	3,577	1,838	481
	組 織 診	1,074	836	213	25	956	660	274	22
発 見 が ん 数		76	39	31	6	83	56	19	8
(別掲)その他のがん		(14)	(6)	(8)	(0)	(3)	(1)	(2)	(0)

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別		計	令和元年度			計	平成30年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		527	240	236	51	501	236	228	37
精検受診者数		1,297	775	372	150	1,311	826	323	162
延 べ 内 訳	再検査(細胞診)	1,350	746	429	175	1,279	778	330	171
	頸 部 組 織 診	307	181	101	25	327	179	119	29
	体 部 組 織 診	19	13	6	0	21	14	7	0
超 音 波		1,070	611	347	112	1,031	682	235	114
HPVウイルス		604	359	236	9	459	262	182	15
発 見 が ん 数		35	21	13	1	31	20	11	0

(3) 乳がん

センター別 部位別		計	令和元年度			計	平成30年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		375	137	238	－	387	142	245	－
精検受診者数		1,415	820	595	－	1,483	852	631	－
延 べ 内 訳	X 線 撮 影	1,328	762	566	－	1,368	810	558	－
	超 音 波	1,466	861	605	－	1,607	933	674	－
	細 胞 診	112	0	112	－	112	0	112	－
	触 診 再 検 査	1,234	662	572	－	1,148	623	525	－
発 見 が ん 数		159	69	90	－	199	95	104	－

(4) 肺がん

センター別 部位別		計	令和元年度			計	平成30年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		157	48	88	21	205	49	92	64
精検受診者数		725	223	477	25	772	231	453	88
延 べ 内 訳	X線直接撮影	631	48	569	14	602	32	534	36
	C T	870	277	569	24	870	248	534	88
	喀痰細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0
発 見 が ん 数		27	17	10		24	9	11	4
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(5) 大腸がん

センター別 部位別		計	令和元年度			計	平成30年度		
			札 幌	旭 川	釧 路		札 幌	旭 川	釧 路
検 査 日 数		507	185	220	102	516	197	219	100
精検受診者数		1,897	1,192	567	138	1,923	1,281	505	137
延 べ 内 訳	X線注腸撮影	0	0	0	0	3	0	0	3
	内 視 鏡	1,898	1,193	567	138	1,920	1,281	505	134
	組 織 診	232	26	206	0	188	26	162	0
発 見 が ん 数		57	35	17	5	112	67	32	13
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～令和元年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
45～26	198,970	3,386(304)	24,155	10,053	49,440	2,396	25,736	15,346	68,458
27	3,078	50(3)	766	57	461	38	1,422	168	116
28	2,867	44(12)	481	58	365	1	1,502	321	95
29	2,935	40(2)	266	20	157	2	1,463	591	396
30	3,557	56(17)	288	65	113	15	2,154	588	278
元	3,971	39(12)	238	56	86	14	2,900	491	147
計	215,378	3,615(350)	26,194	10,309	50,622	2,466	35,177	17,505	69,490

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和元年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
56～26	83,067	1,492(241)	13,482	3,086	13,111	1,164	20,539	4,199	25,994
27	1,298	11(2)	168	10	104	12	771	139	83
28	1,465	18(0)	244	23	100	9	813	199	59
29	1,599	11(2)	271	16	65	2	802	393	39
30	1,797	19(6)	306	11	129	3	846	444	39
元	1,951	31(13)	285	8	130	1	966	488	42
計	91,177	1,582(264)	14,756	3,154	13,639	1,191	24,737	5,862	26,256

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和元年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
60～26	36,202	603(80)	4,514	1,342	5,119	538	12,584	3,757	7,745
27	659	7(1)	79	9	39	3	379	92	51
28	605	7(2)	89	13	38	1	349	70	38
29	540	7(1)	70	5	33	3	323	52	47
30	517	9(2)	69	8	28	2	304	60	37
元	476	6(1)	60	10	32	1	261	62	44
計	38,999	639(87)	4,881	1,387	5,289	548	14,200	4,093	7,962

※ () 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和元年度は 札幌 2,792人、旭川 1,225人、釧路 336人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和元年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			39(10)	23(8)	16(2)	30(6)	17(5)	13(1)	9(4)	6(3)	3(1)
手術施行	計		39(10)	23(8)	16(2)	30(6)	17(5)	13(1)	9(4)	6(3)	3(1)
	早期	内視鏡切除術	19(5)	13(5)	6(0)	16(4)	11(4)	5(0)	3(1)	2(1)	1(0)
		開 腹 手 術	11(2)	3(1)	8(1)	9(2)	2(1)	7(1)	2(0)	1(0)	1(0)
	進 行		2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		7(3)	5(2)	2(1)	3(0)	2(0)	1(0)	4(3)	3(2)	1(1)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

令和元年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			31(13)	26(10)	5(3)	17(6)	15(6)	2(0)	14(7)	11(4)	3(3)
手術施行	計		30(13)	25(10)	5(3)	16(6)	14(6)	2(0)	14(7)	11(4)	3(3)
	早期	内視鏡切除術	19(9)	15(6)	4(3)	7(3)	6(3)	1(0)	12(6)	9(3)	3(3)
		開 腹 手 術	5(4)	5(4)	0(0)	4(3)	4(3)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)
	進 行		6(0)	5(0)	1(0)	5(0)	4(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

令和元年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			6(1)	4(1)	2(0)	6(2)	4(2)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
手術施行	計		6(1)	4(1)	2(0)	6(2)	4(2)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	3(0)	2(0)	1(0)	3(1)	2(1)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)
		開 腹 手 術	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		2(1)	1(1)	1(0)	2(1)	1(1)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

※発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～令和元年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～26	59,620	1,934(39)	527	61	27,095	2,774	27,229
27	1,596	54(2)	13	1	1,008	131	389
28	1,390	57(2)	7	3	859	116	348
29	1,328	57(1)	16	0	816	165	274
30	1,281	67(5)	0	0	792	117	305
元	1,193	35(0)	7	1	687	203	260
計	66,408	2,204(49)	570	66	31,257	3,506	28,805

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和元年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
56～26	19,563	748(39)	262	4	11,683	1,513	5,353
27	215	10(0)	2	0	131	44	28
28	414	16(0)	5	1	247	106	39
29	274	13(0)	0	0	164	74	23
30	505	32(1)	3	0	332	109	29
元	565	17(1)	6	0	392	112	38
計	21,536	836(41)	278	5	12,949	1,958	5,510

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和元年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
60～26	12,718	393(18)	54	13	7,450	205	4,603
27	310	16(1)	2	0	153	2	137
28	181	9(0)	0	0	102	0	70
29	166	9(0)	1	0	91	0	65
30	137	13(0)	1	0	75	1	47
元	138	5(0)	0	0	77	0	56
計	13,650	445(19)	58	13	7,948	208	4,978

※精密検査受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和元年度は、札幌 422人、旭川 115人、釧路 60人)

※がんの()内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和元年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			35(0)	20(0)	15(0)	33(0)	19(0)	14(0)	2(0)	1(0)	1(0)
手術施行	計		35(0)	20(0)	15(0)	33(0)	19(0)	14(0)	2(0)	1(0)	1(0)
	早期	内視鏡切除術	17(0)	12(0)	5(0)	16(0)	11(0)	5(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開 腹 手 術	8(0)	3(0)	5(0)	8(0)	3(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		7(0)	3(0)	4(0)	6(0)	3(0)	3(0)	1(0)	0(0)	1(0)
	調 査 中		3(0)	2(0)	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

令和元年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			17(1)	15(1)	2(0)	14(1)	12(1)	2(0)	3(0)	3(0)	0(0)
手術施行	計		17(1)	15(1)	2(0)	14(1)	12(1)	2(0)	3(0)	3(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	9(1)	9(1)	0(0)	8(1)	8(1)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
		開 腹 手 術	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行		7(0)	5(0)	2(0)	6(0)	4(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

令和元年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			5(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	3(0)	3(0)	0(0)
手術施行	計		5(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	3(0)	3(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		4(0)	3(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	3(0)	3(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

※発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

(5) 子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

令和元年度

年齢	受診者数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果										精検後
		扁平上皮系					腺細胞系					異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	CIN3 (上皮がん)	扁平上皮がん	上皮内腺がん	腺がん	体部がん	他のがん	擬陽性	経過観察	
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig															
総数																										
総数	1,350	919	184	146	32	67	1	1	0	0	0	249	911	290	19	48	202	37	7	3	2	9	2	3	207	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	33	16	11	6	0	0	0	0	0	0	0	4	23	13	0	2	12	1	0	0	0	0	0	0	14	
25～29	83	56	14	10	0	3	0	0	0	0	0	10	63	18	0	2	14	3	0	0	0	0	0	0	16	
30～34	89	58	10	16	1	4	0	0	0	0	0	15	55	28	0	2	21	7	0	0	0	0	0	0	19	
35～39	119	79	19	11	4	5	1	0	0	0	0	20	82	35	0	2	29	3	0	2	0	0	0	0	24	
40～44	211	134	32	25	3	16	0	1	0	0	0	26	141	65	0	9	42	7	2	1	1	0	0	0	43	
45～49	250	156	32	40	2	20	0	0	0	0	0	33	175	52	0	7	38	8	0	0	1	0	0	0	35	
50～54	195	149	18	16	3	9	0	0	0	0	0	41	135	26	3	3	21	1	0	0	0	1	0	0	17	
55～59	96	71	12	9	3	1	0	0	0	0	0	20	59	24	7	8	10	2	3	0	0	4	2	1	16	
60～64	75	52	11	4	7	1	0	0	0	0	0	21	49	9	4	8	2	0	1	0	0	1	0	1	8	
65～69	74	54	8	4	5	3	0	0	0	0	0	18	51	10	1	1	7	2	1	0	0	1	0	0	7	
70～74	75	61	8	1	2	3	0	0	0	0	0	22	50	5	4	4	4	1	0	0	0	1	0	0	6	
75～79	39	27	7	2	1	2	0	0	0	0	0	16	21	4	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	1	
80～	11	6	2	2	1	0	0	0	0	0	0	3	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
札幌がん検診センター																										
総数	746	527	108	64	11	35	0	1	0	0	0	185	481	181	13	40	128	6	4	3	1	7	2	3	115	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	25	11	10	4	0	0	0	0	0	0	0	4	19	9	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	9	
25～29	57	38	11	6	0	2	0	0	0	0	0	9	46	10	0	1	7	1	0	0	0	0	0	0	8	
30～34	63	44	7	9	1	2	0	0	0	0	0	12	45	15	0	2	13	0	0	0	0	0	0	0	11	
35～39	80	54	11	9	3	3	0	0	0	0	0	16	54	28	0	2	21	1	0	2	0	0	0	0	17	
40～44	118	79	19	10	2	7	0	1	0	0	0	14	86	40	0	6	26	2	0	1	0	0	0	0	25	
45～49	124	79	20	15	0	10	0	0	0	0	0	22	82	30	0	5	24	1	0	0	1	0	0	0	20	
50～54	89	71	6	5	1	6	0	0	0	0	0	30	52	14	3	3	10	0	0	0	0	1	0	0	6	
55～59	50	38	10	2	0	0	0	0	0	0	0	15	28	14	5	3	6	0	3	0	0	2	2	1	7	
60～64	33	28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	17	13	7	2	5	1	0	0	0	0	1	0	1	4	
65～69	37	30	2	0	2	3	0	0	0	0	0	15	20	7	1	0	6	0	1	0	0	1	0	0	5	
70～74	36	31	4	0	0	1	0	0	0	0	0	15	19	4	2	1	3	1	0	0	0	1	0	0	2	
75～79	28	22	2	2	1	1	0	0	0	0	0	14	14	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
80～	6	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
旭川がん検診センター																										
総数	429	264	53	67	18	27	0	0	0	0	0	53	275	101	6	14	60	28	2	0	1	2	0	0	74	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	6	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	3	
25～29	22	17	1	3	0	1	0	0	0	0	0	1	13	8	0	1	5	2	0	0	0	0	0	0	6	
30～34	24	12	3	7	0	2	0	0	0	0	0	3	8	13	0	0	8	5	0	0	0	0	0	0	8	
35～39	32	19	8	2	1	2	0	0	0	0	0	3	23	6	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	4	
40～44	66	41	6	11	1	7	0	0	0	0	0	11	32	23	0	2	13	5	2	0	1	0	0	0	15	
45～49	99	58	10	23	1	7	0	0	0	0	0	10	70	19	0	1	12	6	0	0	0	0	0	0	13	
50～54	67	51	5	7	1	3	0	0	0	0	0	9	48	10	0	0	9	1	0	0	0	0	0	0	9	
55～59	20	11	1	4	3	1	0	0	0	0	0	3	7	10	2	5	3	2	0	0	0	2	0	0	8	
60～64	33	17	5	4	6	1	0	0	0	0	0	4	27	2	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
65～69	19	8	5	3	3	0	0	0	0	0	0	1	15	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	
70～74	28	19	4	1	2	2	0	0	0	0	0	5	22	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
75～79	8	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
80～	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
釧路がん検診センター																										
総数	175	128	23	15	3	5	1	0	0	0	0	11	155	8	0	4	17	3	1	0	0	0	0	0	18	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
25～29	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
30～34	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
35～39	7	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	
40～44	27	14	7	4	0	2	0	0	0	0	0	1	23	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
45～49	27	19	2	2	1	3	0	0	0	0	0	1	23	3	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	
50～54	39	27	7	4	1	0	0	0	0	0	0	2	35	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
55～59	26	22	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2	24	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
60～64	9	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
65～69	18	16	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	16	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
70～74	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
75～79	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
80～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※精検指示と結果は他施設で実施した方がいるため一致しない。

※平成26年度より、精検者の集検時におけるベセスダ分類は計上されていない。なお、健康診査受診者の精検結果は含まれる。

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～令和元年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
総 数										
45～26	858,750 (17,435)	696,263 (3,637)	79,735 (4,536)	5,255 (1,370)	5,801 (1,563)	30,551 (1,785)	7,196 (1,224)	136 (8)	10,048 (2,127)	23,765 (1,185)
27	6,674 (71)	5,992 (13)	97 (1)	27 (1)	16 (5)	250 (7)	197 (40)	0 (0)	32 (3)	63 (1)
28	6,309 (129)	5,613 (10)	90 (11)	32 (10)	19 (7)	212 (16)	226 (53)	1 (0)	55 (22)	61 (0)
29	5,847 (76)	5,232 (14)	83 (0)	18 (0)	19 (4)	205 (6)	217 (50)	0 (0)	21 (1)	52 (1)
30	4,481 (58)	3,870 (5)	117 (1)	32 (3)	23 (5)	162 (6)	183 (37)	0 (0)	47 (1)	47 ()
元	4,049 (51)	3,544 (9)	95 (1)	38 (4)	14 (3)	142 (3)	138 (27)	0 (0)	33 (4)	45 (0)
計	886,110 (17,820)	720,514 (3,688)	80,217 (4,550)	5,402 (1,388)	5,892 (1,587)	31,522 (1,823)	8,157 (1,431)	137 (8)	10,236 (2,158)	24,033 (1,187)
札 幌										
45～26	443,379 (12,285)	361,750 (2,460)	36,482 (2,932)	2,371 (999)	3,145 (1,087)	11,173 (1,249)	3,115 (807)	107 (6)	5,844 (1,826)	19,392 (919)
27	1,188 (20)	888 (3)	22 (1)	17 (1)	9 (5)	212 (7)	3 (0)	0 (0)	29 (3)	8 (0)
28	1,008 (75)	713 (5)	24 (11)	20 (10)	14 (6)	168 (15)	14 (6)	1 (0)	54 (22)	0 (0)
29	1,001 (21)	777 (6)	8 ()	5 ()	15 (4)	171 (6)	7 (4)	0 (0)	18 (1)	0 (0)
30	943 (16)	746 (1)	16 (1)	11 (2)	15 (5)	118 (6)	1 (0)	0 (0)	36 (1)	0 (0)
元	742 (18)	580 (5)	4 (1)	20 (3)	8 (2)	103 (3)	2 (0)	0 (0)	25 (4)	0 (0)
計	448,261 (12,435)	365,454 (2,480)	36,556 (2,946)	2,444 (1,015)	3,206 (1,109)	11,945 (1,286)	3,142 (817)	108 (6)	6,006 (1,857)	19,400 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～令和元年度

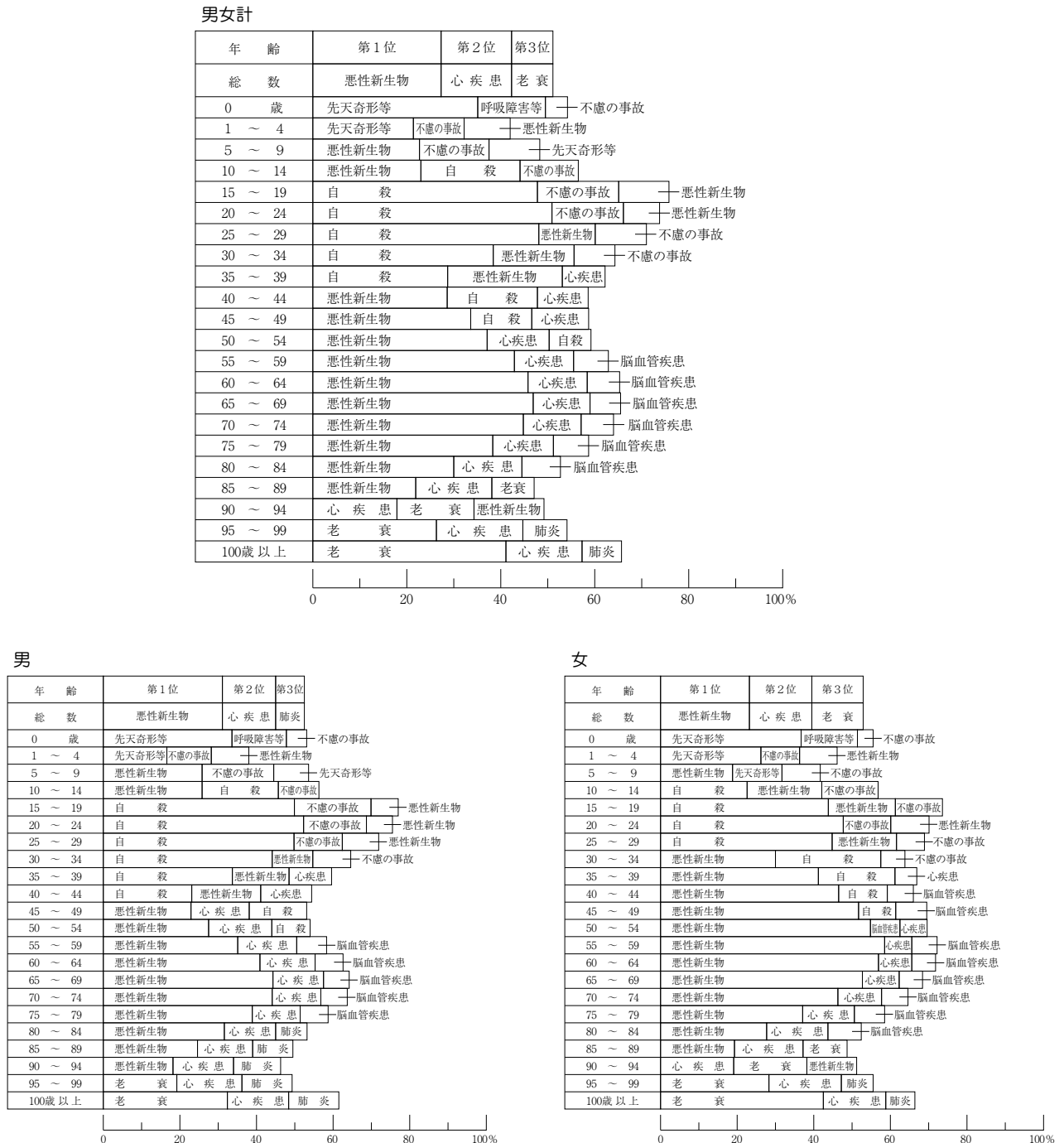
年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
旭 川										
56～26	343,652 (4,474)	269,857 (875)	40,236 (1,493)	2,749 (342)	2,415 (430)	18,248 (483)	3,938 (407)	21 (2)	3,862 (278)	2,326 (164)
27	4,565 (45)	4,220 (4)	75 ()	10 (0)	7 (0)	38 (0)	194 (40)	0 (0)	3 (0)	18 (1)
28	4,431 (54)	4,075 (5)	66 (0)	12 (0)	5 (1)	44 (1)	212 (47)	0 (0)	1 (0)	16 (0)
29	4,053 (53)	3,698 (7)	75 (0)	13 (0)	4 (0)	34 (0)	210 (46)	0 (0)	3 (0)	16 (0)
30	2,813 (40)	2,438 (2)	101 (0)	21 (1)	8 (0)	44 (0)	182 (37)	0 (0)	11 (0)	8 (0)
元	2,604 (33)	2,301 (4)	91 (0)	18 (1)	6 (1)	39 (0)	136 (27)	0 (0)	8 (0)	5 (0)
計	362,118 (4,699)	286,589 (897)	40,644 (1,493)	2,823 (344)	2,445 (432)	18,447 (484)	4,872 (604)	21 (2)	3,888 (278)	2,389 (165)
釧 路										
60～26	71,719 (676)	64,656 (302)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,047 (102)
27	921 (6)	884 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (0)
28	870 (0)	825 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	45 (0)
29	793 (2)	757 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (1)
30	725 (2)	686 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (0)
元	703 (0)	663 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (0)
計	75,731 (686)	68,471 (311)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,244 (103)

注) () 内数字は陽性の再掲。

【参考資料】

1 がん対策の背景

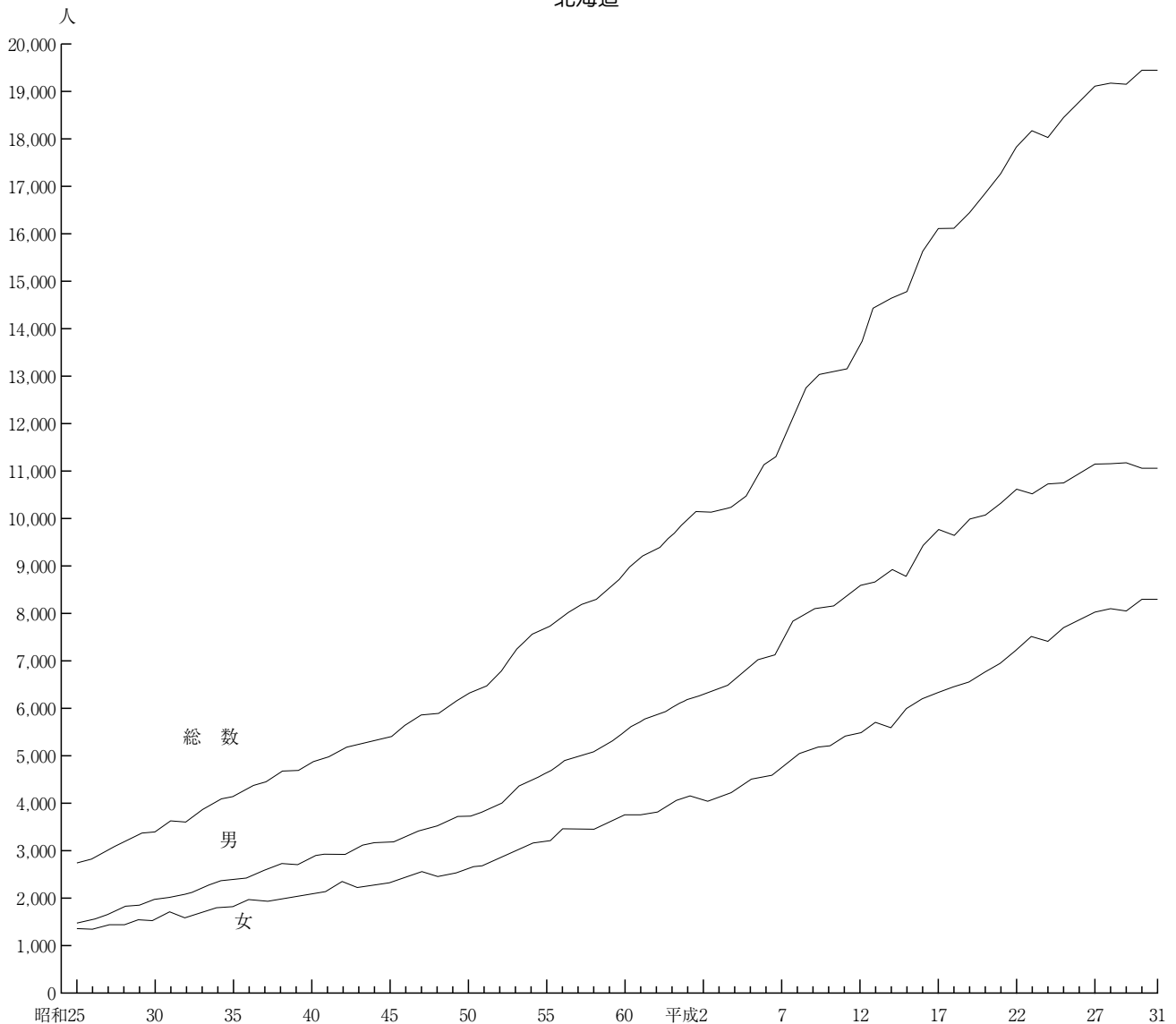
図1 性・年齢別にみた死因順位
平成31年 全国



資料：平成31年人口動態統計（確定数）上巻 死亡 第5. 17表

がんによる死亡は、全ての死因において昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
平成31年

男 性	11,056
女 性	8,369
総 数	19,425

資料：「平成31年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道においても、全国と同様にがんによる死亡者数が増え続けている。主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられる。年齢調整死亡率が改善傾向にはあるものの、都道府県別では、平成31年まで過去5年間全国ワースト5位以内に入っている。がん検診の受診率がどの部位も全国平均に届いておらず、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因と考える。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北 海 道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭40	昭60	平17	平31	全国31	昭40	昭60	平17	平31	全国31
総 数	4,863	9,096	16,133	19,425	376,425	94.0	159.9	287.8	372.8	304.2
食 道	181	357	597	564	11,619	3.5	6.3	10.7	10.8	9.4
胃	1,982	2,147	2,240	1,980	42,931	38.3	37.8	40.0	38.0	34.7
大 腸	268	928	2,186	2,648	51,420	5.2	16.3	39.0	50.8	41.6
肝 臓	357	832	1,328	1,147	25,264	6.9	14.6	23.7	22.0	20.4
膵 臓	181	624	1,357	2,069	36,356	3.5	11.0	24.2	39.7	29.4
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,330	75,394	8.6	25.6	57.2	83.1	60.9
乳 房	98	247	530	763	14,935	3.8	8.5	18.0	27.7	19.3
子 宮	311	231	229	320	6,804	12.0	7.9	7.8	11.6	9.3
白 血 病	187	256	314	398	8,839	3.6	4.5	5.6	7.6	7.1
そ の 他	855	2,019	4,147	5,206	102,863	16.5	35.5	74.0	99.9	83.1

資料：死亡数は「平成31年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」、人口は平成30年総務省統計局データ

図3 がん死亡者の部位別割合
平成31年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
／	がん総数	11,056	／	がん総数	8,369
1位	気管、気管支及び肺	2,905	1位	気管、気管支及び肺	1,425
2位	大腸	1,350	2位	大腸	1,298
3位	胃	1,300	3位	膵臓	1,101
4位	膵臓	968	4位	乳房	758
5位	肝及び肝内胆管	754	5位	胃	680
6位	前立腺	632	6位	胆のう及び他の胆道	481
7位	胆のう及び他の胆道	514	7位	肝及び肝内胆管	393
8位	食道	451	8位	子宮	320
9位	悪性リンパ腫	323	9位	悪性リンパ腫	306
10位	膀胱	289	10位	卵巣	221
11位	口唇、口腔及び咽頭	259	11位	白血病	164
11位	白血病	234	12位	膀胱	150
／	その他	1,077	／	その他	1,613

資料：「平成30年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	胃	大	膵	肝
女 性	大	肺	膵	胃	乳

資料：「平成31年人口動態調査（確定数）下巻死亡第4表」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いこと

があげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

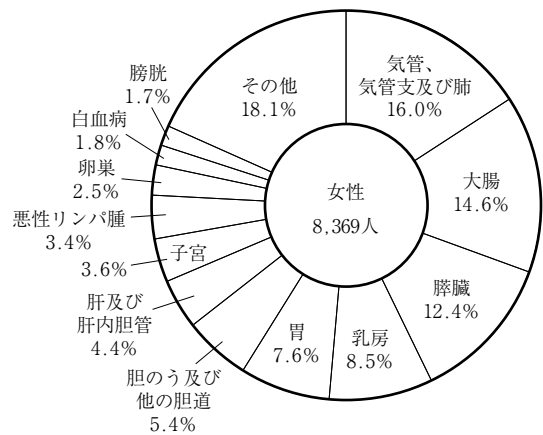
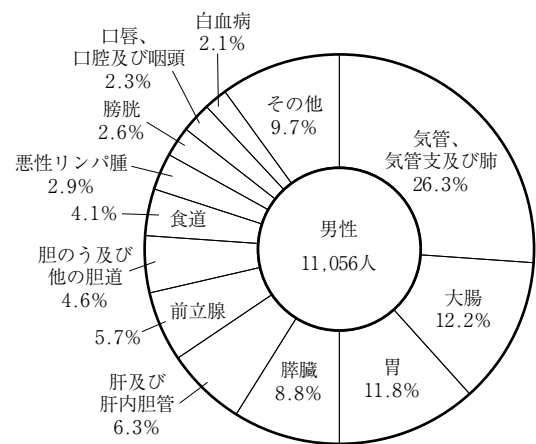
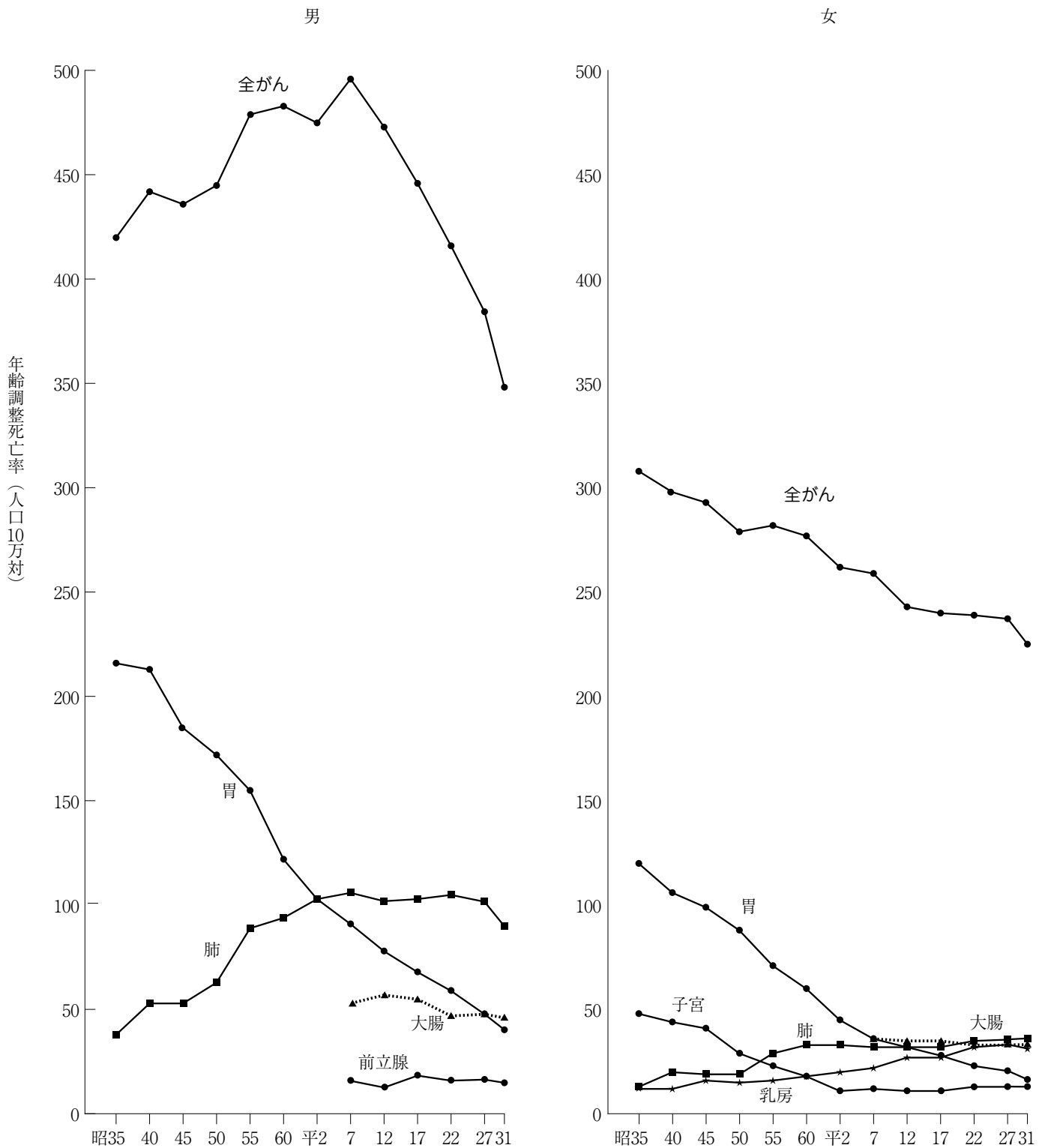
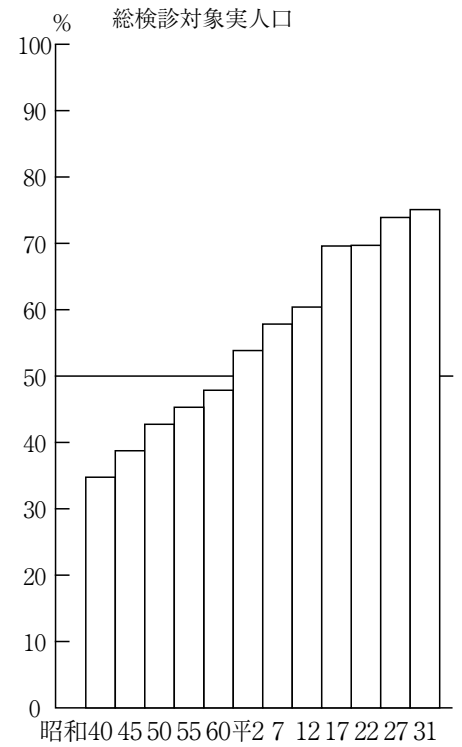
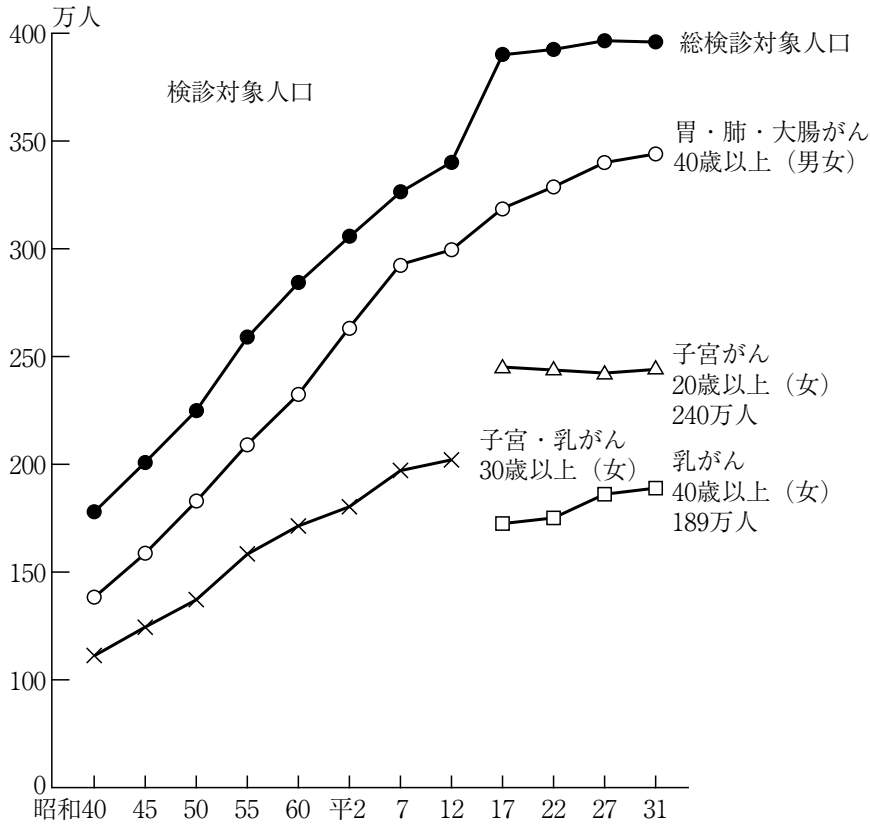


図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道

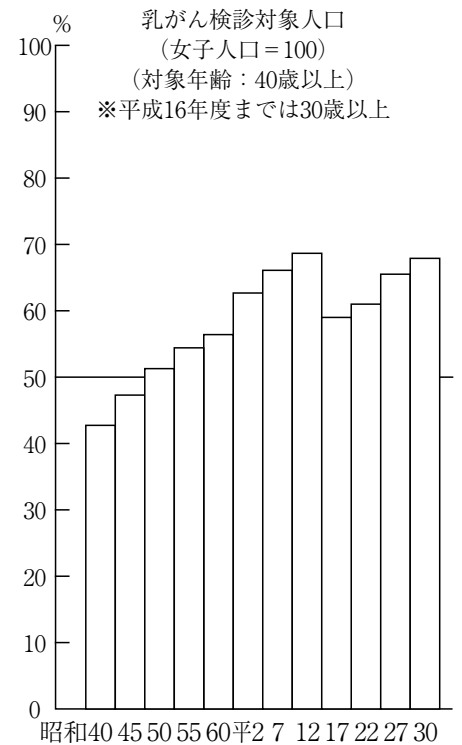
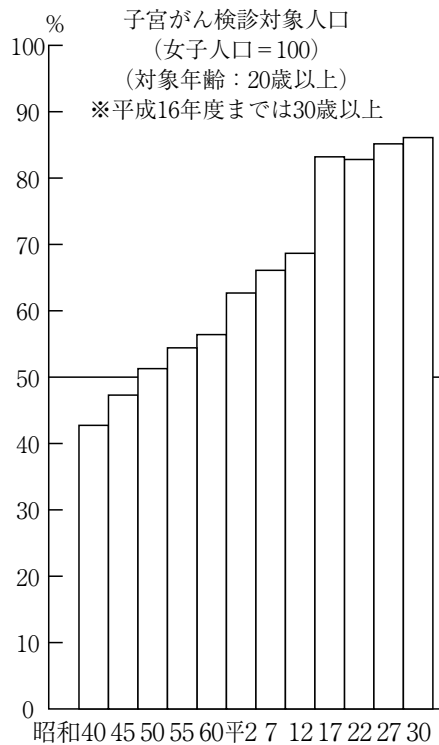
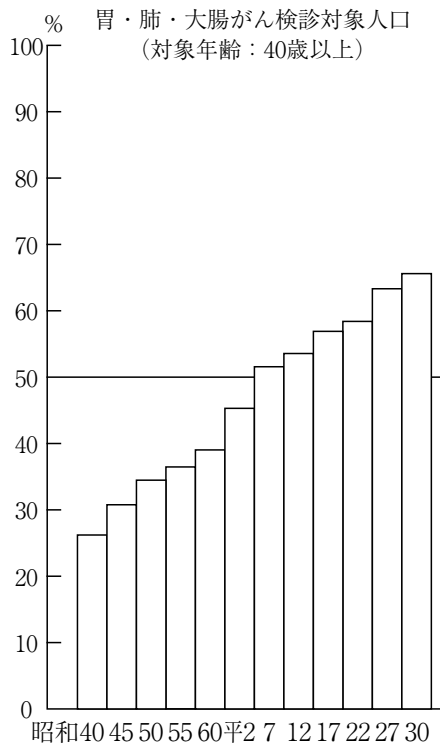


注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）
資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は国勢調査

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：総務省統計局データ

２ 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：平成30年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診（胃部エックス線検査）

平成30年度の対象者（北海道）は3,432,603人^{注）}で、受診数は134,724人、受診率は3.9%^{注）}であった。
このうち、当協会では137市町村において、検診車と各検診センターで87,140人に検診を実施した。
（受託実施率64.7%）

これに事業所分など10,046人を加え、総数97,347人に実施し、138名のがん（令和2年12月末現在）を発見した。（うち早期がん108名、早期がん割合78.2%）

子宮がん検診

平成30年度の対象者（北海道）は2,399,140人^{注）}である。受診者数は平成30年度166,640人、平成29年度173,801人で、2年合計で340,441人となっている。ここから2年連続受診者数22,681人を除いた317,760人が直近2年間の受診者数であり、受診率は13.2%^{注）}であった。

このうち、当協会では平成30年度は150市町村、平成29年度は148市町村において、検診車と各検診センターで104,436人に検診を実施した。（受託実施率32.9%）

これに事業所分など20,546を加え、総数124,992人に実施し、130名のがん（令和2年12月末現在）を発見した。（うち上皮内がん74名）

乳がん検診

平成30年度の対象者（北海道）は1,873,890人^{注）}である。受診者数は平成30年度115,153人、平成29年度117,176人で、2年合計で232,329人となっている。ここから2年連続受診者数12,047人を除いた220,282人が直近2年間の受診者数であり、受診率は11.8%^{注）}であった。

このうち、当協会では平成30年度は151市町村、平成29年度は148市町村において、検診車と各検診センターで116,565人に検診を実施した。（受託実施率52.9%）

これに事業所分など23,904人を加え、総数140,469人に実施し、607名のがん（令和2年12月末現在）を発見した。（うち早期がん434名、早期がん割合71.5%）

肺がん検診

平成30年度の対象者（北海道）は3,432,017人^{注）}で、受診数は191,776人、受診率は5.6%^{注）}であった。
このうち、当協会では133市町村において、検診車と各検診センターで80,328人に検診を実施した。
（受託実施率41.9%）

これに事業所分など10,065人を加え、総数90,393人に実施し、92名のがん（令和2年12月末現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、30市町村において、検診車と各検診センターで2,220人に検診を実施した。

これに個人受診（市町村の補助なしで全額自己負担で受診）分など2,107人を加え、総数4,327人に実施し、10名のがん（令和2年12月末現在）を発見した。

大腸がん検診

平成30年度の対象者（北海道）は3,432,199人^{注)}で、受診数は236,727人、受診率は6.9%^{注)}であった。このうち、当協会では134市町村において、検診車と各検診センターで113,077人に検診を実施した。（受託実施率47.8%）

これに事業所分など12,816人を加え、総数125,893人に実施し、486名のがん（令和元年12月末現在）を発見した。（うち早期がん320名、65.8%）

注）地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定にあたっては、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）及び「指針」に基づき、40歳から69歳（胃がん検診は平成28年度以降50歳から69歳、子宮頸がん検診は20歳から69歳）を対象として算出している。これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

法 人 名	公益財団法人北海道対がん協会
代 表 者 名	会 長 長 瀬 清
所 在 地	北海道札幌市東区北26条東14丁目 1 - 15
電 話 番 号	0 1 1 - 7 4 8 - 5 5 1 1
設 立 時 期	昭和 4 年 9 月13日
従 業 員 数	327名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職 種	札 幌	旭 川	釧 路	計
医 師	4	3	1	8
診療放射線技師	26	11	4	41
臨床検査技師	21	9	4	34
管理栄養士	1	0	2	3
保健 師	24	11	3	38
看 護 師	25	21	11	57
事 務 員	64	30	23	117
運 転 技 術 員	17	9	3	29
計	182	94	51	327

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病検診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にがん征圧運動を実施
- (2) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (3) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会、及びがん予防学級の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）

- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診画像の読影（専門読影委員22名により実施）
- (2) 肺がん検診画像の読影（専門読影委員29名により実施）
- (3) 乳がん検診画像（SMG）の読影（専門読影委員26名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 乳がん組織診
- (4) 大腸がん組織診
- (5) 受託組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

4 その他諸検査の実施

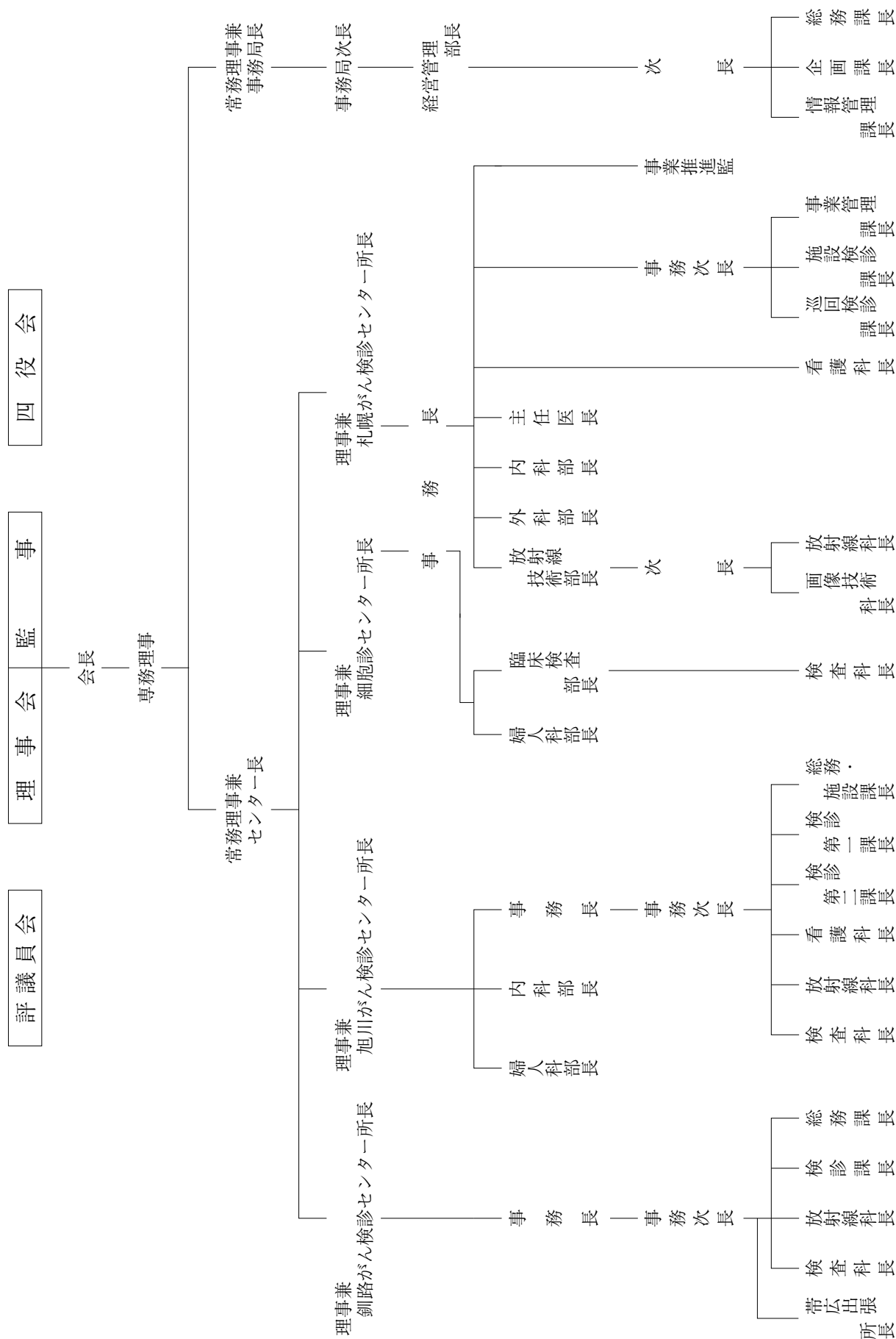
- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-4 公益財団法人 北海道対がん協会 機構図

令和2年12月1日現在



3-5 役員等名簿

令和2年12月11日現在

名誉会長	菊地浩吉	北海道対がん協会前会長・札幌医科大学名誉教授
会長 (代表理事)	長瀬清	北海道対がん協会会長・北海道医師会会長
副会長	石子彭培	北海道国民健康保険団体連合会理事長
〃	佐古和廣	北海道医師会副会長
〃	佐藤昇志	札幌医科大学名誉教授
〃	平田哲	旭川医科大学理事・副学長
専務理事 (業務執行理事)	白川賢一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	小田寿	北海道対がん協会事務局長
理事	秋田弘俊	北海道大学病院病院長
〃	磯部宏	K K R 札幌医療センター病院長
〃	加藤淳二	札幌医科大学腫瘍・血液内科学講座教授
〃	加藤秀則	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長
〃	坂本直哉	北海道大学大学院医学研究院消化器内科学分野教授
〃	平田公一	J R 札幌病院顧問・札幌医科大学名誉教授
〃	矢上尚寿	北海道対がん協会前専務理事
〃	横山進	北海道労働保健管理協会会長
〃	渡利英道	北海道大学大学院医学研究院産婦人科学教室教授
〃	南勝	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	岡元一平	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	菅野普子	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
〃	松浦邦彦	北海道対がん協会釧路がん検診センター所長
監事	秋山孝二	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	西田孝雄	西田孝雄税理士事務所税理士

評 議 員	大 場 久 夫	全国健康保険協会 北海道支部支部長
〃	岸 不 盡 彌	東日本学園 北海道医療大学理事
〃	齋 藤 ヨ シ 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	竹 内 伸 仁	北海道薬剤師会会長
〃	柴 田 達 夫	北海道町村会常務理事
〃	三 宅 浩 次	札幌医科大学名誉教授
〃	森 満	北海道千歳リハビリテーション大学学長
参 与	庄 田 香 織	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
〃	秋 野 憲 一	札幌市保健福祉局保健所成人保健・歯科保健担当部長
〃	鈴 木 直 己	旭川市保健所長
〃	高 玉 雄 司	釧路市こども保健部長

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭 和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭 和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭 和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭 和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭 和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭 和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭 和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭 和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭 和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭 和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭 和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭 和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭	和	54	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭	和	56	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭	和	57	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭	和	58	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭	和	59	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭	和	60	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭	和	61	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭	和	62	年	大腸がん検診を開始する。
平	成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平	成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平	成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平	成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平	成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平	成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平	成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平	成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平	成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平	成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平	成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平	成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平	成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平	成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平	成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平	成	29	年	札幌がん検診センターで駐車場用敷地を購入し、50台から80台に拡張する。
令	和	元	年	本会創立90周年を迎え、創立90周年記念フォーラムを札幌市で開催した。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

公益財団法人 北海道対がん協会

会 長 長 瀬 清

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・胸部CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・内臓脂肪CT検査 ・腹部超音波検査
受 付	月～土	月～土	月～土	月～土	月～土	
時 間	8:30～11:00	8:30～11:00	8:30～11:00	8:30～11:00	8:30～11:00	
	月～金	月～金	月～金	月～金	月～金	
	13:00～15:00	13:00～14:00	13:00～14:00	13:00～15:00	13:00～15:00	

札幌がん検診センター 〒065-0026
札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話(予約)(011) 748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・胸部肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・腹部超音波検査 ・動脈硬化検査
受 付	8:15～11:00	月～土	月～土	月～土	月～土	
時 間		8:15～11:00	8:15～11:00	8:15～11:00	8:15～11:00	
		月～金	月～金	月～金	月～金	
		13:00～14:00	13:00～14:00	13:00～14:00	13:00～14:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122
旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話(代)(0166) 53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	月・水・木	月～木	毎 日	毎 日	・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受 付	8:30～11:00	月	8:30～13:00	月～土	月～土	
時 間		8:30～10:00		8:30～11:00	8:30～11:00	
		水・木		月～金	月～金	
		8:30～13:00		13:00～15:00	13:00～15:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話(代)(0154) 37-3370

※受診の際は、予約が必要です。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 北海道がん対策基金のご案内



北海道がん対策

助かる命 助ける絆 北海道がん対策基金

「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。

北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

本基金では、がんの正しい知識や予防に係る普及啓発活動に取り組んでいる団体等に対し、毎年度、助成を行っております。今後とも、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

基金のしくみ



♡ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援
患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や 就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用
※ピアサポーターとは...がん患者や家族を 仲間(ア)として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援
小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発
がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策
がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用

募金の方法 ※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

○口座振込による募金 ○協賛商品の購入による募金 ○募金箱への募金

振込口座 次の銀行口座で受け付けております。

金融機関・支店名	口座番号	口座名義	備考
北海道銀行 札幌駅前支店	普通1877125	北海道がん対策基金	窓口及びATMからの振込は、振込手数料は無料
北洋銀行 札幌南支店	普通4591650	北海道がん対策基金	窓口からの振込は、振込手数料は無料
ゆうちょ銀行	02740-9-102016	北海道がん対策基金	

募金状況

(単位：円)

区分	金額
個人	5,675,196
企業・団体等	11,109,691
自販機	8,784,501
募金箱	1,415,450
計	26,984,838

※本表は令和元年度(2019年度)3月末日のデータです。

基金支援自販機設置状況

- ・本自販機の売上の一部が北海道がん対策基金に寄付されております。

		設置場所	住 所
	1	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
	2	公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市東区
	3	一般社団法人 北海道医師会	札幌市中央区
	4	勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市西区
	5	次世代ゴルフフィットネス AQUA札幌	札幌市中央区
	6	日本データサービス株式会社	札幌市東区
	7	モロオANNEヒル1F	札幌市中央区
	8	山崎製パン株式会社 札幌工場	恵庭市
	9	ノルデン薬局北栄店	札幌市東区
	10	株式会社モロオ 滝川	滝川市
	11	株式会社モロオ 函館	函館市
	12	株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市中央区
	13	株式会社モロオ ANNE 5F	札幌市中央区
	14	株式会社モロオ 小樽	小樽市
	15	株式会社モロオ コールセンター	札幌市中央区
	16	株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市清田区
	17	株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
	18	株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
	19	株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
	20	株式会社モロオ 大谷地物流	札幌市白石区
	21	株式会社モロオ 介護物流2F	札幌市西区
	22	株式会社モロオ 介護物流3F	札幌市西区
	23	株式会社モロオ 旭川	旭川市
	24	株式会社モロオ 釧路	釧路市
	25	株式会社モロオ 北見	北見市
	26	株式会社モロオ 帯広	帯広市
	27	竹山札幌業務センター	札幌市白石区
	28	徳州会 札幌病院	札幌市厚別区
	29	日鋼記念病院	室蘭市
	30	室蘭保健センター	室蘭市
	31	株式会社ほくやく	札幌市中央区
	32	株式会社 マルベリー	札幌市豊平区
	33	太平洋セメント株式会社 上磯工場	北斗市
	34	株式会社マルベリー さわやかセンター札幌	札幌市東区
	35	社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院	札幌市白石区
	36	㈲タック・コーポレーション(美園7・4メディカル)	札幌市豊平区
	37	株式会社ムトウ	札幌市北区
キリン	38	株式会社パルス室蘭店	室蘭市
	39	一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市中央区
	40	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市手稲区
	41	北海道庁本庁舎13F	札幌市中央区
	42	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
	43	株式会社竹山 石狩商品管理センター	石狩市
	44	㈲マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
	45	株式会社北谷組滝川江部乙事務所	滝川市
	46	旭川がん検診センター	旭川市
	47	釧路がん検診センター	釧路市
	48	株式会社ほくやく新川物流センター	札幌市北区
	49	深川保健所	深川市
	50	名寄保健所	名寄市
	51	富良野保健所	富良野市
	52	北見保健所	北見市
	53	静内保健所	新ひだか町
	54	根室保健所	根室市
	55	中標津保健所	中標津町
	56	江別保健所	江別市
	57	苫小牧保健所	苫小牧市
	58	八雲保健所	八雲町
	59	滝川保健所	滝川市
	60	紋別保健所	紋別市
	61	北海道キリンビバレッジ2階F	札幌市
	62	室蘭リゾート開発株式会社(室蘭市役所)	室蘭市
	63	トランスコスモス株式会社1F	札幌市
	64	エムサービス株式会社(北海道医療大学歯学部棟1F)	札幌市
	65	株式会社北谷組 深川一己工事現場	深川市
	66	トランスコスモス株式会社6F	札幌市
	67	フタキューセイモア㈲北海道支店(岩内協会病院)	岩内町
	68	医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	札幌市
	69	室蘭リゾート開発株式会社(市立室蘭総合病院)	札幌市
	70	苫小牧身体障がい者福祉協会(苫小牧市役所)	苫小牧市
	71	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市
	72	トランスコスモス株式会社4F	札幌市
	73	株式会社NTT東日本サービス 函館116センタ	函館市
	74	小樽医師会	小樽市
	75	北海道立衛生研究所	札幌市
サントリー	76	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 1F	札幌市白石区
	77	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 1F	札幌市白石区
	78	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 東棟3F	札幌市白石区
	79	社会医療法人北楡会 札幌北楡会病院 東棟3F	札幌市白石区
	80	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市白石区
		設置場所	住 所
	81	株式会社ほくやく 本社	札幌市中央区
	82	株式会社竹山業務センター	札幌市中央区
	83	洞爺湖温泉病院 No.1	洞爺湖町
	84	洞爺湖温泉病院 No.2	洞爺湖町
	85	KKR札幌医療センター(3F事務所)	札幌市
	86	KKR札幌医療センター(2FVDコーナー)	札幌市
	87	KKR札幌医療センター(新管理センターB1F)	札幌市
	88	KKR札幌医療センター(新管理センター2F)	札幌市
	89	KKR札幌医療センター(B1検査所)	札幌市
	90	KKR札幌医療センター(大塚機)	札幌市
	91	KKR札幌医療センター(ブリック)	札幌市
サントリー	92	介護老人保健施設 ガーデナハウスくりやま	栗山町
	93	特別養護老人ホームアビターレアネックス	札幌市
	94	医療福祉法人愛全会 愛全病院(地下)	札幌市
	95	医療福祉法人愛全会 愛全病院(1F)	札幌市
	96	医療福祉法人愛全会 愛全病院(2F)	札幌市
	97	医療福祉法人愛全会 愛全病院(4F)	札幌市
	98	介護老人保健施設リラコート愛全	札幌市
	99	高齢者総合福祉施設サン グレイス	札幌市
	100	養護老人ホーム 静山荘	札幌市
	101	介護老人保健施設アートヒルズ	札幌市
	102	ケアハウス ローザガーデン	札幌市
	103	高齢者総合福祉施設アビターレ	札幌市
	104	医療福祉法人愛全会 愛全病院(1F売店前)	札幌市
	105	丸彦渡辺建設株式会社(工事現場)	札幌市
	106	大川原脳神経外科病院	室蘭市
	107	東陽上村アドバンス株式会社長沼工場	長沼町
	108	東陽上村アドバンス株式会社 本社	札幌市
	109	東陽上村アドバンス株式会社 江別工場FV	江別市
	110	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市
	111	株式会社ほくやく北32条SPD	札幌市
	112	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市
	113	竹山札幌業務センター	札幌市
	114	札幌医科大学付属病院外来棟1階	札幌市
	115	赤帽北海道軽自動車運送共同組合FV	札幌市
	116	帯広協成病院	帯広市
	117	北海道歯科医師会4階	札幌市
	118	社会医療法人札幌清田病院1階	札幌市
	119	株式会社保健科学研究所	札幌市
	120	株式会社HBA 5階FV	札幌市
	121	トヨタ部品北海道共販FV	札幌市
	122	愛全病院B1ラプコック K0	札幌市
	123	愛全病院地下 K0	札幌市
	124	愛全病院渡り廊下 FV	札幌市
コカ・コーラ	125	愛全病院1F カップ	札幌市
	126	愛全病院3F FV	札幌市
	127	アビターレ	札幌市
	128	静山荘 FV	札幌市
	129	アートヒルズ K0	札幌市
	130	ローザガーデン FV	札幌市
	131	アン・ペルアミィ K0	札幌市
	132	サン・グレイス FV	札幌市
	133	高齢者総合福祉施設アビターレ アネックス	札幌市
	134	愛全病院1階 FV	札幌市
	135	東陽上村アドバンス従業員休憩所	札幌市
	136	ほくやくビル 4F	札幌市
	137	医療法人彰和会 北海道消化器科病院	札幌市
	138	アフラック札幌総合支社	札幌市
	139	室蘭太平洋病院 1階 CVM	室蘭市
	140	札幌厚生病院1F ATM前	札幌市
	141	株式会社竹中工務店 札幌がんセンター作業所	札幌市
	142	株式会社セイショウ 本社	札幌市
	143	定山溪病院売店前	札幌市
	144	株式会社竹山 苫小牧支店	苫小牧市
	145	株式会社竹山 ハビア物流センター	札幌市
	146	アフラック札幌総合支社 V	札幌市
	147	市立函館病院	函館市
ジャパンビバレッジ	148	株式会社ほくやく本社	札幌市
	149	株式会社ほくやくカスタマセンター	札幌市
	150	株式会社竹山	札幌市
ネオス	151	公益財団法人 北海道対がん協会 4F	札幌市東区
	152	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市東区
	153	㈲ほくやく 本社ビル	札幌市
	154	㈲ほくやく 北32条 SPDセンター	札幌市
	155	㈲ほくやく 桑園ビル3階	札幌市
	156	㈲ほくやく 桑園ビル4階	札幌市
	157	㈲竹山 札幌業務センター	札幌市
	158	日本生命保険相互会社 日本生命札幌ビル	札幌市
伊藤園	159	市立函館病院	札幌市
	160	㈲竹山 商品管理センター	札幌市

※本表は令和元年度(2019年度)3月末日のデータです。

※自販機の設置を検討・希望される団体様等におかれましては、次のURLに設置方法や連絡先を記載しております。

<https://hokkaido-taigan.jp/donate/support/vending/>



常設募金箱設置状況

・常設で設置している募金箱は次のとおりです。その他各種イベントで臨時の募金箱を設置する場合があります。

NO	区 分	病 院 名	所 在 地
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市白石区
2	〃	手稲溪仁会病院	札幌市手稲区
3	〃	JA札幌厚生病院	札幌市中央区
4	〃	恵佑会札幌病院	札幌市白石区
5	〃	砂川市立病院	砂川市
6	〃	日鋼記念病院	室蘭市
7	〃	王子総合病院	苫小牧市
8	〃	市立旭川病院	旭川市
9	〃	北見赤十字病院	北見市
10	〃	函館五稜郭病院	函館市
11	指定病院	函館中央病院	函館市
12	〃	札幌北楡病院	札幌市白石区
13	〃	札幌共立五輪橋病院	札幌市南区
14	〃	北海道医療センター	札幌市西区
15	〃	深川市立病院	深川市
16	〃	市立室蘭総合病院	室蘭市
17	〃	製鉄記念室蘭病院	室蘭市
18	〃	伊達赤十字病院	伊達市
19	〃	苫小牧市立病院	苫小牧市
20	〃	旭川赤十字病院	旭川市
21	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市手稲区
22	〃	道東勤医協釧路協立病院	釧路市
23	調剤薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
24	企業	(株)セイショウ	札幌市豊平区
25	行政	北海道保健福祉部地域保健課	札幌市中央区
26	〃	厚岸町	厚岸町
27	〃	福島町	福島町
28	法人	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市東区
29	〃	(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市東区
30	〃	〃 旭川がん検診センター	旭川市
31	〃	〃 釧路がん検診センター	釧路市

※常設の募金箱は、北海道がん対策基金募金箱設置要領に基づき設置されています。

※本表は令和元年度(2019年度)3月末日のデータです。

お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会経営管理部企画課
<https://hokkaido-taigan.jp/>

Tel(011)-748-5518

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

Tel(011)-204-5117

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄附ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄附などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄附金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」（年3回発行）等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

旭川がん検診センター 0166-53-7111

釧路がん検診センター 0154-37-3370

日本人のためのがん予防法

～現状において日本人に推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法～

喫煙	タバコを吸わない。他人のタバコの煙を避ける。
飲酒	飲むなら、節度ある飲酒をする。
食事	食事は偏らずバランスよくとる。 *塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。 *野菜や果物不足にならない。 *飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に。
体形	適正な範囲に維持する。
感染	肝炎ウイルス感染検査と適切な措置を。機会があればピロリ菌検査を。

国立がん研究センターがん対策情報センター
「日本人のためのがん予防法」より抜粋